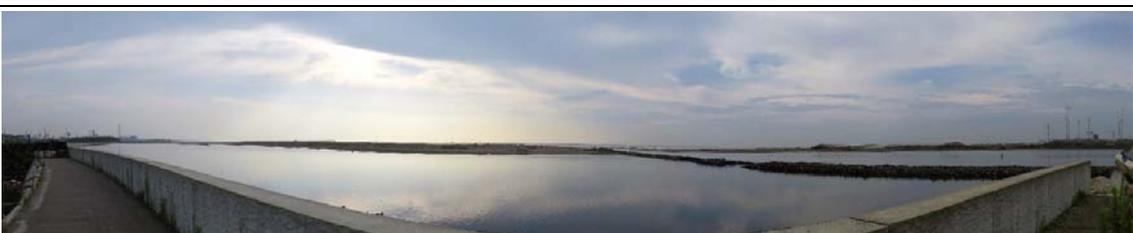
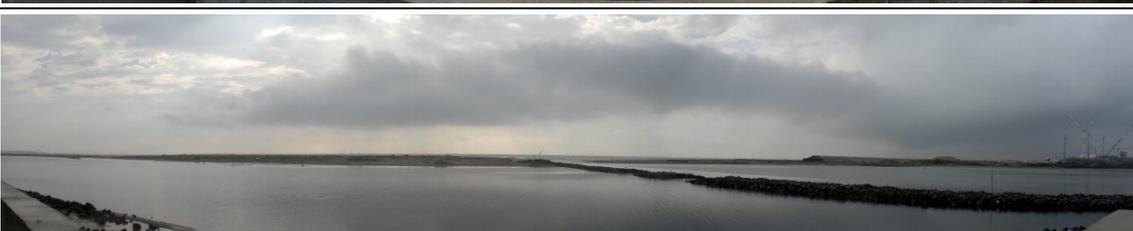
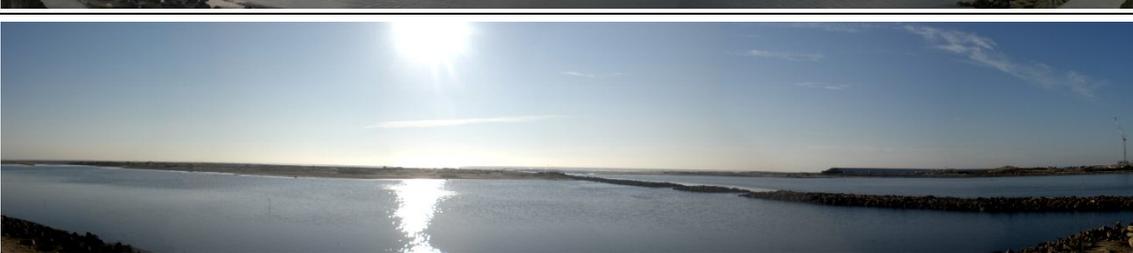


調査地点ごとの景観（蒲生特別保護地区）

調査回	【蒲生】St. 1 の景観写真（パノラマ）1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【蒲生】St.1の景観写真（パノラマ）2/2
第7回 (11月)	
第8回 (12月)	
第9回 (1月①)	
第10回 (1月②)	

調査回	【蒲生】 St. 2 の景観写真（パノラマ） 1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【蒲生】St. 2 の景観写真（パノラマ） 2/2
第 7 回 (11 月)	
第 8 回 (12 月)	
第 9 回 (1 月①)	
第 10 回 (1 月②)	

調査回	【蒲生】St. 3の景観写真（パノラマ）1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

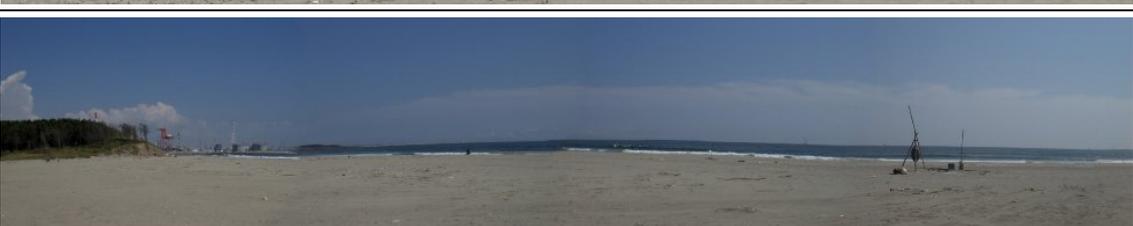
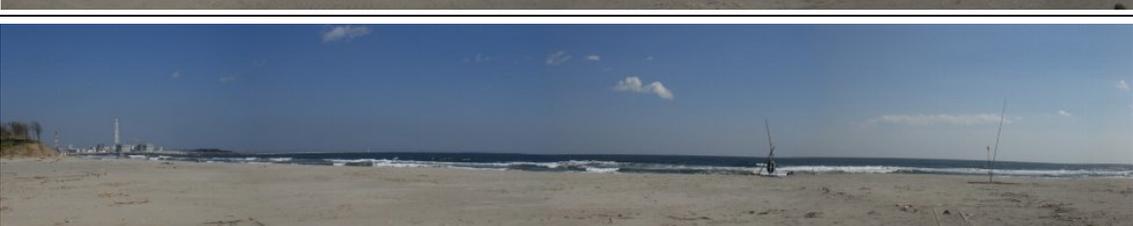
調査回	【蒲生】St. 3の景観写真（パノラマ）2/2
第7回 (11月)	
第8回 (12月)	
第9回 (1月①)	
第10回 (1月②)	

調査回	【蒲生】St. 4の景観写真（パノラマ）1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【蒲生】St. 4の景観写真（パノラマ）2/2
第7回 (11月)	
第8回 (12月)	
第9回 (1月①)	
第10回 (1月②)	

調査回	【蒲生】St. 5 の景観写真（パノラマ）1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【蒲生】St. 5 の景観写真（パノラマ） 2/2
第 7 回 (11 月)	
第 8 回 (12 月)	
第 9 回 (1 月①)	
第 10 回 (1 月②)	

調査回	【蒲生】St. 6 の景観写真（パノラマ）1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【蒲生】St. 6 の景観写真（パノラマ） 2/2
第 7 回 (11 月)	
第 8 回 (12 月)	
第 9 回 (1 月①)	
第 10 回 (1 月②)	

調査地点ごとの景観（井土浦特別保護地区）

調査回	【井土浦】St. 1 の景観写真（パノラマ）1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【井土浦】St. 1 の景観写真（パノラマ）2/2
第7回 (11月)	
第8回 (12月)	
第9回 (1月①)	
第10回 (1月②)	

調査回	【井土浦】 St. 2 の景観写真（パノラマ） 1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【井土浦】 St. 2 の景観写真（パノラマ） 2/2
第 7 回 (11 月)	
第 8 回 (12 月)	
第 9 回 (1 月①)	
第 10 回 (1 月②)	

調査回	【井土浦】 St. 3 の景観写真（パノラマ） 1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【井土浦】St. 3 の景観写真（パノラマ） 2/2
第 7 回 (11 月)	
第 8 回 (12 月)	
第 9 回 (1 月①)	
第 10 回 (1 月②)	

調査回	【井土浦】St. 4 の景観写真（パノラマ）1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【井土浦】St. 4 の景観写真（パノラマ） 2/2
第 7 回 (11 月)	
第 8 回 (12 月)	
第 9 回 (1 月①)	
第 10 回 (1 月②)	

調査回	【井土浦】 St. 5 の景観写真（パノラマ） 1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【井土浦】 St. 5 の景観写真（パノラマ） 2/2
第 7 回 (11 月)	
第 8 回 (12 月)	
第 9 回 (1 月①)	
第 10 回 (1 月②)	

調査地点ごとの景観（阿武隈川河口域）

調査回	【阿武隈河口】 St. 1 の景観写真（パノラマ） 1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【阿武隈河口】 St. 1 の景観写真（パノラマ） 2/2
第7回 (11月)	
第8回 (12月)	
第9回 (1月①)	
第10回 (1月②)	

調査回	【阿武隈河口】 St. 2 の景観写真（パノラマ） 1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【阿武隈河口】 St. 2 の景観写真 (パノラマ) 2/2
第 7 回 (11 月)	
第 8 回 (12 月)	
第 9 回 (1 月①)	
第 10 回 (1 月②)	

調査回	【阿武隈河口】 St. 3 の景観写真（パノラマ） 1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【阿武隈河口】 St. 3 の景観写真（パノラマ） 2/2
第 7 回 (11 月)	
第 8 回 (12 月)	
第 9 回 (1 月①)	
第 10 回 (1 月②)	

調査回	【阿武隈河口】 St. 4 の景観写真（パノラマ） 1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【阿武隈河口】 St. 4 の景観写真（パノラマ） 2/2
第 7 回 (11 月)	
第 8 回 (12 月)	
第 9 回 (1 月①)	
第 10 回 (1 月②)	

調査回	【阿武隈河口】 St. 5 の景観写真（パノラマ） 1/2
第1回 (6月)	
第2回 (7月①)	
第3回 (7月②)	
第4回 (8月)	
第5回 (9月)	
第6回 (10月)	

調査回	【阿武隈河口】 St. 5 の景観写真（パノラマ） 2/2
第7回 (11月)	
第8回 (12月)	
第9回 (1月①)	
第10回 (1月②)	

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	7:30	10:05	晴れ時々曇り	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ムクドリ	10	V		F3			
2	ヒヨドリ	1	V		J1			
3	ハクセキレイ	1	VC		D2			
4	ウミネコ	1	V		D2			
5	ヒバリ	1	SV	囀り	J1			
6	トビ	1	V		J1			
7	ウミネコ	1	V		D2			
8	ミサゴ	1	V		J1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
9	ウミネコ	1	V		J1			
10	ウミネコ	1	V		J1			
11	ウミネコ	1	V		J1			
12	カワウ	1	V		J1			
13	カルガモ	1	V		J1			
14	ウミネコ	1	V		J1			
15	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
16	ミサゴ	1	V		J1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
17	ヒバリ	1	VC		D2			
18	ヒバリ	1	VC		J1			
19	ウミネコ	1	V		J1			
20	ウミネコ	1	V		J1			
21	ウミネコ	2	V		J1			
22	トビ	1	V		J1			
23	ウミネコ	1	V		J1			
24	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
25	ウミネコ	1	V		J1			
26	シロチドリ	1	VC		D2	国VU		
27	シロチドリ	1	VC		D2	国VU		
28	シロチドリ	1	V	雛	D2	国VU		
29	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
30	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 平嶋 賢治

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	7:30	10:05	晴れ時々曇り	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
32	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
33	ササゴイ	1	V		E2			
34	ウミネコ	3	V		J1			
35	コチドリ	1	VC		D2			
36	カワラヒワ	1	C		J1			
37	トビ	1	V		J1			
38	ハシボソガラス	1	V		J1			
39	ウミネコ	4	V		J1			
40	ハシボソガラス	1	V		C1			
41	ヒバリ	1	SV	囀り	I2			
42	ダイサギ	1	V		C1			
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	平嶋 賢治

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				20		20	+	+											+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	10:14	10:44	晴れ	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	178	V		C1			
2	オオセグロカモメ	2	V		C1			
3	ハシボソガラス	1	V		J1			
4	ウミネコ	2	V		A1			
5	ウミネコ	1	V		C1			
6	ダイサギ	1	V		A1			
7	カワウ	7	V		C1			
8	コオバシギ	1	V		C1			
9	オバシギ	1	V		C1			
10	セグロセキレイ	1	V		D2			
11	カワウ	1	V		D2			
12	ハクセキレイ	1	CV		J1			
13	トビ	1	V		J1			
14	カワウ	1	V		J1			
15	ミサゴ	1	V		J1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
16	ウミネコ	11	V		J1			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山口 一彦

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
50				30			20													

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	10:49	11:19	晴れ	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		J1			
2	メダイチドリ	1	V		C1			
3	カワウ	1	V		J1			
4	ウミネコ	7	V		J1			
5	ウミネコ	4	V		J1			
6	ウミネコ	1	V		C1			
7	ウミネコ	3	V		J1			
8	ウミネコ	70	V		J1			
9	ハシブトガラス	1	VC		J1			
10	カワウ	2	V		J1			
11	キアシシギ	1	V		C1			
12	トビ	1	V		J1			
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山口 一彦

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				50		20		+	+	+			+						+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	11:24	11:54	晴れ	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		C1			
2	ウミネコ	1	V		C1			
3	ムクドリ	5	V		J1			
4	ハシブトガラス	1	V		J1			
5	オナガ	1	V		G1			
6	カワセミ	1	VC		I2			
7	カルガモ	1	V		J1			
8	ウミネコ	3	V		J1			
9	カワウ	1	V		J1			
10	ウミネコ	1	V		J1			
11	カワラヒワ	3	V		J1			
12	ムクドリ	1	V		J1			
13	メダイチドリ	1	V		C1			
14	オオヨシキリ	1	C		E2			
15	オナガ	2	VC		G1			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山口 一彦

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				30		50			+											

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	12:05	12:35	晴れ	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
2	ムクドリ	5	CV		J1			
3	カワウ	1	V		J1			
4	カワウ	4	V		J1			
5	ウミネコ	4	V		J1			
6	ウミネコ	1	V		J1			
7	ウミネコ	1	V		J1			
8	ウミネコ	1	V		J1			
9	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
10	シロチドリ	1	V	雛	D2	国VU		
11	チョウゲンボウ	1	V		D2			
12	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山口 一彦

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				10		60		+												

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	12:51	13:21	晴れ	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	222	V		C1			
2	カワウ	4	V		C1			
3	オオセグロカモメ	3	V		C1			
4	ウミネコ	1	V		J1			
5	ウミネコ	3	V		J1			
6	ウミネコ	4	V		J1			
7	ウミネコ	3	V		J1			
8	ハシボソガラス	1	V		J1			
9	ウミネコ	1	V		J1			
10	ウミネコ	3	V		J1			
11	ミサゴ	1	V		J1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
12	ウミネコ	3	V		J1			
13	ウミネコ	6	V		J1			
14	ウミネコ	7	V		J1			
15	カワウ	1	V		J1			
16	ウミネコ	4	V		J1			
17	ウミネコ	3	V		J1			
18	ウミネコ	3	V		J1			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山口 一彦

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 6	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30						70		+	+			+	+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	13:31	14:01	晴れ	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	トビ	1	V		J1			
2	ウミネコ	1	V		D2			
3	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
4	カワウ	1	V		J1			
5	ウミネコ	6	V		J1			
6	キジ	1	C		F3			
7	ムクドリ	14	VC		F3			
8	ウミネコ	1	V		J1			
9	ウミネコ	4	V		J1			
10	ウミネコ	8	V		J1			
11	ウミネコ	6	V		J1			
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山口 一彦

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	7:30	10:05	晴れ時々曇り	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
2	ウミネコ	4	V		J1			
3	ミサゴ	2	V		J1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
4	カワウ	3	V		J1			
5	カワウ	1	V		J1			
6	ウミネコ	5	V		J1			
7	ウミネコ	2	V		J1			
8	ウミネコ	1	V		J1			
9	ウミネコ	1	V		J1			
10	ウミネコ	1	V		J1			
11	トビ	2	V		J1			
12	ウミネコ	1	V		J1			
13	ウミネコ	48	V		C1			
14	ダイサギ	1	V		A1			
15	ウミネコ	1	V		C1			
16	ウミネコ	2	V		J1			
17	アオサギ	1	V		J1			
18	ウミネコ	2	V		J1			
19	キアシシギ	1	V		C1			
20	ダイサギ	1	V		A2			
21	コサギ	1	V		A2			
22	コサギ	1	V		A2			
23	ウミネコ	1	V		J1			
24	カワウ	1	V		J1			
25	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
26	メダイチドリ	1	V		C1			
27	ハシボソガラス	1	V		F2			
28	オナガ	1	V		J1			
29	ウミネコ	11	V		J1			
30	ウミネコ	3	V		A1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 山口 一彦

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マウンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	7:00	10:44	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	6	V		A3			
2	オオヨシキリ	1	V		E2			
3	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
4	コヨシキリ	1	S	囀り	E2			
5	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
6	ヒバリ	1	V		E1			
7	スズメ	4	V		E1			
8	カワウ	5	V		A3			
9	スズメ	6	V		E1			
10	カワラヒワ	1	V		J1			
11	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
12	カルガモ	1	V		A3			
13	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
14	ササゴイ	1	V		J1			空中
15	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
16	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
17	アオサギ	12	V		J1			空中
18	コチドリ	2	V		J1			空中
19	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
20	キジ	1	V		E1			
21	オオヨシキリ	1	C		E2			
22	オオヨシキリ	1	V		E2			
23	ヒヨドリ	1	V		F3			
24	シロチドリ	2	V		D2	国VU		
25	ダイサギ	1	V		C1			
26	ウミネコ	1	V		J1			空中
27	カワウ	1	V		J1			空中
28	ウミネコ	1	V		J1			空中
29	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
30	ウミネコ	1	V		J1			空中

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	7:00	10:44	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
32	ウミネコ	1	V		J1			空中
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				20		20	+	+											+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	6:30	7:00	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ササゴイ	1	V		I2			堤防
2	カワウ	1	V		A1			
3	ウミネコ	1	V		D2			
4	ハシブトガラス	1	V		E1			
5	ヒバリ	1	V		I2			堤防
6	カワウ	7	V		D2			
7	ウミネコ	18	V		D2			
8	カルガモ	2	V		D2			
9	ハクセキレイ	2	V		J1			空中
10	ホオジロ	1	S	囀り	E1			
11	ダイサギ	1	V		D2			
12	ウミネコ	1	V		J1			空中
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
50				30		20														

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	7:15	7:45	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオヨシキリ	1	S	囀り	E1			
2	アオジ	1	S	囀り	E1			
3	コヨシキリ	1	S	囀り	E1			
4	ハシブトガラス	3	V		E1			
5	ウミネコ	1	V		D2			
6	ダイサギ	1	V		C1			
7	カルガモ	3	V		C1			
8	ダイサギ	1	V		C1			
9	ウミネコ	1	V		C1			
10	ウミネコ	2	V		J1			空中
11	アオサギ	6	V		J1			空中
12	ホオアカ	1	S	囀り	E1			
13	ダイサギ	1	V		C1			
14	カワウ	1	V		J1			空中
15	カルガモ	6	V		A3			
16	カワウ	1	V		J1			空中
17	ウミネコ	2	V		J1			空中
18	ウミネコ	3	V		J1			空中
19	ダイサギ	1	V		J1			
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				50		20		+	+	+			+						+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	7:55	8:25	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	アオサギ	2	V		F3			
2	ハシブトガラス	1	V		F3			
3	カワセミ	2	V		J1			空中
4	ツバメ	6	V		J1			空中
5	ホオジロ	1	S	囀り	E1			
6	ホオアカ	1	S	囀り	E1			
7	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
8	ダイサギ	1	V		C1			
9	オナガ	2	V		G1			
10	スズメ	2	V		G1			
11	アオサギ	4	V		A3			
12	カルガモ	3	V		D1			
13	アオサギ	3	V		D1			
14	カルガモ	8	V		A3			
15	カワウ	1	V		A3			
16	ウミネコ	4	V		J1			空中
17	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
18	ハシブトガラス	1	V		D3			
19	キジバト	1	V		I2			電線
20	コチドリ	1	V		J1			空中
21	カラヒワ	1	V		J1			空中
22	カワウ	1	V		C1			
23	ウミネコ	3	V		C1			
24	アオジ	1	S	囀り	G1			
25	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
26	カワセミ	1	V		G1			
27	コヨシキリ	1	S	囀り	E2			
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				30		50		+					+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	8:50	9:20	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
2	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
3	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
4	カワラヒワ	1	C		J1			空中
5	アオサギ	3	V		J1			空中
6	ダイサギ	2	V		C1			
7	コサギ	1	V		C1			
8	ウミネコ	1	V		C1			
9	シロチドリ	6	V		D2	国VU		
10	コサギ	1	V		C1			
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				10		60		+												

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	9:30	10:00	曇り	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		J1			空中
2	ウミネコ	1	V		J1			空中
3	カワウ	1	V		D2			
4	ウミネコ	5	V		D2			
5	カワウ	1	V		J1			空中
6	ウミネコ	1	V		J1			空中
7	ダイサギ	1	V		D2			
8	ウミネコ	2	V		J1			空中
9	ウミネコ	80	V		A1			
10	コサギ	1	V		A1			
11	カルガモ	5	V		A1			
12	カワウ	1	V		A1			
13	ダイサギ	1	V		J1			空中
14	トビ	1	V		D2			
15	ウミネコ	12	V		J1			空中
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 6	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30						70		+	+			+	+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	10:12	10:42	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	4	V		J1			空中
2	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
3	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
4	ヒヨドリ	1	C		F3			
5	モズ	1	C		F3			
6	ハヤブサ	1	V		J1	国内固有種		空中 若鳥
7	カワウ	2	V		J1			空中
8	ウミネコ	1	V		J1			空中
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	6:30	11:00	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオヨシキリ	1	S	囀り	E1			
2	オオヨシキリ	1	S	囀り	E1			
3	ハシブトガラス	3	V		E1			
4	ホオアカ	1	S	囀り	E1			
5	コヨシキリ	1	S	囀り	E1			
6	ヒバリ	1	C		E1			
7	カルガモ	4	V		C1			
8	コサギ	1	V		C1			
9	アオサギ	1	V		C1			
10	スズメ	3	V		J1			空中
11	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
12	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
13	カワウ	1	V		J1			空中
14	ウミネコ	1	V		C1			
15	トビ	1	V		J1			空中
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 夏季	調査年月日 2014年7月25日	開始時刻 7:05	終了時刻 11:15	天候 晴れ	風の状況 弱～中
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	----------	-------------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	2	V		C1			
2	コサギ	1	V		C1			
3	カワラヒワ	2	V		E2			
4	カルガモ	3	V		C1			
5	ウミネコ	1	V		C1			
6	ウミネコ	2	V		C1			
7	カルガモ	20	V		A3			
8	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
9	コヨシキリ	1	V		E2			
10	ハシボソガラス	2	V		E2			
11	ツバメ	2	V		E2			
12	ハシブトガラス	2	V		I2			
13	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
14	アオジ	2	V		E2			
15	カルガモ	1	V		C1			
16	アオサギ	1	V		C1			
17	トビ	5	V		C1			
18	カワウ	1	V		C1			
19	アオアシシギ	1	V		C1			
20	スズメ	4	V		E1			
21	カワラヒワ	5	V		C1			
22	カワウ	1	V		A3			
23	カルガモ	7	V		A3			
24	ホオジロ	2	V		E1			
25	ササゴイ	1	V		C1			
26	カルガモ	3	V		C1			
27	カルガモ	4	V		A3			
28	ハクセキレイ	1	V	移動性の低い巣立ち雛	D3			
29	アオサギ	1	V		C1			
30	カワラヒワ	20	V		E1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 夏季	調査年月日 2014年7月25日	開始時刻 7:05	終了時刻 11:15	天候 晴れ	風の状況 弱～中
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	----------	-------------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	コチドリ	5	V		D2			
32	シロチドリ	1	V	移動性の低い巣立ち雛	D2	国VU		
33	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
34	カワラヒワ	2	V		E1			
35	シロチドリ	2	V	移動性の低い巣立ち雛	D2	国VU		
36	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
37	ウミネコ	1	V		D2			
38	ハクセキレイ	1	V		C1			
39	トビ	1	V		D2			
40	ウミネコ	1	V		D2			
41	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				20		20	+	+											+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	6:30	7:00	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	46	V		C1			
2	ウミネコ	65	V		C1			
3	カワウ	2	V		C1			
4	オオセグロカモメ	1	V		C1			
5	ゴイサギ	1	V		C1			
6	ダイサギ	1	V		A1			
7	セッカ	1	S	囀り	E1			
8	セグロセキレイ	2	V		I2			
9	オオヨシキリ	1	S	囀り	E1			
10	カルガモ	3	V		C1			
11	ダイサギ	1	V		A1			
12	コサギ	1	V		C1			
13	カワウ	3	V		D2			
14	ハシボソガラス	2	V		D2			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
50				30			20													

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	7:35	8:05	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	20	V		A3			
2	オオヨシキリ	1	S	囀り	E1			
3	オオヨシキリ	1	S	囀り	E1			
4	ウミネコ	2	V		C1			
5	セッカ	1	S	囀り	E1			
6	コサギ	1	V		E2			
7	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
8	ハクセキレイ	1	V		C1			
9	スズメ	1	V		C1			
10	コサギ	1	V		C1			
11	ハシブトガラス	1	V		E2			
12	カワウ	1	V		C1			
13	アオジ	1	S	囀り	E2			
14	ササゴイ	1	V		C1			
15	コサギ	1	V		C1			
16	ウミネコ	2	V		C1			
17	トウネン	10	V		C1			
18	メダイチドリ	1	V		C1			
19	バン	1	C		A3			
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				50		20		+	+	+			+						+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	8:30	9:00	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	アオサギ	1	V		C1			
2	カワウ	1	V		C1			
3	アオサギ	1	V		C1			
4	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
5	アオサギ	1	V		C1			
6	カルガモ	2	V		C1			
7	アオアシシギ	1	V		C1			
8	スズメ	2	V		E2			
9	アオサギ	2	V		I2			
10	アオサギ	2	V	移動性の高い巣立ち雛	I2			
11	ダイサギ	1	V		C1			
12	コサギ	1	V		C1			
13	カルガモ	4	V		C1			
14	ハクセキレイ	1	V		C1			
15	モズ	1	C		G2			
16	ササゴイ	1	V		I2			
17	セッカ	1	S	囀り	E2			
18	ウミネコ	1	V		C1			
19	アオサギ	2	V		C1			
20	アオサギ	2	V	移動性の高い巣立ち雛	C1			
21	オオヨシキリ	1	S	囀り	G2			
22	オオヨシキリ	1	V	移動性の低い巣立ち雛	G2			
23	ハシボソガラス	2	V		C1			
24	ハクセキレイ	1	V		A2			
25	オナガ	1	C		G2			
26	キンクロハジロ	1	V		C1			
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				30		50		+					+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	9:30	10:00	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワラヒワ	3	V		D2			
2	ダイサギ	1	V		C1			
3	アオサギ	1	V		C1			
4	カワラヒワ	15	V		D2			
5	モズ	1	V		E2			
6	ハクセキレイ	1	C		C1			
7	トビ	1	V		D2			
8	ウミネコ	1	V		C1			
9	コチドリ	5	V		C1			
10	ハクセキレイ	2	V	移動性の高い巣立ち雛	C1			
11	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
12	トビ	1	V		D2			
13	コサギ	1	V		C1			
14	オナガ	1	C		C1			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				10		60		+												

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 夏季	調査年月日 2014年7月25日	開始時刻 10:20	終了時刻 10:50	天候 晴れ	風の状況 中
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	1	V		D2			
2	アオサギ	1	V		A1			
3	ウミネコ	110	V		C1			
4	ダイサギ	1	V		A1			
5	カワラヒワ	4	V		D2			
6	ハクセキレイ	1	V		D2			
7	ウミネコ	1	V		J1			海
8	ハシボソガラス	1	V		D2			
9	カワウ	1	V		D2			
10	カルガモ	6	V		A1			
11	ハシボソガラス	1	V		D2			
12	コサギ	1	V		C1			
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 6	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30						70		+	+			+	+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	11:15	11:45	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	1	V		D2			
2	ウミネコ	1	V		D2			
3	ハクセキレイ	1	V		D2			
4	カワラヒワ	10	V		E1			
5	ウミネコ	1	V		J1		海	
6	ミサゴ	1	V		J1	国NT		海 宮城県RL2013では、重要種から除外
7	トビ	1	V		D2			
8	ウミネコ	1	V		D2			
9	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	6:30	12:00	晴れ	弱～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	セッカ	1	C		E2			
2	ツバメ	3	V		E2			
3	ホオアカ	1	S	囀り	E1			
4	コサギ	1	V		C1			
5	ダイサギ	1	V		C1			
6	カワウ	1	V		E2			
7	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
8	ハシボソガラス	2	V		E2			
9	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
10	アオジ	1	S	囀り	E2			
11	ウミネコ	1	V		C1			
12	カワウ	1	V		C1			
13	アオサギ	1	V		C1			
14	ツバメ	2	V		A2			
15	アオサギ	2	V		C1			
16	カルガモ	2	V		C1			
17	キジバト	1	V		G1			
18	トビ	6	V		E1			
19	カワラヒワ	10	V		D3			
20	ハクセキレイ	1	V		D2			
21	ウミネコ	1	V		D2			
22	アオサギ	1	V		C1			
23	ウミネコ	1	V		C1			
24	カワウ	1	V		A1			
25	カワセミ	1	C		A3			
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	7:00	12:00	晴れ一時曇り	無～弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	14	V・C		C1			
2	オオセグロカモメ	1	V	幼鳥	C1			
3	コサギ	1	V		C1			
4	カワセミ	1	V	幼鳥	A3			
5	ツバメ	1	V		J1			上空
6	カワラヒワ	1	V		J1			上空
7	インビヨドリ	1	V		E2			
8	スズメ	1	V		E2			
9	ハクセキレイ	4	V		C1			
10	コチドリ	2	V		C1			
11	アオサギ	1	V		A2			
12	カワウ	2	V		A2			
13	カワウ	5	V		A2			
14	ダイサギ	2	V		A2			
15	カワセミ	1	V		A3			
16	ヒヨドリ	3	V		E2			
17	モズ	1	V		E2			
18	ハクセキレイ	6	V		D2			
19	カワラヒワ	5	V・C		D2			
20	ハシボソガラス	2	V・C		D2			
21	コサギ	2	V		C1			
22	キアシシギ	1	V	幼鳥	C1			
23	コチドリ	2	V		C1			
24	ハシボソガラス	5	V	幼鳥	D2			
25	コチドリ	1	V		D2			
26	コチドリ	2	V		D2			
27	シロチドリ	13	V		D2	国VU		
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タンド			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				20		20	+	+											+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	6:30	7:00	晴れ	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	2	V		C1			
2	ハシボソガラス	1	VC		C1			
3	ウミネコ	15	V		C1			
4	コチドリ	2	V		C1			
5	トビ	1	V		J1			上空
6	カルガモ	2	V		C1			
7	ハクセキレイ	1	V		C1			
8	カルガモ	10	V		C1			
9	ミサゴ	1	V		J1	国NT		上空、宮城県R4.2013では、重要種から除外
10	ドバト	7	V		J1			
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
50				30			20													

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	7:35	8:05	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	4	V		J1			上空
2	カルガモ	2	V		A3			
3	ツバメ	1	V		J1			上空
4	ダイサギ	1	V		C1			
5	ハシボソガラス	1	VC		C1			
6	コサギ	1	V		C1			
7	コチドリ	1	V		C1			
8	アオサギ	1	V		C1			
9	カワウ	7	V		J1			
10	コサギ	3	V		J1			
11	カイツブリ	1	V		A3			
12	ミサゴ	1	V		J1	国NT		上空、宮城県RL2013では、重要種から除外
13	トビ	1	VC		J1			上空
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				50		20		+	+	+			+						+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 夏季	調査年月日 2014年8月25日	開始時刻 8:20	終了時刻 8:50	天候 晴れ	風の状況 無
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	アオサギ	8	V		A2			
2	コサギ	3	V		A2			
3	カワウ	7	V		A2			
4	ツバメ	13	V		J1			上空
5	アオサギ	1	V		A2			
6	カワウ	2	V		A2			
7	スズメ	11	V		E2			
8	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
9	ミサゴ	1	V		A2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
10	ハシボソガラス	4	VC		E2			
11	カワラヒワ	2	V		J1			上空
12	ハクセキレイ	3	V		J1			上空
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				30		50		+					+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	9:25	9:55	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	コチドリ	4	V		C1			
2	チョウゲンボウ	2	V		J1			上空
3	コサギ	1	V		C1			
4	キジバト	2	V		E2			
5	ハクセキレイ	3	V		C1			
6	ハシボソガラス	7	VC		D2			
7	トビ	1	VC		J1			上空
8	アオサギ	1	V		C1			
9	ダイサギ	1	V		C1			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				10		60			+											

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	10:25	10:55	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ミサゴ	1	V		J1	国NT		上空、宮城県R1.2013では、重要種から除外
2	ハシボソガラス	1	V		D2			
3	オグロシギ	2	V	幼鳥	C1			
4	ソリハシシギ	4	V	幼鳥	C1			
5	ウミネコ	24	V		C1			
6	ハシブトガラス	3	VC	幼鳥	D2			
7	カルガモ	8	V		C1			
8	ダイサギ	3	V		C1			
9	アオサギ	3	V		C1			
10	ウミネコ	2	V		C1			
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 6	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30						70		+	+			+	+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	11:25	11:55	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		J1			上空
2	ハクセキレイ	2	VC		D2			
3	ヒヨドリ	2	C		F3			
4	カワラヒワ	5	V		J1			上空
5	トビ	1	V		J1			上空
6	シロチドリ	13	V		D2			
7	オナガ	3	V		F3			
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	6:30	12:00	晴れ一時曇り	無～弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	4	VC		D2			
2	ヒヨドリ	1	V		E1			
3	ハクセキレイ	1	V		E1			
4	トビ	1	V		E1			
5	ハクセキレイ	1	V		E1			
6	アオサギ	1	V		C1			
7	ヒヨドリ	2	V		F3			
8	ツバメ	9	V		J1			上空
9	オナガ	5	V		F3			
10	ソリハシシギ	2	V	幼鳥	C1			
11	オグロシギ	1	V	幼鳥	C1			
12	ミサゴ	1	V		J1	国NT		上空、宮城県RL2013では、重要種から除外
13	ウミネコ	1	V		C1			
14	トビ	1	VC		D2			
15	ウミネコ	1	V		J1			上空
16	ホオジロ	1	S	囀り	E1			
17	アカアシシギ	1	V	幼鳥	A2	国VU		
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	7:16	11:42	曇りのち晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハクセキレイ	1	V		D3			
2	スズメ	3	V		E2			
3	ホオアカ	2	V		E2			
4	セッカ	1	C		E2			
5	ツバメ	1	V		J1			
6	キアシシギ	4	V		D1			
7	ミサゴ	1	V		J1	国VU		宮城県RL2013では、重要種から除外
8	アオサギ	1	V		E1			
9	ムクドリ	10	V		J1			
10	セッカ	1	S	囀り	E2			
11	スズメ	8	V		J1			
12	ハシブトガラス	1	V		F3			
13	キジバト	3	V		J1			
14	モズ	1	V		E3			
15	トビ	1	V		E3			
16	カワラヒワ	1	V		E3			
17	ハクセキレイ	1	V		D2			
18	メダイチドリ	2	V		D2			
19	ハシボソガラス	2	V		D2			
20	メダイチドリ	3	V		D2			
21	トウネン	3	V		D2			
22	トウネン	7	V		D2			
23	メダイチドリ	3	V		D2			
24	シロチドリ	14	V		J1	国VU		
25	シロチドリ	3	V		D2	国VU		
26	ツバメ	1	V		J1			
27	トビ	1	V		D2			
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				20		20	+	+											+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	6:45	7:15	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	キアシシギ	3	V		A3			
2	ハクセキレイ	3	V		A3			
3	カワウ	5	V		C1			
4	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
5	ウミネコ	103	V		D2			
6	オオセグロカモメ	2	V		D2			
7	カルガモ	2	V		D2			
8	マガモ	1	V		A1			
9	カルガモ	16	V		D2			
10	ハシブトガラス	3	V		J1			
11	ソリハシシギ	2	V		I2			
12	コサギ	1	V		A1			
13	ミサゴ	1	V		J1	国VU		宮城県RL2013では、重要種から除外
14	ダイサギ	2	V		J1			
15	アオサギ	1	V		D2			
16	ハクセキレイ	4	V		J1			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
50				30			20													

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	7:40	8:10	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ツバメ	5	V		J1			
2	ハシボソガラス	2	V		C1			
3	ダイサギ	1	V		C1			
4	ハクセキレイ	1	V		J1			
5	ハシブトガラス	1	V		J1			
6	ウミネコ	1	V		C1			
7	アオサギ	1	V		J1			
8	コヨシキリ	1	S	囀り	E2			
9	ハシブトガラス	2	V		C1			
10	カイツブリ	4	V	移動性の高い巣立ち雛	A2			雛2個体
11	バン	1	V	移動性の高い巣立ち雛	A2			
12	トビ	1	V		I2			電柱
13	キジバト	1	V		I2			電線
14	アオサギ	2	V		J1			
15	コサギ	1	V		I2			
16	ミサゴ	1	V		J1	国VU		宮城県RL2013では、重要種から除外
17	オオセグロカモメ	1	V		D2			
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				50		20		+	+	+			+						+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	8:30	9:00	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	1	V		A2			
2	アオサギ	2	V		A2			
3	カワウ	7	V		A2			
4	カワウ	4	V		A2			
5	ミサゴ	1	V		J1	国VU		宮城県RL.2013では、重要種から除外
6	オオヨシキリ	1	V		E2			
7	イソシギ	2	V		D1			
8	アオサギ	2	V		D3			
9	カイツブリ	2	V		A2			
10	ハシボソガラス	22	V		D2			
11	ツバメ	1	V		J1			
12	キジ	1	V		E1			
13	アオサギ	1	V		D3			
14	カワラヒワ	3	V		J1			
15	キジバト	1	V		J1			
16	ミサゴ	1	V		J1	国VU		宮城県RL.2013では、重要種から除外
17	ハシボソガラス	2	V		J1			
18	ダイサギ	1	V		A2			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				30					50				+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	9:30	10:00	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	シロチドリ	4	V		J1	国VU		
2	ハシブトガラス	1	V		D2			
3	ミサゴ	1	V		F3	国VU		宮城県RL.2013では、重要種から除外
4	ハシボソガラス	4	V		F3			
5	トビ	1	V		F3			
6	カワウ	1	V		J1			
7	オオセグロカモメ	1	V		J1			
8	アオサギ	1	V		F3			
9	ミサゴ	1	V		F3	国VU		宮城県RL.2013では、重要種から除外
10	アオサギ	1	V		F3			
11	メダイチドリ	1	V		J1			
12	ヒヨドリ	1	C		F3			
13	セッカ	1	S	囀り	E1			
14	ハシブトガラス	2	V		C1			
15	ダイサギ	1	V		C1			
16	ハシブトガラス	6	V		D1			
17	トウネン	2	V		J1			
18	ハクセキレイ	3	V		J1			
19	キアシシギ	2	V		C1			
20	ウミネコ	1	V		C1			
21	ソリハシシギ	2	V		C1			
22	ハシボソガラス	2	V		J1			
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				10		60			+											

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	10:20	10:50	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		A1			
2	ダイサギ	1	V		C1			
3	アオサギ	1	V		J1			
4	ウミネコ	2	V		J1			
5	ハシブトガラス	3	V		D2			
6	ウミネコ	111	V		D2			
7	オオセグロカモメ	6	V		D2			
8	カルガモ	24	V		A1			
9	ウミネコ	14	V		A1			
10	カルガモ	3	V		D2			
11	ミサゴ	1	V		J1	国VU		宮城県RL2013では、重要種から除外
12	ハシブトガラス	1	V		D2			
13	ハシブトガラス	1	V		D2			
14	トウネン	1	V		C1			
15	アオサギ	1	V		D2			
16	メダイチドリ	1	V		D2			
17	ウミネコ	1	V		D2			
18	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
19	ウミネコ	3	V		J1			
20	ダイサギ	1	V		D2			
21	ウミネコ	1	V		J1			
22	トビ	1	V		J1			
23	ウミネコ	1	V		J1			
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 6	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30						70		+	+			+	+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	11:25	11:55	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	2	V		F3			
2	アオサギ	1	V		F3			
3	カワウ	1	V		F3			
4	ダイサギ	1	V		C1			
5	モズ	1	C		F3			
6	ハシブトガラス	1	V		J1			
7	ハクセキレイ	2	V		J1			
8	ハシブトガラス	1	V		J1			
9	ヒヨドリ	1	C		F3			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	6:45	12:00	曇りのち晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	3	V		C1			
2	ハシブトガラス	2	V		F3			
3	ハクセキレイ	1	V		D1			
4	ハシブトガラス	1	V		D2			
5	オオセグロカモメ	2	V		J1			
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	9:40	12:20	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		J1			空中
2	スズメ	4	V		F1			
3	シジュウカラ	2	V		E1			
4	オオジュリン	2	V		J1			空中
5	ホオアカ	1	V		E1			
6	ハクセキレイ	2	V		J1			空中
7	ハクセキレイ	1	V		D3			
8	スズメ	3	V		F1			
9	アオアシシギ	8	V		C1			
10	モズ	1	V		F3			
11	オナガ	3	C		F3			
12	ヒヨドリ	4	C		F3			
13	ハシブトガラス	3	V		D2			
14	ミサゴ	1	V		D2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				20		20	+	+											+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	7:10	7:40	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	1	V		A3			
2	ウミネコ	1	V		J1			空中
3	タヒバリ	1	C		J1			空中
4	オオジュリン	1	C		J1			
5	セッカ	1	C		E1			
6	トビ	1	V		J1			空中
7	ハクセキレイ	1	V		D2			
8	カワラヒワ	2	C		E1			
9	ヒバリ	1	C		E1			
10	マガモ	2	V		A2			
11	カワウ	3	V		J1			空中
12	ウミネコ	1	V		I2			
13	ウミネコ	1	V		A2			
14	カルガモ	3	V		J1			空中
15	タヒバリ	2	V		J1			空中
16	カルガモ	6	V		J1			空中
17	アオジ	1	C		J1			空中
18	ハシブトガラス	8	V		D2			
19	トビ	1	V		I2			
20	ダイサギ	1	V		A2			
21	シジュウカラ	2	C		F3			
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
50				30			20													

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	8:15	8:45	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオバン	7	V		A2			宮城県RL2013では、重要種から除外
2	ホシハジロ	1	V		A2			
3	ダイサギ	2	V		C1			
4	カルガモ	2	V		C1			
5	アオジ	2	C		J1			空中
6	ハクセキレイ	1	C		D2			
7	ウミネコ	2	V		C1			
8	ハシボソガラス	3	V		D2			
9	カルガモ	32	V		J1			空中
10	カイツブリ	1	V		A2			
11	ノスリ	1	V		F3			
12	カワラヒワ	2	V		J1			空中
13	カルガモ	7	V		J1			空中
14	マガモ	1	V		J1			空中
15	ウミネコ	1	V		C1			
16	キジ	1	C		E2			
17	ハシボソガラス	2	V		I2			
18	トビ	1	V		J1			空中
19	ハシボソガラス	2	V		J1			空中
20	オオジュリン	4	C		E2			
21	ウミネコ	2	V		J1			空中
22	ダイサギ	1	V		F3			
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				50		20		+	+	+			+						+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	9:10	9:40	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	18	V		F3			
2	ダイサギ	7	V		F3			
3	アオサギ	3	V		A2			
4	カルガモ	12	V		A2			
5	アオサギ	9	V		A2			
6	ダイサギ	2	V		A2			
7	ダイサギ	2	V		J1			空中
8	カワウ	8	V		C1			
9	カルガモ	5	V		C1			
10	カイツブリ	4	V		A2			
11	アオジ	1	C		E2			
12	オナガ	4	V		J1			空中
13	トビ	1	V		J1			空中
14	キジ	1	V		E2			
15	カルガモ	1	V		A2			
16	カワラヒワ	1	V		E2			
17	スズメ	3	V		E2			
18	カワウ	1	V		J1			空中
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				30					50				+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	10:05	10:35	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒヨドリ	2	C		F3			
2	ダイサギ	2	V		F3			
3	モズ	1	C		F3			
4	ヒバリ	1	C		J1			空中
5	ウミネコ	2	V		C1			
6	ハクセキレイ	1	V		C1			
7	トビ	1	V		J1			空中
8	オナガ	2	V		F3			
9	アオアシシギ	5	V		A3			
10	カルガモ	6	V		J1			空中
11	ハシブトガラス	2	V		F3			
12	ウミネコ	1	V		J1			空中
13	カワラヒワ	2	C		J1			空中
14	スズメ	2	V		E2			
15	ハシブトガラス	2	V		I2			
16	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、餌持ち、宮城県R1.2013では、重要種から除外
17	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、餌持ち、宮城県R1.2013では、重要種から除外
18	カルガモ	6	V		J1			空中
19	アオアシシギ	4	V		J1			空中
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				10		60		+												

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	10:55	11:25	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	5	V		A1			
2	ウミネコ	20	V		A1			
3	ウミネコ	1	V		A2			
4	ウミネコ	188	V		D2			
5	ハシボソガラス	1	V		D2			
6	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県RL2013では、重要種から除外
7	ウミネコ	2	V		J1			空中
8	ハシボソガラス	1	V		D2			
9	ウミネコ	3	V		J1			空中
10	ウミネコ	1	V		J1			空中
11	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県RL2013では、重要種から除外
12	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、餌持ち、宮城県RL2013では、重要種から除外
13	ダイサギ	3	V		J1			空中
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 6	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30						70		+	+			+	+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	11:40	12:10	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
2	トビ	1	V		J1			空中
3	ハシブトガラス	1	V		F3			
4	ヒヨドリ	1	C		F3			
5	ダイサギ	1	V		A3			
6	ハシボソガラス	2	V		D3			
7	ダイサギ	2	V		A3			
8	ヒヨドリ	1	C		F3			
9	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
10	トビ	1	V		F3			
11	トビ	2	V		J1			空中
12	ダイサギ	1	V		C1			
13	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
14	ダイサギ	1	V		A3			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2014年10月10日	開始時刻 7:10	終了時刻 12:30	天候 晴れ	風の状況 弱～中
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	---------------	----------	-------------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県R1.2013では、重要種から除外
2	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
3	カワウ	14	V		F3			
4	オオジュリン	2	C		E2			
5	カワウ	4	V		A1			
6	カルガモ	7	V		A1			
7	ハクセキレイ	1	V		D2			
8	ハシブトガラス	4	V		C1			
9	ウミネコ	1	V		C1			
10	アオアシシギ	4	V		C1			
11	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、餌持ち、宮城県R1.2013では、重要種から除外
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	7:05	11:35	晴れ	中～強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	3	V		A3			
2	カワラヒワ	2	C		J1			空中
3	タヒバリ	2	C		J1			空中
4	スズメ	2	V		E1			
5	ハシブトガラス	1	V		I2			
6	ダイサギ	2	V		J1			空中
7	スズメ	9	V		E2			
8	オオバン	1	V		E1			宮城県RL.2013では、重要種から除外
9	ホオジロ	1	V		E2			
10	シジュウカラ	1	V		E2			
11	ヒバリ	2	C		J1			空中
12	ハイタカ	1	V		J1	国NT, 県NT		空中
13	スズガモ	3	V		A3			
14	ミミカイツブリ	1	V		A3			
15	ヒヨドリ	2	V		F3			
16	マヒワ	1	C		J1			空中
17	ヒバリ	5	V		J1			空中
18	ハマシギ	1	V		C1	国NT		
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				20		20	+	+												+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	6:30	7:00	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	115	V		A1			
2	オカヨシガモ	2	V		A1			
3	スズガモ	29	V		A1			
4	マガモ	8	V		A1			
5	ハクセキレイ	1	V		D3			
6	トビ	1	V		J1			空中
7	タヒバリ	1	C		J1			空中
8	カワラヒワ	1	C		J1			空中
9	カワウ	9	V		J1			空中
10	ハヤブサ	1	V		J1	国VU, 県NT		空中
11	マガモ	5	V		A1			
12	カルガモ	2	V		A1			
13	ホシハジロ	7	V		A1			
14	スズメ	3	C		E1			
15	オカヨシガモ	12	V		A1			
16	タヒバリ	2	V		J1			空中
17	カワウ	5	V		J1			空中
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
50				30			20													

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	7:20	7:50	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオバン	18	V		A3			宮城県RL2013では、重要種から除外
2	オカヨシガモ	3	V		A3			
3	コガモ	6	V		A3			
4	ホシハジロ	7	V		A3			
5	ヨシガモ	1	V		A3			
6	カルガモ	4	V		J1			空中
7	トビ	1	V		J1			
8	チョウゲンボウ	1	V		J1			空中
9	カワウ	1	V		J1			空中
10	オカヨシガモ	12	V		J1			
11	マガモ	6	V		A3			
12	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県RL2013では、重要種から除外
13	ハシボソガラス	11	V		D2			
14	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県RL2013では、重要種から除外
15	アオサギ	16	V		D1			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				50		20		+	+	+			+						+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	8:20	8:50	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	34	V		C1			
2	アオサギ	5	V		C1			
3	カルガモ	38	V		A2			
4	コガモ	14	V		A2			
5	マガモ	2	V		A2			
6	カイツブリ	1	V		A2			
7	アオサギ	3	V		D1			
8	アオアシシギ	1	V		C1			
9	ジョウビタキ	1	C		F2			
10	オオジュリン	1	V		E2			
11	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県RL2013では、重要種から除外
12	オオバン	3	V		A2			宮城県RL2013では、重要種から除外
13	カイツブリ	3	V		A2			
14	オオバン	6	V		A2			宮城県RL2013では、重要種から除外
15	カワウ	1	V		A2			
16	スズメ	6	V		J1			空中
17	モズ	1	C		G1			
18	カワウ	51	V		C1			
19	タヒバリ	3	C		J1			空中
20	カワウ	37	V		J1			空中
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				30				50		+										

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	9:15	9:45	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒバリ	1	C		J1			空中
2	カワラヒワ	1	C		J1			空中
3	カワウ	67	V		C1			
4	ダイサギ	5	V		C1			
5	アオサギ	1	V		C1			
6	トビ	1	V		J1			空中
7	スズメ	2	V		J1			空中
8	カワウ	104	V		C1			
9	オナガガモ	3	V		C1			
10	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
11	タヒバリ	1	C		J1			空中
12	アオサギ	11	V		C1			
13	ダイサギ	18	V		C1			
14	カワラヒワ	2	V		E2			
15	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県RL2013では、重要種から除外
16	ヒヨドリ	5	V		J1			空中
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				10		60			+											

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	10:10	10:40	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	13	V		A1			
2	マガモ	22	V		A1			
3	コガモ	8	V		A1			
4	オオセグロカモメ	1	V		D2			
5	カルガモ	4	V		A1			
6	マガモ	14	V		A1			
7	スズガモ	21	V		A1			
8	カワウ	6	V		A1			
9	アオサギ	1	V		D2			
10	オナガガモ	2	V		A1			
11	ホシハジロ	8	V		A1			
12	ウミネコ	1	V		A1			
13	ハクセキレイ	1	V		I2			
14	トビ	1	V		J1			空中
15	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
16	ウミネコ	2	V		J1			空中
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 6	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30						70		+	+			+	+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	11:00	11:30	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	1	V		C1			
2	アオサギ	9	V		D1			
3	カワラヒワ	1	V		J1			空中
4	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
5	ハマシギ	3	V		J1	国NT		空中
6	カルガモ	1	V		J1			空中
7	ヒヨドリ	2	C		F3			
8	ハシボソガラス	2	V		F3			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年11月7日	開始時刻 6:30	終了時刻 12:00	天候 晴れ	風の状況 中～強
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	---------------	----------	-------------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	2	V		D2			
2	マガモ	4	V		C1			
3	シロチドリ	9	V		C1	国VU		
4	ハマシギ	13	V		C1	国NT		
5	オオバン	19	V		A3			宮城県RL.2013では、重要種から除外
6	スズガモ	5	V		A3			
7	カイツブリ	4	V		A3			
8	コガモ	7	V		A3			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	嶋 孝弘

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	7:50	11:50	快晴	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ベニマシコ	1	C		E2			
2	ドバト	1	V		E2			
3	ヒバリ	1	C		E2			
4	オオジュリン	1	C		E2			
5	ヒバリ	2	V		E1			
6	カシラダカ	1	C		E1			
7	スズメ	5	C		E1			
8	カワウ	1	V		C1			
9	シロチドリ	10	V		C1	国VU		
10	タヒバリ	1	C		D2			
11	カワラヒワ	1	C		E2			
12	ハシブトガラス	1	V		D2			
13	スズメ	1	C		E2			
14	オオジュリン	1	C		E2			
15	ベニマシコ	1	C		E2			
16	スズメ	1	C		E2			
17	ダイサギ	1	V		A2			
18	オオバン	2	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
19	モズ	1	V		E1			
20	オオバン	2	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
21	カワウ	4	V		A2			
22	ホオジロ	2	C		E2			
23	ベニマシコ	2	C		E2			
24	カワラヒワ	2	C		E2			
25	ハクセキレイ	1	V		D1			
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				20		20	+	+											+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	7:10	7:40	快晴	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	1	V		C1			
2	トビ	1	V		I2			
3	カルガモ	10	V		C1			
4	カワウ	1	V		C1			
5	ベニマシコ	3	C		E2			
6	カワウ	1	V		C1			
7	オオジュリン	2	C		E2			
8	ハクセキレイ	1	V		A1			
9	スズガモ	17	V		A1			
10	ヒドリガモ	15	V		A1			
11	ホシハジロ	5	V		A1			
12	マガモ	10	V		D2			
13	コクガン	4	V		D2	天,国VU,県VU		
14	ハシブトガラス	20	V		E2			
15	マガモ	40	V		D2			
16	ハシボソガラス	4	V		D2			
17	ダイサギ	1	V		C1			
18	カワラヒワ	1	C		E2			
19	ダイサギ	1	V		C1			
20	ダイサギ	1	V		C1			
21	ダイサギ	1	V		C1			
22	ダイサギ	1	V		C1			
23	ユリカモメ	3	V		D2			
24	オオセグロカモメ	2	V		D2			
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
50				30			20													

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	8:15	8:45	快晴	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	コガモ	19	V		A2			
2	オカヨシガモ	6	V		A2			
3	ハシビロガモ	2	V		A2			
4	スズメ	5	C		E2			
5	ハシボソガラス	3	V		E2			
6	シロチドリ	13	V		C1	国VU		
7	ハマシギ	10	V		C1	国NT		
8	シロチドリ	5	V		C1	国VU		
9	ハシブトガラス	2	V		D2			
10	マガモ	2	V		A2			
11	ヒバリ	1	C		E2			
12	カワウ	1	V		D2			
13	オオジュリン	1	C		E2			
14	カワラヒワ	1	C		E2			
15	トビ	1	V		E2			
16	マガモ	5	V		A2			
17	クイナ	1	V		E2	県要		
18	タヒバリ	2	C		E2			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				50		20		+	+	+			+						+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 冬季	調査年月日 2014年12月8日	開始時刻 9:25	終了時刻 9:55	天候 快晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオバン	51	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
2	コガモ	12	V		D1			
3	オナガガモ	30	V		A2			
4	キンクロハジロ	10	V		A2			
5	カイツブリ	10	V		A2			
6	コガモ	15	V		D1			
7	ミコアイサ	4	V		A2			
8	ホシハジロ	5	V		A2			
9	カルガモ	10	V		A2			
10	オオバン	14	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
11	スズガモ	6	V		A2			
12	カイツブリ	8	V		A2			
13	カルガモ	17	V		A2			
14	オオバン	15	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
15	スズガモ	15	V		A2			
16	ヨシガモ	1	V		A2			
17	カイツブリ	7	V		A2			
18	ホシハジロ	2	V		A2			
19	アオジ	1	V		E2			
20	トビ	2	V		A2			
21	スズメ	4	C		E2			
22	オオジュリン	2	C		E2			
23	ハクセキレイ	2	V		C1			
24	ホオジロガモ	4	V		A2			
25	ヒバリ	2	C		D2			
26	ハシボソガラス	1	V		F3			
27	ハマシギ	40	V		C1	国NT		
28	シロチドリ	10	V		C1	国VU		
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				30		50		+					+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 冬季	調査年月日 2014年12月8日	開始時刻 10:20	終了時刻 10:50	天候 快晴	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	3	V		A2			
2	トビ	1	V		F3			
3	ハマシギ	25	V		C1	国NT		
4	スズメ	10	C		G1			
5	ダイサギ	1	V		C1			
6	アオサギ	2	V		D2			
7	トビ	1	V		D2			
8	カワラヒワ	5	V		G1			
9	ヒヨドリ	2	C		F3			
10	カワウ	6	V		D2			
11	ハシボソガラス	2	V		D2			
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				10		60		+												

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	11:05	11:35	快晴	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	34	V		A1			
2	ヒドリガモ	30	V		A1			
3	カワウ	4	V		D2			
4	ハクセキレイ	1	V		D2			
5	カンムリカイツブリ	7	V		J1		海	
6	ヒドリガモ	5	V		A1			
7	ハシブトガラス	1	V		D2			
8	ミミカイツブリ	2	V		J1		海	
9	ハシボソガラス	1	V		D2			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 6	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30						70		+	+			+	+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	11:50	12:20	快晴	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒヨドリ	3	C		F3			
2	シジュウカラ	1	C		F3			
3	アオサギ	7	V		D2			
4	カワラヒワ	10	C		E2			
5	カワウ	1	V		D2			
6	ヒヨドリ	1	V		E2			
7	シジュウカラ	1	C		G1			
8	カワウ	1	V		J1		海	
9	トビ	2	V		E2			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリ ワンド・た			土 泥地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	7:10	12:30	快晴	弱

No.	和名※2	個体数	同定手 段※3	繁殖行動	確認環 境※4	重要種	特定外 来生物	備考
1	ハシブトガラス	3	V		E2			
2	モズ	1	V		E2			
3	ダイサギ	2	V		C1			
4	ミサゴ	1	V		F3	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
5	ハシボソガラス	2	V		F3			
6	カイツブリ	10	V		A2			
7	オオバン	40	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
8	カイツブリ	10	V		A2			
9	アオサギ	1	V		E2			
10	ヒヨドリ	1	C		G1			
11	シジュウカラ	1	C		G1			
12	ハマシギ	20	V		C1	国NT		
13	カワウ	7	V		D2			
14	オオジュリン	1	C		E2			
15	ウグイス	1	C		E2			
16	キジ	1	C		E2			
17	コチョウゲンボウ	1	V		E2			
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	7:45	12:00	曇り	無～弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ユリカモメ	1	V		A1			
2	ヒバリ	3	V		E1			
3	ユリカモメ	30	V		C1			
4	ハマシギ	10	V		C1	国NT		
5	シロチドリ	1	V		C1	国VU		
6	ダイサギ	1	V		D2			
7	オオバン	2	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
8	ホシハジロ	1	V		A2			
9	ホオジロ	1	C		E2			
10	オオジュリン	3	V		E2			
11	モズ	1	V		E2			
12	ベニマシコ	1	C		E2			
13	シジュウカラ	2	V		E2			
14	ホオジロ	4	C		E2			
15	カワラヒワ	5	V		A2			
16	オオバン	20	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
17	ジョウビタキ	1	V		E2			
18	ヒヨドリ	2	V		E2			
19	ホオジロ	3	V		E2			
20	ミサゴ	1	V		A2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
21	オオジュリン	3	V		E2			
22	アオジ	3	C		E2			
23	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
24	カワラヒワ	10	C		E1			
25	ウミネコ	1	V		D2			
26	ウミネコ	3	V		D2			
27	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
28	ミュビシギ	3	V		D2			
29	ウミネコ	10	V		D2			
30	カワウ	2	V		D2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	7:45	12:00	曇り	無～弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	ハマシギ	5	V		D2	国NT		
32	シロチドリ	1	V		D2	国VU		
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				20		20	+	+											+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	7:05	7:35	曇り	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	コクガン	50	V		D2	天,国VU,県VU		
2	ユリカモメ	64	V		C1			
3	ユリカモメ	55	V		A1			
4	ユリカモメ	60	V		D2			
5	オオセグロカモメ	4	V		A1			
6	セグロカモメ	3	V		A1			
7	マガモ	5	V		D2			
8	ヒドリガモ	4	V		D2			
9	マガモ	30	V		A1			
10	ヒドリガモ	15	V		A1			
11	オカヨシガモ	5	V		A1			
12	ホオジロガモ	3	V		A1			
13	スズガモ	2	V		A1			
14	ヒドリガモ	5	V		A1			
15	カルガモ	6	V		D2			
16	マガモ	5	V		D2			
17	オナガガモ	6	V		D2			
18	ヒドリガモ	5	V		D2			
19	ハシボソガラス	1	V		D2			
20	ハクセキレイ	1	V		D2			
21	カイツブリ	2	V		C1			
22	カワウ	30	V		D2			
23	ツグミ	1	C		E2			
24	オオジュリン	6	C		E2			
25	ベニマシコ	1	C		E2			
26	ハマシギ	1	V		D2	国NT		
27	ミユビシギ	1	V		D2			
28	カワラヒワ	5	V		D2			
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
50				30		20														

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 9	時期 冬季	調査年月日 2015年1月6日	開始時刻 8:10	終了時刻 8:40	天候 曇り	風の状況 微
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	--------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハマシギ	60	V		C1	国NT		
2	シロチドリ	15	V		C1	国VU		
3	ユリカモメ	90	V		C1			
4	カイツブリ	3	V		C1			
5	ヒバリ	2	V		E1			
6	ハマシギ	10	V		D2	国NT		
7	ハシボソガラス	6	V		E1			
8	ハシビロガモ	3	V		A2			
9	ホシハジロ	3	V		A2			
10	オオバン	2	V		A2			宮城県RL2013では、重要種から除外
11	シジュウカラ	1	C		E2			
12	ホオジロ	2	C		E2			
13	ツグミ	2	C		E2			
14	ミコアイサ	2	V		E2			
15	ハシボソガラス	13	V		D2			
16	オオジュリン	1	C		E2			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				50		20		+	+	+			+						+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	9:05	9:35	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハマシギ	20	V		C1	国NT		
2	カイツブリ	7	V		A2			
3	スズガモ	1	V		A2			
4	ツグミ	5	C		E2			
5	シジュウカラ	2	V		E2			
6	ハシボソガラス	5	V		D2			
7	オオバン	40	V		A2			宮城県RL2013では、重要種から除外
8	ホオジロガモ	2	V		A2			
9	ホシハジロ	7	V		A2			
10	キンクロハジロ	5	V		A2			
11	ミコアイサ	5	V		A2			
12	オナガガモ	7	V		A2			
13	マガモ	4	V		A2			
14	ヒヨドリ	2	C		G1			
15	カワラヒワ	4	C		E2			
16	ハシボソガラス	2	V		E2			
17	ハシブトガラス	10	V		E2			
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				30					50				+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	10:00	10:30	曇り	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハマシギ	20	V		C1	国NT		
2	スズメ	5	V		E2			
3	ヒヨドリ	2	V		G1			
4	ハシボソガラス	15	V		D2			
5	ハシブトガラス	1	V		D2			
6	ハシブトガラス	1	C		F3			
7	シロチドリ	1	V		C1	国VU		
8	ツグミ	2	V		E2			
9	ハマシギ	40	V		C1	国NT		
10	トビ	1	V		A2			
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				10		60		+												

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 9	時期 冬季	調査年月日 2015年1月6日	開始時刻 11:05	終了時刻 11:35	天候 曇り	風の状況 微
--------	-----------	----------	--------------------	---------------	---------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	35	V		D2			
2	ウミウ	2	V		D2			
3	コクガン	34	V		D2	天,国VU,県VU		
4	ミュビシギ	50	V		D2			
5	マガモ	90	V		D2			
6	ヒドリガモ	10	V		D2			
7	ウミネコ	10	V		A1			
8	オオセグロカモメ	3	V		A1			
9	セグロカモメ	4	V		A1			
10	ウミネコ	100	V		A1			
11	マガモ	80	V		D2			
12	ミサゴ	1	V		A1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 6	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30						70		+	+			+	+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	12:05	12:35	曇り	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	10	V		D2			
2	カワラヒワ	8	V		D2			
3	ヒヨドリ	2	V		D2			
4	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
5	ミュビシギ	10	V		D2			
6	ハシボソガラス	3	V		D2			
7	ウミネコ	4	V		D2			
8	カワウ	2	V		D2			
9	カワウ	2	V		D2			
10	ヒヨドリ	2	V		D2			
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	7:00	12:45	曇り	無～弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ベニマシコ	1	C		E2			
2	ツグミ	1	C		E2			
3	オオジュリン	1	C		E2			
4	モズ	1	V		E2			
5	ツグミ	4	V		E2			
6	アオサギ	5	V		D2			
7	カワウ	1	V		C1			
8	オナガガモ	10	V		A2			
9	オオバン	40	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
10	マガモ	5	V		A2			
11	カルガモ	15	V		A2			
12	コガモ	5	V		A2			
13	カイツブリ	2	V		A2			
14	オオバン	25	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
15	オナガガモ	10	V		A2			
16	ヒドリガモ	1	V		A2			
17	カワラヒワ	15	V		G1			
18	ウミネコ	3	V		C1			
19	スズメ	1	V		G1			
20	カワラヒワ	20	V		G1			
21	アオジ	1	C		E2			
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	7:00	11:30	曇り～晴れ	微～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ユリカモメ	10	V		A1			
2	オオジュリン	1	C		E2			
3	ハマシギ	5	V		C1	国NT		
4	カワラヒワ	5	V		E2			
5	ハシブトガラス	2	V		E2			
6	オオジュリン	2	C		E2			
7	オオジュリン	1	C		E2			
8	ツグミ	2	C		E2			
9	アオジ	1	C		E2			
10	ベニマシコ	4	V		E2			
11	オオバン	16	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
12	カルガモ	17	V		A2			
13	オナガガモ	64	V		A2			
14	コガモ	5	V		A2			
15	ホシハジロ	18	V		A2			
16	キンクロハジロ	5	V		A2			
17	ミコアイサ	2	V		A2			
18	カイツブリ	5	V		A2			
19	ハマシギ	18	V		C1	国NT		
20	オナガガモ	10	V		A2			
21	コガモ	5	V		A2			
22	オオバン	35	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
23	ジョウビタキ	1	V		E2			
24	キンクロハジロ	4	V		A2			
25	カイツブリ	5	V		A2			
26	ホオジロ	4	V		E2			
27	ツグミ	2	V		E2			
28	ハクセキレイ	1	V		E2			
29	スズメ	2	C		E2			
30	オオジュリン	5	V		E2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 10	時期 冬季	調査年月日 2015年1月19日	開始時刻 7:00	終了時刻 11:30	天候 曇り～晴れ	風の状況 微～中
--------	------------	----------	---------------------	--------------	---------------	-------------	-------------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	シジュウカラ	2	V		E2			
32	スズメ	10	V		E2			
33	ハシボソガラス	2	V		D2			空中
34	ハマシギ	25	V		C1	国NT		
35	シロチドリ	4	V		C1	国VU		
36	カワラヒワ	5	V		D2			
37	ハマシギ	5	V		C1	国NT		
38	ハシボソガラス	2	V		D2			
39	ウミネコ	3	V		D2			空中
40	カワラヒワ	1	V		D2			
41	ハシボソガラス	3	V		D2			
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				20		20	+	+											+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	6:30	7:00	曇り	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	コクガン	48	V		A1	天,国VU,県VU		
2	マガモ	18	V		A1			
3	コクガン	4	V		A1	天,国VU,県VU		
4	ユリカモメ	40	V		A1			
5	ホオジロガモ	30	V		A1			
6	ヒドリガモ	5	V		A1			
7	カルガモ	45	V		A1			
8	カイツブリ	1	V		A1			
9	ハクセキレイ	1	V		D2			
10	オオジュリン	1	C		E2			
11	ハマシギ	70	V		A2	国NT		空中
12	カルガモ	10	V		A2			
13	マガモ	5	V		A2			
14	カワウ	10	V		A2			空中
15	ハシブトガラス	3	V		E2			空中
16	シロチドリ	1	V		C1	国VU		
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
50				30			20													

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 10	時期 冬季	調査年月日 2015年1月19日	開始時刻 7:40	終了時刻 8:10	天候 曇り	風の状況 微
--------	------------	----------	---------------------	--------------	--------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	3	V		E1			
2	ハシボソガラス	4	V		C1			
3	オオジュリン	2	C		E2			
4	ハシビロガモ	6	V		A2			
5	コガモ	4	V		A2			
6	オオバン	1	V		A2			宮城県RL2013では、重要種から除外
7	クイナ	1	V		E2	県要		
8	ホオジロ	3	C		E2			
9	カワウ	4	V		D2			空中
10	ホオジロガモ	6	V		C1			
11	ミコアイサ	1	V		C1			
12	ハマシギ	100	V		C1	国NT		
13	シロチドリ	15	V		C1	国VU		
14	ミュビシギ	25	V		C1			
15	カワウ	20	V		C1			空中
16	ハクセキレイ	1	V		C1			
17	ハシボソガラス	3	V		E2			空中
18	カワウ	10	V		C1			空中
19	オオハクチョウ	2	V		D2			空中
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				50		20		+	+	+			+						+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 10	時期 冬季	調査年月日 2015年1月19日	開始時刻 8:40	終了時刻 9:10	天候 曇り	風の状況 弱
--------	------------	----------	---------------------	--------------	--------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	アオサギ	3	V		D2			
2	ハマシギ	10	V		C1	国NT		
3	カイツブリ	1	V		A2			
4	ミコアイサ	2	V		A2			
5	オオバン	24	V		A2			宮城県RL2013では、重要種から除外
6	カルガモ	4	V		A2			
7	オナガガモ	24	V		A2			
8	マガモ	8	V		A2			
9	キンクロハジロ	1	V		A2			
10	カワウ	3	V		C1			空中
11	オオジュリン	6	V		E2			
12	ホオジロ	1	V		E2			
13	ハシブトガラス	4	V		E2			空中
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				30		50		+					+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 10	時期 冬季	調査年月日 2015年1月19日	開始時刻 9:55	終了時刻 10:25	天候 晴れ	風の状況 中
--------	------------	----------	---------------------	--------------	---------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	2	V		D2			
2	トビ	1	V		D2			空中
3	カワラヒワ	10	V		E2			
4	ミサゴ	1	V		F3	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
5	ハマシギ	20	V		C1	国NT		
6	シロチドリ	2	V		C1	国VU		
7	カワラヒワ	2	V		D2			
8	ハシボソガラス	2	V		D2			空中
9	カイツブリ	1	V		C1			
10	トビ	2	V		D2			空中
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30				10		60		+												

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	10:40	11:10	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ミユビシギ	1	V		D2			
2	カワウ	250	V		D2			
3	マガモ	134	V		D2			
4	マガモ	30	V		A1			
5	ヒドリガモ	20	V		A1			
6	ヨシガモ	2	V		D2			
7	セグロカモメ	1	V		D2			
8	ユリカモメ	4	V		A1			空中
9	ウミネコ	1	V		D2			空中
10	ユリカモメ	5	V		A1			空中
11	オナガガモ	10	V		A1			
12	カワラヒワ	3	V		D2			
13	カワアイサ	2	V		A1			
14	トビ	2	V		A1			空中
15	ウミネコ	3	V		A1			空中
16	オオセグロカモメ	1	V		A1			空中
17	ハシブトガラス	5	V		D2			空中
18	ユリカモメ	150	V		A1			空中
19	ミサゴ	1	V		A1	国NT		空中、宮城県R1.2013では、重要種から除外
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 6	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
30						70		+	+			+	+							

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	11:35	12:05	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	1	V		D2			
2	トビ	1	V		D2			空中
3	ヒヨドリ	1	V		F3			
4	ハシブトガラス	3	V		C1			空中
5	ハシボソガラス	1	V		D2			空中
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 蒲生干潟	調査年度 2014
-------------------	-------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	6:30	12:15	曇り～晴れ	微～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオジュリン	1	C		E2			
2	カワウ	40	V		D2			空中
3	アオサギ	1	V		E2			空中
4	トビ	1	V		E2			空中
5	カイツブリ	5	V		A2			
6	カワウ	6	V		C1			
7	モズ	1	V		E2			
8	シジュウカラ	1	C		E2			
9	ミサゴ	1	V		A2	国NT		空中、宮城県R4.2013では、重要種から除外
10	コガモ	4	V		A2			
11	アオサギ	8	V		D2			
12	カモメ	4	V		A1			
13	オカヨシガモ	2	V		A1			
14	カモメ	5	V		A1			
15	ウミネコ	10	V		A1			
16	オオセグロカモメ	1	V		A1			
17	ユリカモメ	120	V		A1			
18	ノスリ	1	V		E2			空中
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マウンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	7:30	8:30	晴れ	弱い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオヨシキリ	2	S	囀り	E2			
2	スズメ	1	V		I2			
3	トビ	3	V	ネスト	F3			
4	スズメ	10	V		F3			
5	ムクドリ	7	V		J1			
6	カワウ	1	V		J1			
7	ハシブトガラス	1	V	巣立ち雛	F3			
8	ハシボソガラス	1	V		F3			
9	キジバト	1	V		F3			
10	スズメ	2	V		J1			
11	アオジ	1	S	囀り	E2			
12	ツバメ	1	V		J1			
13	モズ	1	V		I2			
14	オオヨシキリ	2	S	囀り	E2			
15	ウミネコ	1	V		J1			
16	ホオジロ	1	S	囀り	E2			
17	モズ	1	V		E2			
18	ハシボソガラス	1	V		J1			
19	カッコウ	1	S	囀り	F3			
20	ツバメ	1	V		J1			
21	スズメ	3	V		D3			
22	ハシブトガラス	3	V		F1			
23	ハシブトガラス	6	V		F1			
24	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
25	カララヒ	2	V		J1			
26	ムクドリ	1	V		J1			
27	ウミネコ	2	V		C1			
28	モズ	1	V		E2			
29	ハシブトガラス	1	V		C1			
30	カルガモ	2	V		C1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 高柳 茂暢

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	7:30	8:30	晴れ	弱い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	ホオジロ	2	V		E1			
32	ツバメ	2	V		J1			
33	シジュウカラ	1	C		F1			
34	スズメ	3	V		F1			
35	ハシブトガラス	1	V		F3			
36	ツバメ	1	V		J1			
37	オオヨシキリ	3	V		E1			
38	ダイサギ	4	V		J1			
39	スズメ	4	V		E1			
40	トビ	1	V		J1			
41	コチドリ	1	V		C1			
42	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
43	ホオジロ	1	C		E2			
44	トビ	1	V		J1			
45	スズメ	6	V		E2			
46	オオヨシキリ	3	S	囀り	E2			
47	ホオジロ	1	S	囀り	E2			
48	ホオジロ	1	S	囀り	E2			
49	ダイサギ	1	V		J1			
50	スズメ	3	V		E2			
51	トビ	1	V		J1			
52	ハシブトガラス	2	V		F3			
53	ツバメ	1	V		J1			
54	ウグイス	1	S	囀り	F3			
55	イソシギ	1	V		A1			
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	高柳 茂暢

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	11:50	12:20	晴れ	弱い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	トビ	2	V	雛1個体	E2			
2	ハシブトガラス	1	V	抱卵または抱雛	E2			
3	ウミネコ	1	V		C1			
4	カルガモ	3	V		J1			
5	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
6	カンムリカイツブリ	1	V		A1			
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	高柳 茂暢

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+										

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	10:35	11:05	晴れ	弱い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	24	V		F1			
2	ハシボソガラス	1	V		F1			
3	ウミネコ	8	V		C1			
4	カルガモ	7	V		C1			
5	オナガガモ	2	V		C1			
6	トビ	2	V		I2			
7	ハシブトガラス	1	V		I2			
8	ハシブトガラス	1	V		E2			
9	ハシブトガラス	15	V		C1			
10	スズメ	1	V		J1			
11	オオヨシキリ	5	SV	囀り	E2			
12	マガモ	1	V		C1			
13	キジ	1	S	囀り	E2			
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	高柳 茂暢

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
							10		20	20		40								10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	8:35	9:05	晴れ	弱い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	1	VS	囀り	F1			
2	ホオジロ	1	VS	囀り	F1			
3	ウミネコ	2	V		J1			
4	ハシボソガラス	1	V		J1			
5	ハシブトガラス	1	V		D3			
6	カワラヒワ	3	V		J1			
7	トビ	1	V		J1			
8	カワウ	3	V		F2			
9	オオセグロカモメ	1	V		J1			
10	カルガモ	7	V		J1			
11	ツバメ	1	V		J1			
12	キジ	1	S	囀り	F1			
13	ハチクマ	1	V		J1	国NT、県NT		
14	トビ	1	V		J1			
15	カワラヒワ	1	V		J1			
16	スズメ	1	V		J1			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	高柳 茂暢

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20						10												30	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	13:10	13:50	晴れ	弱い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	チュウシャクシギ	1	V		J1			波消ブロック
2	ウミネコ	80	V		C1			
3	オオセグロカモメ	3	V		C1			
4	コアジサシ	1	V		J1	国際、国VU、県VU		
5	ハクセキレイ	1	V		I2			
6	スズメ	1	V		I2			
7	ウミネコ	3	V		J1			
8	トビ	1	V		I2			
9	スズメ	2	V		J1			
10	ウミネコ	3	V		I2			
11	トビ	1	V		J1			
12	ウミネコ	2	V		J1			
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	高柳 茂暢

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	9:15	9:45	晴れ	弱い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ミサゴ	1	V	パーチ	F3	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
2	トビ	1	V	パーチ	F3			
3	ハシブトガラス	1	V		J1			
4	ホオジロ	1	VS	囀り	F3			
5	ホオジロ	1	VS	囀り	E2			
6	オオヨシキリ	3	VS	囀り	E2			
7	ハシブトガラス	1	V	採餌	F3			
8	ツバメ	1	V		J1			
9	スズメ	1	V		J1			
10	トビ	1	V		J1			
11	ハシブトガラス	1	V		J1			
12	ミサゴ	1	V		F3	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
13	キジ	1	V		C1			
14	オオセグロカモメ	1	V		C1			
15	スズメ	1	V		F1			
16	シジュウカラ	1	V		F3			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	高柳 茂暢

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	9:08	14:05	晴れ	弱い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	スズメ	5	V	巣立ち雛	J1			
2	ツバメ	2	V		J1			
3	トビ	1	V		J1			
4	カッコウ	1	SV	囀り	F3			
5	ダイサギ	1	V		E2			
6	ミサゴ	1	V		E2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
7	カルガモ	1	V		I2			
8	ホオジロ	1	V		E2			
9	モズ	1	V		F3			
10	カワウ	1	V		J1			
11	カルガモ	2	V		C1			
12	ウミネコ	1	V		J1			
13	カルガモ	2	V		J1			
14	コチドリ	1	V		C1			
15	イソシギ	2	V		C1			
16	コチドリ	1	V		C1			
17	ハクセキレイ	1	V		C1			
18	ウミネコ	3	V		C1			
19	オナガガモ	2	V		C1			
20	ウグイス	1	S	囀り	F3			
21	ウグイス	1	S	囀り	F1			
22	カラヒタ	1	S	囀り	F1			
23	ハクセキレイ	1	V		J1			
24	アオジ	1	S	囀り	E2			
25	ダイサギ	1	V		J1			
26	オオセグロカモメ	1	V		J1			
27	ウミネコ	7	V		C1			
28	ウミネコ	34	V		C1			
29	オオセグロカモメ	2	V		C1			
30	カワウ	1	V		C1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 高柳 茂暢

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月14日	9:08	14:05	晴れ	弱い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	キジバト	1	V		J1			
32	セッカ	1	C		E1			
33	コアジサシ	3	V		J1	国際、国VI、県VI		
34	ヒバリ	1	SV	囀り	J1			
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	高柳 茂暢

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	6:00	8:15	曇り	微～弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	3	V		F1			
2	カワラヒワ	1	S	囀り	F1			
3	カワラヒワ	6	V		F1			
4	ササゴイ	1	V		A1			
5	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
6	トビ	1	V		F3			
7	ハシボソガラス	2	V		F3			
8	ササゴイ	1	V		I2			
9	スズメ	2	V		E1			
10	ハクセキレイ	1	V		I2			
11	オオヨシキリ	1	V		E2			
12	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
13	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
14	ハヤブサ	1	V		F3	国内固有種		
15	スズメ	2	V		F3			
16	ウグイス	1	S	囀り	E1			
17	キジバト	1	V		E2			
18	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
19	ウミネコ	1	V		C1			
20	シジュウカラ	2	C		F3			
21	モズ	1	V		F3			
22	オナガガモ	2	V		C1			
23	ハシボソガラス	3	V		F3			
24	アオサギ	1	V		F3			
25	カワラヒワ	1	S	囀り	F3			
26	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
27	ハクセキレイ	1	V		D2			
28	セッカ	1	S	囀り	J1			空中
29	モズ	1	V		F1			
30	ハシボソガラス	2	V		F1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	6:00	8:15	曇り	微～弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
32	ヨシゴイ	1	V		E1	国NT, 県NT		
33	ホオジロ	1	S	囀り	E2			
34	カワラヒワ	2	V		F1			
35	オオヨシキリ	1	S	囀り	F1			
36	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
37	ホオジロ	2	V		E2			
38	ツバメ	1	V		A1			
39	ハシブトガラス	1	V		E2			
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10			20				20									10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	10:40	11:10	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウグイス	1	S	囀り	F1			
2	カララヒワ	1	S	囀り	F1			
3	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
4	ハシブトガラス	1	V		F3			
5	イソシギ	2	V		A1			
6	セッカ	1	S	囀り	E1			
7	ヒノリ	1	S	囀り	E1			
8	ウミネコ	30	V		A1			
9	オオセグロカモメ	3	V		A1			
10	ムクドリ	4	V		F3			
11	カッコウ	1	S	囀り	F3			
12	キンクロハジロ	1	V		A1			
13	トビ	1	V		J1			
14	ハシブトガラス	3	V	巣入り雛	F3			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+										

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	9:45	10:15	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
2	オオヨシキリ	1	S	囀り	F1			
3	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
4	ホオジロ	1	S	囀り	F1			
5	ウグイス	1	S	囀り	F1			
6	ハシボソガラス	1	V		F1			
7	ウミネコ	1	V		C1			
8	ダイサギ	1	V		C1			
9	ハシボソガラス	2	V		C1			
10	ツバメ	2	V		C1			
11	アオジ	1	S	囀り	F1			
12	カルガモ	1	V		C1			
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
							10		20	20		40								10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	8:20	8:50	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	1	S	囀り	F1			
2	ホオジロ	1	S	囀り	F1			
3	コチドリ	1	V		D3			
4	ヒバリ	1	V		D3			
5	ミサゴ	1	V		J1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
6	ハシブトガラス	2	V		F3			
7	スズメ	1	V		F1			
8	トビ	1	V		J1			
9	ウグイス	1	S	囀り	F1			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20						10													30

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	11:35	12:05	小雨	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		I2			
2	ウミネコ	75	V		D2			
3	オオセグロカモメ	2	V		D2			
4	スズメ	2	V		I2			
5	ハクセキレイ	1	V		I2			
6	トビ	1	V		J1			
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	9:00	9:30	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオヨシキリ	1	S	囀り	F1			
2	スズメ	2	V		F1			
3	ハシボソガラス	2	V		F1			
4	カワウ	1	V		E2			
5	トビ	1	V		F3			
6	ダイサギ	1	V		E1			
7	アオサギ	1	V		C1			
8	ミサゴ	1	V		F1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
9	オオセグロカモメ	1	V		A1			
10	ホオジロ	1	S	囀り	F1			
11	カルガモ	9	V		J1			
12	ウミネコ	1	V		A1			
13	ハシブトガラス	2	V		F3			
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	6:00	12:05	曇り	微～弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウグイス	1	S	囀り	F1			
2	アオジ	1	S	囀り	E2			
3	ムクドリ	50	V		E1			
4	カルガモ	1	V		A3			
5	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
6	ウグイス	1	S	囀り	F1			
7	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
8	カイツブリ	4	V		A2			
9	ウグイス	1	S	囀り	F1			
10	バン	2	V		A2			
11	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
12	カルガモ	12	V		C1			
13	アオサギ	7	V		C1			
14	ダイサギ	1	V		C1			
15	カワウ	3	V		F3			
16	ミサゴ	3	V		F3	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
17	ミサゴ	1	V		F3	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
18	キジ	1	C		E2			
19	ウグイス	1	S	囀り	F1			
20	オオヨシキリ	1	S	囀り	F1			
21	ヒバリ	1	S	囀り	F1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	6:15	8:00	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワラヒワ	4	V		D2			
2	トビ	2	V		E1			
3	スズメ	5	V		E2			
4	ホオジロ	1	S	囀り	E1			
5	スズメ	4	V		E1			
6	ウグイス	1	S	囀り	E1			
7	アオサギ	1	V		J1			空中
8	ハクセキレイ	1	V		D2			
9	オオヨシキリ	1	C		E2			
10	ムクドリ	10	V		D2			
11	ダイサギ	1	V		J1			空中
12	モズ	4	V	家族群	F1			
13	ウグイス	1	S	囀り	F3			
14	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
15	スズメ	1	V		F1			
16	スズメ	4	V		F3			
17	ハヤブサ	1	V		J1	国内,国VU,県NT		空中
18	ムクドリ	6	V		E1			
19	トビ	1	V		F3			
20	モズ	1	C		F3			
21	スズメ	4	V		F3			
22	ホオジロ	1	V		E1			
23	カイツブリ	2	V	家族群	A1			
24	モズ	2	V		E1			
25	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
26	オオヨシキリ	3	V		E2			
27	ダイサギ	1	V		A3			
28	ホオジロ	2	V		E1			
29	コゲラ	1	C		F3			
30	ホオジロ	2	V		E1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	10:25	10:55	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	チョウゲンボウ	1	V		J1			空中
2	ハシブトガラス	4	V	家族群	F2			
3	カラヒワ	3	V		F2			
4	アオジ	1	S	囀り	F2			
5	ウミネコ	1	V		J1			空中
6	オオセグロカモメ	2	V		J1			空中
7	スズメ	1	V		D1			
8	ウグイス	1	S	囀り	F2			
9	アオサギ	1	V		J1			空中
10	ダイサギ	1	V		J1			空中
11	ハクセキレイ	1	V		D2			
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+		+								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月25日	9:35	10:05	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		C1			
2	トビ	1	V		J1			空中
3	ダイサギ	1	V		J1			空中
4	オオヨシキリ	1	C		F1			
5	カワラヒワ	2	C		F1			
6	ウミネコ	2	V		J1			空中
7	アオサギ	1	V		J1			空中
8	ツバメ	2	V		J1			空中
9	ハクセキレイ	1	C		C1			
10	カワウ	1	V		A1			
11	ハシボソガラス	1	V		C1			
12	トビ	1	V		F3			
13	アオジ	1	S	囀り	F3			
14	カルガモ	6	V		C1			
15	ダイサギ	1	V		C1			
16	アオサギ	1	V		C1			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
							10		20	20		40								10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 3	時期 夏季	調査年月日 2014年7月25日	開始時刻 8:10	終了時刻 8:40	天候 晴れ	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	1	V		E1			
2	カワラヒワ	2	C		E1			
3	モズ	1	V		E1			
4	ツバメ	3	V		J1			空中
5	ウミネコ	1	V		J1			空中
6	カワラヒワ	3	V		E1			
7	ホオジロ	1	S	囀り	E1			
8	ダイサギ	1	V		J1			空中
9	ツバメ	7	V		J1			空中
10	ハシボソガラス	2	V		J1			空中
11	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
12	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県RL2013では、重要種から除外
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20						10													30

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	11:25	11:55	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	1	V		I2			
2	ウミネコ	36	V		D2			
3	オオセグロカモメ	1	V		A1			空中
4	スズメ	1	V		I2			
5	ウミネコ	1	V		I2			
6	ハクセキレイ	1	C		I2			
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	8:50	9:20	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	スズメ	3	V		E1			
2	ハシブトガラス	5	V	家族群	F3			
3	ホオジロ	2	V		E1			
4	オオヨシキリ	1	C		E1			
5	ダイサギ	1	V		J1		空中	
6	アオサギ	1	V		C1			
7	ツバメ	3	V		J1		空中	
8	アオサギ	2	V		C1			
9	コゲラ	1	C		F3			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	6:15	12:00	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	2	V		E1			
2	ハシボソガラス	1	V		C1			
3	カルガモ	28	V		A2			
4	アオサギ	8	V		A2			
5	ミサゴ	2	V		E2	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
6	トビ	2	V		E2			
7	キジバト	2	V		F1			
8	キジ	1	C		F1			
9	ハシブトガラス	1	V		F1			
10	ミサゴ	1	V		F3			
11	アオジ	1	S	囀り	F3			
12	トビ	1	V		C1			
13	アオサギ	1	V		C1			
14	アオアシシギ	1	C		C1			
15	カルガモ	2	V		C1			
16	アオサギ	3	V		C1			
17	シジュウカラ	1	S	囀り	F3			
18	アオサギ	1	V		A1			
19	カルガモ	1	V		A1			
20	ハクセキレイ	1	V		D1			
21	カルガモ	2	V		C1			
22	アオサギ	1	V		C1			
23	ハシボソガラス	1	V		C1			
24	ハシブトガラス	6	V		F3			
25	ダイサギ	1	V		C1			
26	ハシボソガラス	2	V		F3			
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	6:30	8:35	晴れ	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	イソシギ	1	V		A1			低空
2	ムクドリ	5	V		E1			高木
3	ハクセキレイ	1	VC		E1			
4	ウグイス	1	C		E1			ヤブ
5	スズメ	2	V		E1			高木
6	カワラヒワ	3	VC		E2			枯木
7	オオヨシキリ	1	VC		E2			
8	トビ	1	V		E2			枯木
9	スズメ	2	VC		E1			
10	ホオジロ	2	VC		E1			
11	ハシブトガラス	1	V		E1			枯木
12	イソシギ	1	V		I2			
13	ハクセキレイ	1	V		I2			
14	モズ	1	V		E2			
15	カルガモ	1	V		A1			
16	ムクドリ	50	VC		I1			法面
17	ハクセキレイ	2	V		I2			
18	ツバメ	5	V		J1			中空
19	モズ	1	VC		E2			
20	キジバト	1	VC		E2			
21	ハシボソガラス	1	VC		F3			
22	スズメ	10	VC		F3			
23	ノスリ	1	V		F3			
24	ハシボソガラス	1	VC		F3			
25	ノスリ	1	V		F3			
26	ウグイス	1	C		E2			
27	ノスリ	1	V		C1			枯木
28	ノスリ	1	V		C1			枯木
29	ノスリ	1	V		C1			枯木
30	トビ	1	V		C1			枯木

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マウンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	6:30	8:35	晴れ	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	オオヨシキリ	1	VC		E2			
32	カワセミ	1	VC		C1→E2			低空
33	ハクセキレイ	4	V		C1			枯木
34	ミサゴ	1	V		F3	国NT		枯木、宮城県RL2013では、重要種から除外
35	ムクドリ	2	VC		I1			法面
36	オオタカ	1	V		J1	国内、国NT、県NT		低空
37	ハクセキレイ	1	VC		I2			
38	コチドリ	1	VC		J1			上空
39	トビ	1	V		F3			
40	ツバメ	3	V		J1			中空
41	オオセグロカモメ	1	V		A2			
42	ウミネコ	1	V		A2			
43	カルガモ	1	V		A2			
44	ホオジロ	2	VC		E2			
45	モズ	1	V		E2			
46	スズメ	20	V		E2			
47	カルガモ	2	V		A2			
48	ホオジロ	1	VC		E2			
49	ハシボソガラス	2	V		F3			
50	コゲラ	1	C		F3			
51	ハクセキレイ	2	VC		E2			
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	11:20	11:50	曇り	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	2	V		D2			
2	ハシブトガラス	2	V		F1			
3	ハシブトガラス	1	V		F1			
4	トビ	1	V		F1			
5	トビ	1	V		F1			
6	ヒバリ	1	VC		E2			
7	ミサゴ	1	V		F1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
8	ハクセキレイ	1	VC		D2			
9	ツバメ	1	V		J1			
10	ウミネコ	2	V		A1			
11	アオサギ	1	V		J1			
12	イソシギ	1	V		I2			
13	カワラヒワ	2	C		J1			
14	ソリハシシギ	3	V		D2			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タンド			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+		+								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	10:25	10:55	薄曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	2	V		C1			
2	ハシボソガラス	1	V		C1			
3	カルガモ	1	V		C1			
4	カルガモ	3	V		A2			
5	アオサギ	1	V		C1			
6	ミサゴ	1	V		D2	国NT		倒木、宮城県RL2013では、重要種から除外
7	オオセグロカモメ	1	V		D2			
8	ダイサギ	1	V		C1			
9	イソシギ	1	VC		C1			
10	キジバト	1	V		E2			倒木
11	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
12	カワウ	1	V		C1			
13	オオヨシキリ	1	VC		E2			
14	スズメ	5	VC		J1			低空
15	ハクセキレイ	2	VC		C1			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
							10		20	20		40								10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	8:45	9:15	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ミサゴ	1	V		J1	国NT		海、宮城県RL2013では、重要種から除外
2	ハシブトガラス	1	VC		D2			
3	モズ	1	VC		F1			
4	トビ	1	V		F1			枯木
5	ホオジロ	1	VS	囀り	F1			
6	ツバメ	4	V		F1			低空
7	ヒヨドリ	10	VC		F1			
8	キジバト	2	V		F1			
9	カワウ	1	V		A2			中空
10	トビ	1	V		F1			上空
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20						10												30	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	12:20	12:50	曇り	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	100	V		D2			
2	オオセグロカモメ	10	V		D2			
3	トビ	1	V		D2			
4	ハシボソガラス	10	V		D2			
5	ハシブトガラス	30	V		D2			
6	ハヤブサ	1	V		J1	国内固有種		ウミネコ狩る 失敗
7	ハクセキレイ	1	V		D2			
8	ハシボソガラス	2	V		I2			
9	イソシギ	1	VC		I2			波消ブロック
10	トウネン	6	VC		I2			波消ブロック
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	9:25	9:55	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	1	V		A2			
2	ハシボソガラス	1	V		C1			
3	コサギ	1	V		C1			
4	アオサギ	1	V		C1			
5	アオサギ	1	V		C1			
6	ツバメ	20	V		I1			低空
7	モズ	2	VC		F3			
8	カワラヒワ	2	V		C1			中空
9	ホオジロ	1	VC		F1			
10	スズメ	5	VC		F1			
11	シジュウカラ	1	C		F3			
12	ヒヨドリ	1	C		F3			
13	ハシブトガラス	1	V		F1			枯木
14	イソシギ	1	VC		E2			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	6:30	13:00	晴れ	微～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ミサゴ	1	V		E2	国NT		枯木、宮城県RL2013では、重要種から除外
2	ハシブトガラス	1	VC		E2			枯木
3	チョウゲンボウ	1	V		A1			低空
4	ダイサギ	1	V		A3			
5	カルガモ	4	V		A3			
6	キジバト	1	V		E1			電線
7	キジバト	1	V		E1			電線
8	ムクドリ	4	V		E1			電線
9	キジバト	3	V		F3			
10	ダイサギ	3	V		C1			
11	アオサギ	1	V		C1			枯木
12	ミサゴ	2	V		F3	国NT		枯木、宮城県RL2013では、重要種から除外
13	ハシブトガラス	1	V		F3			枯木
14	カルガモ	1	V		C1			
15	ダイサギ	1	V		A3			
16	カルガモ	3	V		A3			
17	カイツブリ	1	V		A3			
18	ハシボソガラス	2	V		I2			
19	ハシボソガラス	1	V		C1			
20	ハシボソガラス	5	V		C1			
21	コサギ	1	V		C1			
22	ダイサギ	1	V		C1			
23	ミサゴ	1	V		E2	国NT		枯木、宮城県RL2013では、重要種から除外
24	ササゴイ	1	V		C1			
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	6:30	9:00	曇り一時雨	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	1	V		A1			
2	スズメ	1	V		E1			空中
3	キジ	8	V		E1			
4	ハシボソガラス	1	V		E1			
5	モズ	1	C		E1			
6	キジバト	4	V		J1			空中
7	ノスリ	1	V		E1			
8	ハシボソガラス	2	V		E1			
9	ハクセキレイ	1	V		E1			
10	モズ	1	V		E1			
11	トビ	1	V		F3			
12	セグロセキレイ	2	V		E1			
13	ヒヨドリ	2	C		F3			
14	ウグイス	1	C		E2			
15	ノスリ	1	V		E2			
16	ホオジロ	1	V		E1			
17	ハシボソガラス	3	V		E1			
18	ハシボソガラス	6	V		C1			
19	キジ	1	C		C1			
20	ホオジロ	2	V		E1			
21	ハクセキレイ	3	V		E1			
22	カワラヒワ	5	V		J1			空中
23	ハシボソガラス	3	V		E1			
24	ノスリ	1	V		E1			
25	カルガモ	2	V		A1			
26	オオタカ	1	V	幼鳥	E2	国内, 留NT, 留NT		狩り
27	ハクセキレイ	6	V		E2			
28	ホオジロ	1	V		J1			空中
29	キジバト	2	V		J1			空中
30	スズメ	7	V		E1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	6:30	9:00	曇り一時雨	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	ウグイス	1	C		E2			
32	スズメ	18	V		E2			
33	モズ	1	V		F3			
34	ハクセキレイ	1	V		E1			
35	イソシギ	2	V		A1			
36	ムクドリ	25	V		E1			
37	コゲラ	1	C		F3			
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	12:00	12:30	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		J1			空中
2	トビ	1	V		J1			空中
3	ミサゴ	1	V		J1	国VU		空中、宮城県RL2013では、重要種から除外
4	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
5	ハシブトガラス	2	V		J1			空中
6	ダイサギ	1	V		J1			空中
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+		+								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	11:00	11:30	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	アオアシシギ	1	V		C1			
2	ハシブトガラス	35	V		C1			
3	ハシブトガラス	27	V		C1			
4	ミサゴ	1	V		D2	国VU		宮城県RL2013では、重要種から除外
5	カルガモ	3	V		C1			
6	ハクセキレイ	1	V		C1			
7	イソシギ	2	V		C1			
8	ウミネコ	1	V		J1			空中
9	ダイサギ	1	V		C1			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
							10		20		40								10	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	9:10	9:40	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ミサゴ	1	V		J1	国VU		空中、宮城県R1.2013では、重要種から除外
2	ハシボソガラス	4	V		E1			
3	カワラヒワ	5	V		J1			空中
4	ホオジロ	1	C		E1			
5	ノスリ	1	V		J1			空中
6	スズメ	13	V		E1			
7	ツバメ	2	V		J1			空中
8	ハシボソガラス	6	V		E1			
9	モズ	1	V		E1			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20						10												30	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	12:50	13:20	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミウ	1	V		J1			海
2	イソシギ	2	V		J1			海
3	ウミウ	1	V		J1			空中
4	ハシボソガラス	1	V		I2			
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	10:00	10:30	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ムクドリ	7	V		E1			
2	シジュウカラ	1	C		F3			
3	スズメ	4	V		E1			
4	ミサゴ	1	V		C1	国VU		宮城県RL.2013では、重要種から除外
5	ミサゴ	1	V		C1	国VU		宮城県RL.2013では、重要種から除外
6	ホオジロ	1	C		E2			
7	アオサギ	2	V		C1			
8	ハシボソガラス	5	V		C1			
9	ハシブトガラス	3	V		E1			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	6:30	13:30	曇り一時雨	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	トビ	1	V		C1			
2	アオサギ	1	V		E1			
3	カワウ	4	V		C1			
4	ミサゴ	1	V		C1	国VU		宮城県RL.2013では、重要種から除外
5	ハヤブサ	2	V		J1	国内,国VU,県NT		空中
6	ミサゴ	1	V		J1	国VU		空中、宮城県RL.2013では、重要種から除外
7	ダイサギ	1	V		C1			
8	ダイサギ	1	V		C1			
9	ツバメ	2	V		J1			空中
10	カルガモ	2	V		C1			
11	ミサゴ	2	V		E2	国VU		宮城県RL.2013では、重要種から除外
12	ミサゴ	1	V		F3	国VU		宮城県RL.2013では、重要種から除外
13	ハシボソガラス	2	V		J1			空中
14	アオサギ	1	V		J1			
15	ダイサギ	1	V		C1			
16	ハクセキレイ	2	V		A1			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V:目視(Visual) S:さえずり(Song) C:地鳴き(Call) 他:その他(Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	7:10	9:40	晴れ	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	トビ	1	V		E1			
2	カワラヒワ	4	VC		E1			
3	ウグイス	1	C		E1			
4	モズ	1	VC		E1			
5	トビ	1	VC		E2			
6	チョウゲンボウ	1	V		E2			
7	ハクセキレイ	5	VC		I2			
8	スズメ	5	C		E2			
9	ハシブトガラス	1	V		E2			
10	アカゲラ	1	VC		E2			
11	ヒバリ	2	VC		J1			
12	ハシボソガラス	1	V		I2			
13	スズメ	2	VC		E1			
14	カルガモ	80	V		J1			
15	ハシボソガラス	1	V		E1			
16	キジバト	1	V		E1			
17	キジバト	1	V		I2			
18	ハシボソガラス	1	VC		I2			
19	カワラヒワ	7	V		E1			
20	トビ	2	V		E2			
21	ハシブトガラス	1	V		E2			
22	アオジ	2	VC		E2			
23	ホオジロ	2	VC		E2			
24	ウグイス	1	V		E2			
25	ホオジロ	1	C		E1			
26	オオタカ	1	V		F3	国内、国NT、県NT		
27	トビ	2	V		F3			
28	トビ	1	V		F3			
29	モズ	1	V		E2			
30	スズメ	5	C		F3			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	7:10	9:40	晴れ	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	ノビタキ	1	V		E1			
32	ハシボソガラス	3	V		E1			
33	カワセミ	1	V		C1			
34	ノビタキ	2	V		E1			
35	アオサギ	4	V		C1			
36	ホオジロ	4	VC		E2			
37	スズメ	10	VC		E2			
38	モズ	1	VC		F3			
39	ホオジロ	1	VC		F3			
40	ノビタキ	1	V		E1			
41	ヒヨドリ	13	V		F3			
42	ホオジロ	1	V		F3			
43	カルガモ	12	V		A1			
44	ミサゴ	1	V		F3	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
45	ヒヨドリ	30	VC		J1			
46	スズメ	10	VC		F3			
47	ハシボソガラス	1	V		F3			
48	シジュウカラ	1	C		F3			
49	ホオジロ	1	C		F3			
50	カワウ	1	V		A1			
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10		20			20		+								10	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	11:55	12:25	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	2	V		D2			
2	オオセグロカモメ	1	V		D2			
3	ハシブトガラス	3	V		D2			
4	ハシブトガラス	2	V		D2			
5	ハシブトガラス	2	V		F1			
6	トビ	2	V		F1			
7	スズメ	3	VC		F1			
8	モズ	1	C		F1			
9	ヒヨドリ	2	V		J1			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+		+								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	11:10	11:40	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	2	V		C1			
2	ハシボソガラス	2	V		C1			
3	アオアシシギ	4	VC		C1			
4	カルガモ	4	V		A2			
5	ダイサギ	4	V		A2			
6	アオサギ	1	V		A2			
7	コガモ	150	V		A1			
8	コガモ	200	V		A1			
9	ハヤブサ	1	V		C1	国内,国VU,県NT		
10	ハクセキレイ	1	VC		C1			
11	ミサゴ	1	V		D2	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
12	ハシブトガラス	2	VC		F2			
13	ヒヨドリ	2	VC		E2			
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
							10		20	20		40								10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	9:45	10:15	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒヨドリ	7	VC		F1			
2	カルガモ	4	V		A1			
3	ダイサギ	2	V		A1			
4	カワウ	1	V		A1			
5	ホオジロ	1	VS	囀り	F1			
6	ホオジロ	1	VC		D2			
7	モズ	1	VC		D2			
8	ヒヨドリ	2	VC		F1			
9	ハシボソガラス	1	V		I2			
10	トビ	1	V		J1			
11	スズメ	5	VC		F1			
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20					10													30	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	12:45	13:15	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	100	V		D2			
2	オオセグロカモメ	10	V		D2			
3	セグロカモメ	4	V		D2			
4	ウミネコ	10	VC		D2			
5	ウミネコ	1	V		A2			
6	ハクセキレイ	1	VC		I2			
7	ハシブトガラス	2	VC		I2			
8	トビ	1	V		I2			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	10:25	10:55	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	アオサギ	1	V		F3			
2	ハシボソガラス	1	V		C1			
3	スズメ	5	VC		E2			
4	ミサゴ	1	V		E2	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
5	アオサギ	1	V		F3			
6	ハシボトガラス	1	VC		F3			
7	スズメ	5	VC		E1			
8	ハクセキレイ	1	V		I2			
9	モズ	1	VC		F3			
10	マガモ	2	V		A1			
11	トビ	2	V		A1			
12	カワウ	1	V		A1			
13	ノスリ	1	V		F1			
14	オシドリ	2	V		A1	国DD		
15	コガモ	100	V		A1			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	7:10	13:30	晴れ	微～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	6	V		C1			
2	ハシブトガラス	2	V		E2			
3	ノスリ	1	V		E2			
4	ヒヨドリ	50	VC		J1			
5	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
6	ダイサギ	1	V		C1			
7	ダイサギ	1	V		C1			
8	コサギ	1	V		I2			
9	アオサギ	3	V		I2			
10	ダイサギ	3	V		C1			
11	カルガモ	6	V		A1			
12	コガモ	2	V		A1			
13	アオアシシギ	3	V		C1			
14	カイツブリ	2	V		A1			
15	チョウゲンボウ	1	V		F3			
16	アオアシシギ	2	V		C1			
17	コガモ	8	V		A1			
18	ハシビロガモ	2	V		A1			
19	コガモ	3	V		A2			
20	カルガモ	20	V		A2			
21	コガモ	40	V		A2			
22	コガモ	250	V		A2			
23	マガモ	10	V		A2			
24	カルガモ	20	V		A2			
25	オナガガモ	10	V		A2			
26	ダイサギ	1	V		A2			
27	ハクセキレイ	2	V		C1			
28	アオアシシギ	4	V		C1			
29	アオサギ	1	V		C1			
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐竹 一秀

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	6:15	8:15	晴れ	弱～強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	2	V		A1			
2	カルガモ	2	V		A1			
3	ジョウビタキ	1	C		E2			
4	スズメ	1	C		E2			
5	ハクセキレイ	1	C		E2			
6	トビ	1	V		E1			
7	カワラヒワ	4	V		J1			空中
8	ヒヨドリ	1	C		E1			
9	ベニマシコ	3	V		E1			
10	ハシブトガラス	1	V		E1			
11	カルガモ	36	V		A1			
12	カワウ	1	V		J1			空中
13	ホオジロ	2	V		E1			
14	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県R1.2013では、重要種から除外
15	ハヤブサ	1	V		J1	国内、国VU、県NT		空中
16	モズ	1	V		E2			
17	ウグイス	1	C		E2			
18	ハシボソガラス	4	V		E2			
19	ジョウビタキ	1	C		E2			
20	スズメ	7	V		E2			
21	カシラダカ	18	V		E2			
22	ホオジロ	2	V		E2			
23	キジ	1	C		E2			
24	マガモ	85	V		C1			
25	オナガガモ	132	V		C1			
26	コガモ	33	V		C1			
27	ホシハジロ	5	V		C1			
28	カルガモ	27	V		C1			
29	アオサギ	1	V		C1			
30	シジュウカラ	1	C		E2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マウンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	6:15	8:15	晴れ	3~5

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	ウソ	9	V		J1			空中
32	ベニマシコ	8	V		E2			
33	カワラヒワ	17	V		J1			空中
34	ハクセキレイ	3	V		C1			
35	ホオジロ	3	V		E2			
36	アオサギ	1	V		C1			
37	ハシボソガラス	4	V		E1			
38	コゲラ	1	C		F3			
39	ダイサギ	8	V		A1			
40	マガモ	24	V		A1			
41	コガモ	58	V		A1			
42	カルガモ	2	V		A1			
43	カルガモ	38	V		A1			
44	ホオジロ	5	V		E2			
45	キジバト	2	V		J1			空中
46	カワラヒワ	10	V		J1			空中
47	アトリ	27	V		J1			空中
48	マガモ	20	V		A1			
49	コガモ	10	V		A1			
50	ホシハジロ	1	V		A1			
51	メジロ	4	V		F1			
52	ジョウビタキ	1	C		E2			
53	ホオジロ	1	C		E2			
54	スズメ	33	V		E2			
55	ヒヨドリ	2	V		F3			
56	モズ	1	V		E2			
57	カワウ	12	V		J1			空中
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10			20				20									10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	11:00	11:30	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		J1			空中
2	マガモ	3	V		J1			空中
3	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
4	カワウ	1	V		J1			空中
5	ハシボソガラス	2	V		D2			
6	マガモ	13	V		J1			空中
7	ホシハジロ	1	V		A1			
8	スズガモ	17	V		A1			
9	ホオジロ	1	V		E2			
10	トビ	1	V		J1			空中
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+		+								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	10:05	10:35	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	アオアシシギ	2	V		C1			
2	イソシギ	2	V		C1			
3	オナガガモ	225	V		C1			
4	マガモ	378	V		C1			
5	カルガモ	55	V		C1			
6	コガモ	87	V		C1			
7	カワウ	2	V		J1			空中
8	カワラヒワ	6	V		J1			空中
9	アオサギ	5	V		C1			
10	トビ	1	V		J1			空中
11	ハシブトガラス	4	V		E2			
12	ノスリ	1	V		E2			
13	ハシボソガラス	15	V		E2			
14	ダイサギ	3	V		C1			
15	ウソ	14	V		J1			空中
16	ヒヨドリ	4	V		J1			空中
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
							10		20		20		40							10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	8:30	9:00	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	3	V		E2			
2	スズメ	6	V		E2			
3	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
4	カワウ	7	V		J1			空中
5	ウミネコ	1	V		J1			空中
6	ベニマシコ	8	V		E2			
7	カワラヒワ	4	V		E2			
8	カルガモ	8	V		J1			空中
9	ヒバリ	1	V		E1			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20					10													30	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	11:50	12:20	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		J1			空中
2	オオセグロカモメ	2	V		J1			空中
3	ダイサギ	1	V		J1			空中
4	ウミウ	1	V		J1			海上
5	オオセグロカモメ	2	V		J1			空中
6	ウミネコ	6	V		J1			空中
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	9:15	9:45	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	9	V		C1			
2	トビ	1	V		J1			空中
3	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
4	キジ	1	V		E2			
5	ヒヨドリ	1	C		F3			
6	ハクセキレイ	1	C		E1			
7	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
8	キジバト	3	V		F3			
9	カワウ	2	V		J1			空中
10	アトリ	41	V		J1			空中
11	カワラヒワ	13	V		J1			空中
12	カルガモ	19	V		J1			空中
13	オオハクチョウ	4	V		J1			空中
14	モズ	1	V		E2			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	6:15	12:30	晴れ	弱～強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	コガモ	5	V		C1			
2	オオタカ	1	V		E2	国内,国NT,県NT		
3	ダイサギ	6	V		C1			
4	カワウ	11	V		J1			空中
5	イソシギ	3	V		C1			
6	アオサギ	4	V		C1			
7	オナガガモ	258	V		C1			
8	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
9	ウミネコ	2	V		J1			空中
10	マガモ	200	V		C1			
11	オナガガモ	300	V		C1			
12	ミサゴ	1	V		F3	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
13	アカゲラ	1	V		F3			
14	オオバン	1	V		A1			宮城県RL.2013では、重要種から除外
15	カルガモ	45	V		A1			
16	マガモ	29	V		A1			
17	カワアイサ	2	V		A1			
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	6:50	8:46	晴れ	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハクセキレイ	3	V		E1			
2	トビ	2	V		F3			
3	カワウ	8	V		F3			
4	ウグイス	1	C		E2			
5	ムクドリ	2	V		F3			
6	カワウ	5	V		A1			
7	スズメ	5	V		E1			
8	アオジ	1	C		E2			
9	カルガモ	41	V		A2			
10	マガモ	2	V		A2			
11	ツグミ	1	V		E2			
12	ホオジロ	2	V		E1			
13	ダイサギ	1	V		J1			空中
14	ヒヨドリ	2	V		E1			
15	マガモ	6	V		A1			
16	ホオジロガモ	1	V		A1			
17	カイツブリ	2	V		A1			
18	ハシブトガラス	3	V		J1			空中
19	ホオジロ	2	C		E2			
20	ハシブトガラス	2	V		J1			空中
21	スズメ	10	V		F3			
22	ハシボソガラス	1	V		F3			
23	ツグミ	2	C		F3			
24	ベニマシコ	3	V		E1			
25	ハクセキレイ	1	V		C1			
26	ダイサギ	1	V		C1			
27	アオサギ	1	V		C1			
28	キジバト	2	V		F3			
29	カワラヒワ	2	V		J1			空中
30	ホオジロ	2	V		E2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	6:50	8:46	晴れ	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	モズ	1	V		E1			
32	カワウ	1	V		J1			空中
33	ツグミ	1	V		F3			
34	キジバト	5	V		J1			空中
35	ノスリ	1	V		F3			
36	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県RL.2013では、重要種から除外
37	オオジュリン	5	V		E2			
38	シジュウカラ	1	C		E2			
39	ツグミ	1	V		E1			
40	ホオジロ	2	V		E1			
41	カルガモ	18	V		A1			
42	スズガモ	2	V		A1			
43	ホオジロガモ	1	V		A1			
44	ハシブトガラス	1	V		F3			
45	カワセミ	1	V		J1			空中
46	オカヨシガモ	1	V		A1			
47	ホシハジロ	1	V		A1			
48	マガモ	6	V		A1			
49	コガモ	4	V		A1			
50	オオバン	1	V		A1			宮城県RL.2013では、重要種から除外
51	キジバト	2	V		F3			
52	ミサゴ	1	V		F3	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
53	カルガモ	37	V		A1			
54	オオバン	2	V		A1			宮城県RL.2013では、重要種から除外
55	スズメ	8	V		E1			
56	コジュリン	1	V		E2	国VU,県NT		
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V:目視 (Visual) S:さえずり (Song) C:地鳴き (Call) 他:その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10			20				20									10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	11:00	11:30	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	スズガモ	33	V		A1			
2	ホシハジロ	8	V		A1			
3	オカヨシガモ	2	V		A1			
4	カンムリカイツブリ	1	V		A1			
5	ハジロカイツブリ	1	V		A1			
6	カモメ	17	V		A1			
7	ウミネコ	16	V		A1			
8	ノスリ	1	V		E2			
9	カワウ	1	V		J1			空中
10	カワウ	1	V		J1			空中
11	ホオジロガモ	27	V		A1			
12	オオバン	7	V		A1			宮城県RL2013では、重要種から除外
13	コサギ	2	V		D2			
14	ハクセキレイ	1	V		C1			
15	スズメ	3	V		J1			空中
16	ヒバリ	1	V		E2			
17	イソシギ	1	V		C1			
18	カワウ	1	V		A1			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+		+								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	10:15	10:45	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	230	V		A2			
2	ダイサギ	1	V		C1			
3	ハマシギ	46	V		C1	国NT		
4	シロチドリ	25	V		C1	国VU		
5	カワウ	1	V		J1			空中
6	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県RL2013では、重要種から除外
7	ハシブトガラス	1	V		E2			
8	ホオジロ	3	V		E2			
9	オナガガモ	310	V		A2			
10	マガモ	60	V		A2			
11	オカヨシガモ	2	V		A2			
12	ヒドリガモ	2	V		A2			
13	カワラヒワ	2	V		J1			空中
14	ヒヨドリ	3	V		J1			空中
15	ハクセキレイ	2	V		C1			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
							10		20	20		40								10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	8:55	9:25	晴れ	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	8	V		E1			
2	ジョウビタキ	1	V		E1			
3	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
4	カワラヒワ	3	V		E1			
5	ツグミ	1	C		E1			
6	ハシボソガラス	1	V		D1			
7	ダイサギ	1	V		J1			空中
8	ヒヨドリ	1	V		F3			
9	ノスリ	1	V		D2			
10	スズメ	26	V		E1			
11	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
12	カワウ	1	V		J1			空中
13	カルガモ	3	V		J1			空中
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20						10												30	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	11:55	12:25	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ミユビシギ	57	V		I2			
2	ウミネコ	149	V		I2			
3	カモメ	30	V		I2			
4	ユリカモメ	1	V		I2			
5	セグロカモメ	33	V		I2			
6	オオセグロカモメ	30	V		I2			
7	ハジロカイツブリ	3	V		A1			
8	ヒドリガモ	33	V		A1			
9	クロガモ	3	V		A1			
10	スズガモ	2	V		A1			
11	カワウ	2	V		I2			
12	ハクセキレイ	1	V		I2			
13	オカヨシガモ	1	V		A1			
14	ヒドリガモ	2	V		A1			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	9:30	10:00	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	7	V		A1			
2	カワウ	1	V		J1			空中
3	トビ	2	V		J1			空中
4	キジバト	1	V		J1			空中
5	スズメ	5	C		F3			
6	ミサゴ	1	V		E1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
7	ヒヨドリ	6	V		J1			空中
8	カワラヒワ	11	V		J1			空中
9	キジバト	2	V		F3			
10	ハシボソガラス	1	V		J1			空中
11	カワウ	1	V		A1			
12	ダイサギ	1	V		C1			
13	ハクセキレイ	1	C		C1			
14	オオジュリン	2	C		E2			
15	ホオジロ	2	C		E2			
16	ヒヨドリ	6	V		J1			空中
17	ハジロカイツブリ	1	V		A1			
18	カンムリカイツブリ	1	V		A1			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10			20		20		+								10	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	6:50	12:30	晴れ	微～弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	369	V		A2			
2	オナガガモ	730	V		A2			
3	マガモ	180	V		A2			
4	ハマシギ	14	V		C1	国NT		
5	シロチドリ	18	V		C1	国VU		
6	ツルシギ	1	V		C1	国VU		
7	コハクチョウ	20	V		J1			空中
8	ハクセキレイ	2	V		C1			
9	ハシボソガラス	2	V		C1			
10	カワアイサ	2	V		A2			
11	ホオジロガモ	2	V		A2			
12	マガモ	18	V		A2			
13	オナガガモ	5	V		A2			
14	コハクチョウ	12	V		J1			空中
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 清水 博之

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マウンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	7:10	10:00	曇り	無

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ベニマシコ	6	V		E1			
2	スズメ	20	V		E2			
3	ツグミ	1	C		E1			
4	ウミネコ	1	V		J1			空中
5	ウソ	3	V		E1			
6	ウグイス	1	C		E1			
7	マガモ	36	V		A1			
8	ホオジロ	4	V		E1			
9	ツグミ	4	V		E1			
10	アトリ	11	V		J1			空中
11	ハクセキレイ	1	V		E1			
12	トビ	3	V		E2			
13	マガモ	8	V		A1			
14	カルガモ	15	V		A1			
15	ホオジロガモ	2	V		A1			
16	キジ	1	C		E2			
17	ヒヨドリ	1	V		E2			
18	カワラヒワ	20	V		J1			空中
19	アカゲラ	1	C		F3			
20	ホオジロ	2	V		E1			
21	ハクセキレイ	1	V		E1			
22	マガモ	250	V		C1			
23	アオサギ	1	V		C1			
24	イソシギ	1	V		C1			
25	ツグミ	1	V		E1			
26	オオバン	4	V		A1			宮城県RL2013では、重要種から除外
27	カイツブリ	1	V		A1			
28	カシラダカ	13	V		E2			
29	キジバト	2	V		J1			空中
30	アオゲラ	1	V		F3			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マウンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	7:10	10:00	曇り	無

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	ホオジロ	9	V		E2			
32	エナガ	15	V		F3			
33	シジュウカラ	10	V		F3			
34	ヤマガラ	5	V		F3			
35	コガラ	15	V		F3			
36	コゲラ	1	V		F3			
37	カワアイサ	2	V		J1			空中
38	アオジ	4	V		E2			
39	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
40	オカヨシガモ	2	V		A1			
41	アカゲラ	1	V		F3			
42	モズ	1	V		E1			
43	ジョウビタキ	1	C		E1			
44	オオバン	1	V		A1			宮城県RL.2013では、重要種から除外
45	ハジロカイツブリ	1	V		A1			
46	コガモ	4	V		A1			
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10			20		20		+									10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	12:35	13:05	曇り	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ノスリ	1	V		E2			
2	ウミネコ	68	V		A1			
3	ハシブトガラス	5	V		J1			空中
4	ウミネコ	6	V		J1			空中
5	カルガモ	1	V		J1			空中
6	スズメ	50	V		E2			
7	ホオジロ	7	V		E2			
8	トビ	1	V		J1			空中
9	スズガモ	35	V		A1			
10	ヒバリ	1	V		E2			
11	オオセグロカモメ	3	V		J1			空中
12	カモメ	1	V		C1			
13	ユリカモメ	15	V		J1			空中
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+		+								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	11:40	12:10	曇り	無

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハマシギ	22	V		C1	国NT		
2	カワウ	34	V		C1			
3	マガモ	166	V		C1			
4	オナガガモ	284	V		C1			
5	コガモ	43	V		C1			
6	オオセグロカモメ	2	V		C1			
7	シロチドリ	11	V		C1	国VU		
8	ハイロチュウヒ	1	V		J1			空中
9	セグロセキレイ	2	V		C1			
10	ハクセキレイ	2	V		C1			
11	ウミネコ	2	V		J1			空中
12	トビ	1	V		J1			空中
13	ホオジロ	7	V		E1			
14	ハシブトガラス	5	V		J1			空中
15	シロチドリ	9	V		C1	国VU		
16	カモメ	1	V		C1			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
							10		20	20		40								10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	10:05	10:35	曇り	無

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	10	V		E1			
2	カシラダカ	30	V		J1			空中
3	ハシブトガラス	3	V		J1			
4	ツグミ	8	V		E1			
5	カワラヒワ	24	V		E1			
6	スズメ	32	V		E1			
7	カワウ	6	V		J1			空中
8	ウミネコ	1	V		J1			空中
9	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
10	トビ	1	V		J1			空中
11	マガモ	4	V		J1			空中
12	アトリ	45	V		J1			空中
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20						10												30	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	13:15	13:45	曇り	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオバン	2	V		J1			海上宮城県RL2013では、重要種から除外
2	クロガモ	12	V		J1			海上
3	ハジロカイツブリ	1	V		J1			海上
4	ウミウ	1	V		J1			空中
5	ハジロカイツブリ	2	V		J1			海上
6	ハクセキレイ	1	V		I2			
7	カワウ	15	V		J1			空中
8	ハクセキレイ	1	V		I2			
9	ウミネコ	4	V		J1			空中
10	オオセグロカモメ	3	V		J1			空中
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	10:50	11:20	曇り	無

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県R1.2013では、重要種から除外
2	トビ	1	V		C1			
3	アオサギ	1	V		C1			
4	スズメ	5	V		E2			
5	ツグミ	3	C		E2			
6	ヒヨドリ	2	C		F3			
7	ハシブトガラス	1	C		F3			
8	ジョウビタキ	1	C		E2			
9	カワウ	6	V		J1			空中
10	カルガモ	8	V		J1			空中
11	マガモ	75	V		C1			
12	カワラヒワ	7	V		J1			空中
13	カルガモ	250	V		J1			空中
14	オオジュリン	1	V		E2			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	7:00	14:30	曇り	無～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	85	V		C1			
2	カルガモ	8	V		A1			
3	ホオジロガモ	2	V		A1			
4	ノスリ	1	V		E1			
5	マガモ	58	V		C1			
6	シジュウカラ	1	C		E1			
7	トビ	1	V		J1			空中
8	カワウ	3	V		J1			空中
9	ムクドリ	4	V		E1			
10	ハシブトガラス	2	V		J1			空中
11	ツグミ	8	V		E1			
12	ハシボソガラス	1	V		E2			
13	マガモ	21	V		J1			空中
14	ヒヨドリ	3	V		E2			
15	シメ	2	V		E2			
16	ムクドリ	9	V		E1			
17	メジロ	13	V		E2			
18	オナガガモ	26	V		C1			
19	カワウ	24	V		C1			
20	コガモ	38	V		C1			
21	マガモ	156	V		C1			
22	ホオジロガモ	18	V		C1			
23	シロチドリ	27	V		C1	国VU		
24	マガモ	55	V		C1			
25	オナガガモ	87	V		C1			
26	カルガモ	39	V		C1			
27	ダイサギ	1	V		J1			空中
28	セグロセキレイ	1	V		C1			
29	スズガモ	33	V		C1			
30	マガモ	196	V		C1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	7:00	14:30	曇り	無～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	マガモ	280	V		C1			
32	ホシハジロ	1	V		C1			
33	チョウゲンボウ	1	V		J1			空中
34	マガモ	175	V		C1			
35	スズメ	12	V		E2			
36	ムクドリ	2	V		E1			
37	チョウゲンボウ	1	V		E1			
38	ヒヨドリ	1	V		E2			
39	カルガモ	3	V		A1			
40	マガモ	2	V		A1			
41	ダイサギ	1	V		C1			
42	アオサギ	1	V		C1			
43	ハクセキレイ	1	V		C1			
44	ホオジロガモ	18	V		A1			
45	カワラヒワ	1	V		E2			
46	ハマシギ	32	V		C1	国NT		
47	ノスリ	1	V		J1			
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	安島 博

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	6:30	8:30	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワアイサ	2	V		A1			
2	カワウ	1	V		A1			
3	ハクセキレイ	1	V		A1			
4	アカゲラ	1	V		F3			
5	ツグミ	1	V		E1			
6	スズメ	5	V		E1			
7	ベニマシコ	2	V		E1			
8	カルガモ	29	V		A2			
9	マガモ	1	V		A2			
10	コガモ	7	V		A2			
11	トビ	1	V		F3			
12	ノスリ	1	V		J1			空中
13	トビ	7	V		F3			
14	スズメ	30	V		F3			
15	シメ	3	V		F3			
16	ゴイサギ	1	V		A1			
17	カシラダカ	3	VC		F2			
18	オオジュリン	3	V		E2			
19	ホオジロ	1	C		E2			
20	アカゲラ	1	V		F1			
21	ハシボソガラス	2	V		F3			
22	ツグミ	2	V		F3			
23	ハマシギ	17	V		C1	国NT		
24	ダイシャクシギ	1	V		C1			
25	カワラヒワ	18	V		F3			
26	ツグミ	1	V		C1			
27	ヒヨドリ	1	C		F3			
28	ホオジロ	2	V		E1			
29	ホオジロ	3	V		E1			
30	カワラヒワ	3	V		E2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マウンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	6:30	8:30	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	アオサギ	1	V		C1			
32	オオバン	3	V		C1			宮城県RL.2013では、重要種から除外
33	カワラヒワ	40	V		E1			
34	カシラダカ	10	V		E1			
35	ベニマシコ	1	C		E1			
36	オオジュリン	3	C		E2			
37	ハシボソガラス	3	V		F3			
38	カイツブリ	1	V		A1			
39	シジュウカラ	5	V		E2			
40	カワアイサ	1	V		A2			
41	マガモ	5	V		A2			
42	ベニマシコ	2	V		I1			
43	ホオジロ	6	V		I1			
44	カルガモ	7	V		A1			
45	オカヨシガモ	3	V		A1			
46	カンムリカイツブリ	1	V		A1			
47	キジ	3	VC		E2			
48	ホシハジロ	1	V		A1			
49	キンクロハジロ	2	V		A1			
50	スズガモ	3	V		A1			
51	ホオジロガモ	3	V		A1			
52	ホオジロ	2	V		E1			
53	ミサゴ	1	V		E2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
54	スズメ	3	V		E2			
55	ツグミ	1	V		F3			
56	スズメ	8	V		F3			
57	カワウ	3	V		A1			
58	オオバン	3	V		A1			宮城県RL.2013では、重要種から除外
59	コガモ	7	V		A1			
60	カルガモ	2	V		A1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	6:30	8:30	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
61	カイツブリ	1	V		A1			
62	ジョウビタキ	1	V		E1			
63	モズ	1	V		E1			
64								
65								
66								
67								
68								
69								
70								
71								
72								
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				10			20				20									10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	11:05	11:35	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロガモ	1	V		A1			
2	カワアイサ	2	V		A1			
3	ホオジロ	2	V		E1			
4	ツグミ	2	V		E1			
5	コガモ	12	V		A1			
6	ヒドリガモ	3	V		A1			
7	カワウ	1	V		J1			空中
8	オジロワシ	1	V		J1	天,国VU,県VU		空中
9	スズメ	14	V		E2			
10	ホオジロガモ	9	V		A1			
11	クロガモ	2	V		A1			
12	ウミアイサ	2	V		A1			
13	オオセグロカモメ	2	V		J1			空中
14	カモメ	3	V		J1			空中
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
10		20		30				20	20	+		+								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	10:00	10:30	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	10	V		A2			
2	マガモ	42	V		A2			
3	オナガガモ	2	V		A2			
4	ツグミ	1	C		E2			
5	オオジュリン	1	C		E2			
6	ホオジロ	1	C		E2			
7	シロチドリ	22	V		C1	国VU		
8	オオセグロカモメ	4	V		J1			空中
9	シジュウカラ	3	VC		E2			
10	マガモ	63	V		C1			
11	カルガモ	3	V		C1			
12	ハマシギ	27	V		C1	国NT		
13	アオジ	1	V		E2			
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
							10		20	20		40								10

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 10	時期 冬季	調査年月日 2015年1月19日	開始時刻 8:35	終了時刻 9:05	天候 晴れ	風の状況 弱
--------	------------	----------	---------------------	--------------	--------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ノスリ	2	V		F3			
2	ホオジロ	3	V		E1			
3	ツグミ	1	V		E1			
4	ホオジロ	5	VC		E1			
5	ヒバリ	1	VC		E1			
6	アカハラ	1	VC		F3			
7	カワラヒワ	27	V		E1			
8	ホオジロ	19	V		E1			
9	ホオジロ	10	V		F3			
10	スズメ	13	V		F3			
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40	20						10												30	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	12:10	12:40	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハジロカイツブリ	2	V		A2			海
2	ミユビシギ	2	V		I2			
3	ハクセキレイ	1	V		I2			
4	ウミウ	3	V		I2			
5	オオセグロカモメ	4	V		I2			
6	ウミネコ	6	V		I2			
7	クロガモ	2	V		I2			
8	ハジロカイツブリ	1	V		I2			
9	ミミカイツブリ	1	V		I2			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				+				10	20		20	30								

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 10	時期 冬季	調査年月日 2015年1月19日	開始時刻 9:20	終了時刻 9:50	天候 晴れ	風の状況 弱
--------	------------	----------	---------------------	--------------	--------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	5	V		I1			
2	シメ	1	V		I1			
3	ツグミ	2	V		I1			
4	スズメ	14	V		E1			
5	ハシブトガラス	2	V		F3			
6	ヒヨドリ	1	V		F3			
7	アカゲラ	1	VC		F3			
8	マガモ	21	V		C1			
9	ハヤブサ	1	V		E1	国内, 国VU, 県NT		
10	ツグミ	2	V		I1			
11	キジバト	3	V		F3			
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 井土浦	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	6:30	12:45	曇り～晴れ	弱～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	スズメ	200	VC		E2			ねぐら
2	トビ	53	V		F3			ねぐら
3	マガモ	161	V		C1			
4	オナガガモ	34	V		C1			
5	オカヨシガモ	1	V		C1			
6	ハマシギ	83	V		C1	国NT		
7	シロチドリ	21	V		C1	国VU		
8	ダイシャクシギ	1	V		C1			
9	キジバト	3	V		F3			
10	ハヤブサ	1	V		F3	国VU, 県NT		
11	マガモ	224	V		C1			
12	キンクロハジロ	3	C		A1			
13	ノスリ	1	V		F3			
14	ハクセキレイ	1	V		I1			
15	アカハラ	1	V		F3			
16	カシラダカ	5	V		E1			
17	トビ	2	V		E1			
18	カルガモ	25	V		I1			
19	シジュウカラ	2	V		F3			
20	ベニマシコ	1	C		E1			
21	タヒバリ	1	V		J1			
22	コクガン	2	V		A1	天, 国VU, 県VU		海
23	オオハクチョウ	2	V		J1			空中
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月15日	8:40	10:16	晴れ	普通

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	2	V		C1			
2	アオサギ	1	V		J1			
3	カルガモ	1	V		A2			
4	ウミネコ	2	V		J1			
5	ウミネコ	3	V		C1			
6	ウミネコ	2	V		A2			
7	ウミネコ	9	V		C1			
8	カワウ	1	V		C1			
9	ホオアカ	1	SV	囀り	E2			
10	ハシブトガラス	1	V		J1			
11	ウミネコ	1	V		C1			
12	ハクセキレイ	1	VC		C1			
13	ハシボソガラス	1	V		C1			
14	アジサシ	1	V		J1			
15	ホオアカ	1	S	囀り	E1			
16	キジバト	1	V		J1			
17	オオヨシキリ	1	S	囀り	F2			
18	アオジ	1	S	囀り	F2			
19	スズメ	3	V		F2			
20	カルガモ	1	V		J1			
21	オオヨシキリ	1	S	囀り	F2			
22	カワラヒワ	1	C		F2			
23	ウグイス	1	S	囀り	F2			
24	ウミネコ	2	V		A2			
25	オオヨシキリ	1	S	囀り	F1			
26	オオヨシキリ	1	S	囀り	F1			
27	カワラヒワ	3	V		J1			
28	ウグイス	1	S	囀り	F2			
29	スズメ	2	V		I2			
30	オオヨシキリ	1	S	囀り	F2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	平嶋 賢治

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 鳥の海	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月15日	8:40	10:16	晴れ	普通

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	シジュウカラ	1	S	囀り	F3			
32	ハシボソガラス	1	VC		I2			
33	ウミネコ	1	V		J1			
34	トビ	1	V		J1			
35	カワラヒワ	2	VC		J1			
36	ウミネコ	2	V		J1			
37	ハクセキレイ	1	VC		C1			
38	シロチドリ	2	VC		D3	国VU		
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	平嶋 賢治

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				70		10	+	+		+									+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月15日	10:26	10:56	晴れ	普通

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		J1			
2	ウミネコ	1	V		J1			
3	ウミネコ	1	V		C1			
4	ウミネコ	1	V		C1			
5	ウミネコ	1	V		A1			
6	ウミネコ	1	V		A1			
7	カルガモ	5	V		C1			
8	メダイチドリ	1	V		C1			
9	コチドリ	1	VC		J1			
10	カワラヒワ	1	C		J1			
11	ハクセキレイ	1	CV		J1			
12	ハシボソガラス	1	VC		J1			
13	ウミネコ	3	V		J1			
14	ハシボソガラス	1	V		C1			
15	ウミネコ	2	V		J1			
16	ツバメ	1	V		J1			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 平嶋 賢治

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
				70				10	10		+	+								+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月15日	11:12	11:42	晴れ	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	1	V		J1			
2	カルガモ	4	V		C1			
3	ハクセキレイ	1	V		I2			
4	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
5	ヒバリ	1	S	囀り	J1			
6	コチドリ	1	VC		C1			
7	コチドリ	1	V		E1			
8	シジュウカラ	1	C		F3			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	平嶋 賢治

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				40				+		+	+								+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月15日	11:54	12:24	晴れ	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオヨシキリ	1	S	囀り	F1			
2	ウグイス	1	S	囀り	F2			
3	スズメ	1	VC		I2			
4	ハシボソガラス	1	V		C1			
5	オオセグロカモメ	1	V		C1			
6	ハシボソガラス	1	V		C1			
7	カワウ	22	V		I2			
8	ウミネコ	101	V		I2			
9	カワウ	1	V		J1			
10	ハクセキレイ	1	V		C1			
11	ハシボソガラス	2	V	幼鳥	I2			
12	ヒバリ	1	V		E1			
13	ダイサギ	1	V		A1			
14	コアジサシ	1	V		J1	国際、国VU、県VU		
15	トビ	1	V		C1			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	平嶋 賢治

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				60															+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月15日	12:43	13:13	晴れ	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	2	V		C1			
2	ウミネコ	2	V		C1			
3	カワウ	14	V		C1			
4	ウミネコ	1	V		C1			
5	ハクセキレイ	1	V		J1			
6	ハシボソガラス	1	V		C1			
7	カルガモ	2	V		A1			
8	ハシボソガラス	1	V		C1			
9	ツバメ	1	V		J1			
10	カルガモ	2	V		A1			
11	カルガモ	2	V		A1			
12	ツバメ	1	V		J1			
13	アオサギ	1	V		C1			
14	スズメ	2	V		J1			
15	コチドリ	1	CV		C1			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 平嶋 賢治

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
90				10																+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	1	春季	2014年6月15日	13:30	14:00	晴れ	やや強い

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	2	V		C1			
2	ハシボソガラス	1	V		C1			
3	ハシボソガラス	1	V		C1			
4	カワウ	1	V		A1			
5	トビ	1	V		J1			
6	カルガモ	2	V		J1			
7	ハクセキレイ	1	V		I2			
8	ウミネコ	1	V		J1			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	平嶋 賢治

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回 1	時期 春季	調査年月日 2014年6月15日	開始時刻 8:40	終了時刻 10:16	天候 晴れ	風の状況 普通
--------	----------	----------	---------------------	--------------	---------------	----------	------------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	13	V		C1			
2	アオサギ	1	V		A2			
3	カワウ	1	V		J1			
4	ウミネコ	3	V		J1			
5	カワウ	10	V		J1			
6	ノスリ	1	V		J1			
7	ヒバリ	1	S	囀り	D3			
8	ツバメ	1	V		J1			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 平嶋 賢治

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 2	時期 夏季	調査年月日 2014年7月13日	開始時刻 6:22	終了時刻 8:12	天候 曇り	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオアカ	1	SV	囀り	E1			
2	ムクドリ	1	V		J1			空中
3	ホオアカ	1	S	囀り	E1			
4	ホオアカ	1	S	囀り	E1			
5	アオサギ	2	V		I2			
6	アオサギ	1	V		J1			空中
7	コチドリ	1	VC		J1			空中
8	ウミネコ	1	V		J1			空中
9	ムクドリ	23	VC		J1			空中
10	オオヨシキリ	1	V		E1			
11	カルガモ	1	V		A1			
12	ハシボソガラス	2	V		I2			
13	スズメ	1	V		E1			
14	ハシボソガラス	2	V		J1			
15	ヒバリ	1	S	囀り	E2			
16	ウミネコ	1	V		J1			空中
17	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
18	ハクセキレイ	2	V		J1			空中
19	オオヨシキリ	1	SV	囀り	I2			
20	ウミネコ	1	V		J1			空中
21	ヒバリ	2	VC		J1			空中
22	カルガモ	1	V		J1			空中
23	ホオアカ	1	SV	囀り	I2			
24	スズメ	4	VC		I2			
25	ハシボソガラス	3	VC		C1			
26	シジュウカラ	1	C		F2			
27	スズメ	6	VC		E2			
28	チュウシャクシギ	7	V		C1			
29	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
30	ホオジロ	1	S	囀り	E2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 鳥の海	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マウンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	6:22	8:12	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	スズメ	5	V		E2			
32	ホオアカ	1	V		F2			
33	ウグイス	1	S	囀り	F2			
34	カワラヒワ	1	VC		F2			
35	キジバト	1	V		I2			
36	オオヨシキリ	1	S	囀り	F2			
37	ホオジロ	1	S	囀り	F1			
38	ウグイス	1	S	囀り	F1			
39	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
40	キジバト	1	V		I2			
41	ハシボソガラス	2	V		I2			
42	ハクセキレイ	2	V		I2			
43	カワラヒワ	1	V		J1			空中
44	ウグイス	1	S	囀り	F1			
45	ハシボソガラス	2	V		I2			
46	スズメ	1	V		I2			
47	ヒバリ	1	VC		J1			空中
48	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
49	ハクセキレイ	3	V		I2			成鳥1, 幼鳥2
50	スズメ	2	V		I2			
51	ハシボソガラス	2	V		I2			
52	ウミネコ	1	V		J1			空中
53	カワラヒワ	3	V		J1			空中
54	ヒバリ	1	C		E1			
55	スズメ	3	V		E1			
56	メダイチドリ	1	VC		J1			空中
57	ヒバリ	2	VC		E1			
58	ハクセキレイ	2	VC		D2			
59	ホオジロ	1	SV	囀り	I2			
60	ハクセキレイ	1	VC		D3			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 鳥の海	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	6:22	8:12	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
61	スズメ	2	V		F2			
62	コチドリ	1	VC		J1			空中
63	シロチドリ	1	VC		J1	国VU		空中
64	ハクセキレイ	1	VC		D1			
65								
66								
67								
68								
69								
70								
71								
72								
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				70		10	+	+		+									+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	8:20	8:50	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	メダイチドリ	12	V		C1			
2	シロチドリ	2	VC		D2	国VU		
3	アオサギ	6	V		A2			
4	アオサギ	1	V		A2			
5	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
6	ミサゴ	1	V		I2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
7	カワウ	1	V		J1			空中
8	ダイサギ	1	V		A2			
9	シロチドリ	2	V		C1	国VU		
10	ツバメ	3	V		J1			空中
11	カワラヒワ	2	V		J1			空中
12	ウミネコ	1	V		C1			
13	スズメ	2	VC		E2			
14	ホオジロ	1	SV	囀り	I2			
15	ウミネコ	120	V		I2			
16	カワウ	17	V		I2			
17	ウミネコ	1	V		J1			空中
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
				70				10	10		+	+							+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	9:05	9:35	曇り	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ツバメ	3	V		J1			空中
2	ノスリ	1	C		F3			
3	ミサゴ	2	V		J1	国NT		空中,宮城県RL.2013では、重要種から除外
4	カワラヒワ	1	VC		F3			
5	ハシボソガラス	1	C		F3			
6	ミサゴ	1	V		F3	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
7	ハシボソガラス	1	V		F3			
8	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中,宮城県RL.2013では、重要種から除外
9	ハクセキレイ	1	VC		I2			
10	ダイサギ	1	V		J1			空中
11	ウグイス	1	S	囀り	F3			
12	アオジ	1	S	囀り	F3			
13	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
14	ハシボソガラス	1	V		I2			
15	ウミネコ	1	V		C1			
16	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
17	カワウ	1	V		J1			空中
18	スズメ	3	V		F3			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				40				+		+	+								+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	9:45	10:15	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	2	V		A2			
2	オオヨシキリ	1	S	囀り	F1			
3	ウグイス	1	S	囀り	F1			
4	カワラヒワ	1	C		F2			
5	スズメ	4	VC		E1			
6	カワラヒワ	1	V		I2			
7	ツバメ	2	V		J1			空中
8	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
9	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
10	ウミネコ	1	V		J1			空中
11	ダイサギ	1	V		A2			
12	ササゴイ	1	V		J1			空中
13	ウミネコ	1	V		A2			
14	カワウ	1	V		J1			空中
15	ダイサギ	1	V		A2			
16	ホオジロ	1	S	囀り	F2			
17	スズメ	1	V		I2			
18	コチドリ	1	C		D3			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				60															+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	10:28	10:58	小雨	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	1	V		A2			
2	アオサギ	2	V		A2			
3	ダイサギ	1	V		A2			
4	ダイサギ	1	V		A2			
5	ダイサギ	1	V		A2			
6	ダイサギ	1	V		A2			
7	ダイサギ	1	V		A2			
8	アオサギ	1	V		C1			
9	ダイサギ	1	V		C1			
10	ウミネコ	1	V		C1			
11	ハシブトガラス	1	VC		I2			
12	ホオアカ	1	SV	囀り	E2			
13	オオヨシキリ	1	S	囀り	E2			
14	コヨシキリ	1	S	囀り	E2			
15	ホオアカ	1	SV	囀り	I2			
16	ハクセキレイ	1	VC		I2			
17	カルガモ	5	V		C1			
18	カワウ	9	V		C1			
19	ウミネコ	1	V		C1			
20	ウミネコ	1	V		C1			
21	キジ	1	C		E2			
22	キジバト	1	V		I2			
23	トビ	1	VC		I2			
24	カルガモ	3	V		A2			
25	カワウ	1	V		J1			空中
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
90				10															+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	11:10	11:40	雨	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		J1			空中
2	ハシボソガラス	2	V		C1			
3	アオサギ	1	V		A2			
4	アオサギ	1	V		A2			
5	アオサギ	1	V		A2			
6	アオサギ	1	V		A2			
7	アオサギ	1	V		A2			
8	アオサギ	1	V		A2			
9	ダイサギ	1	V		A2			
10	ダイサギ	1	V		A2			
11	ダイサギ	1	V		A2			
12	ダイサギ	1	V		A2			
13	ダイサギ	1	V		A2			
14	ダイサギ	1	V		A2			
15	ダイサギ	1	V		A2			
16	ダイサギ	1	V		A2			
17	ダイサギ	1	V		A2			
18	ダイサギ	1	V		A2			
19	アオサギ	2	V		A2			
20	アオサギ	1	V		A2			
21	ハシボソガラス	2	V		C1			
22	ウミネコ	2	V		C1			
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	2	夏季	2014年7月13日	6:20	11:45	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	3	V		C1			
2	アオサギ	1	V		C1			
3	カルガモ	1	V		C1			
4	ダイサギ	1	V		C1			
5	ダイサギ	3	V		A1			
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	6:40	8:20	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	セッカ	1	S	囀り	E1			
2	ダイサギ	2	V		A2			
3	ウミネコ	1	V		J1			空中
4	ホオアカ	1	S	囀り	E1			
5	カララヒワ	1	V		E1			
6	ハクセキレイ	1	V		I2			
7	トビ	2	V		I2			
8	ヒバリ	1	C		E2			
9	イソシギ	1	C		A1			
10	ハシブトガラス	1	V		I2			
11	スズメ	1	V		I2			
12	アオサギ	1	V		A1			
13	ウミネコ	1	V		C1			
14	ツバメ	3	V		J1			空中
15	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
16	ダイサギ	1	V		A2			
17	アオサギ	1	V		C1			
18	ウミネコ	2	V		C1			
19	ホオアカ	1	SV	囀り	E2			
20	キジバト	1	V		J1			空中
21	ハシブトガラス	2	V		I2			
22	コヨシキリ	1	S	囀り	E2			
23	アオサギ	3	V		A2			
24	ダイサギ	1	V		A2			
25	セッカ	1	S	囀り	E1			
26	カルガモ	1	V		J1			空中
27	ウミネコ	1	V		J1			空中
28	ハクセキレイ	1	VC		D3			
29	ダイサギ	2	V		A1			
30	ササゴイ	1	V		C1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 鳥の海	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリ ワンド・た			土 泥地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	6:40	8:20	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手 段※3	繁殖行動	確認環 境※4	重要種	特定外 来生物	備考
31	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
32	スズメ	1	V		I2			
33	ハクセキレイ	1	VC		I2			
34	ハシボソガラス	1	V		C1			
35	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
36	ウミネコ	1	V		J1			空中
37	ハシボソガラス	1	V		C1			
38	スズメ	3	VC		F2			
39	ホオジロ	1	S	囀り	E2			
40	スズメ	6	VC		E2			
41	ホオアカ	1	V		F2			
42	スズメ	5	VC		I2			
43	ハクセキレイ	1	V		C1			
44	ウグイス	1	S	囀り	F1			
45	カワラヒワ	1	C		F2			
46	ホオジロ	1	S	囀り	F2			
47	カワラヒワ	1	V		J1			空中
48	ウグイス	1	S	囀り	F1			
49	ヒバリ	3	VC		J1			空中
50	ウグイス	1	S	囀り	F1			
51	スズメ	2	V		F1			
52	アオジ	1	S	囀り	F1			
53	ハクセキレイ	1	V		J1			空中
54	ウグイス	1	S	囀り	F3			
55	トビ	1	V		F3			
56	ミサゴ	1	V		F3	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
57	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
58	アオジ	1	S	囀り	F3			
59	トビ	1	VC	幼鳥	F3			
60	スズメ	3	VC		F3			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 鳥の海	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	6:40	8:20	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
61	カワラヒワ	1	C		F3			
62	ハクセキレイ	2	VC		J1			空中
63	ハシボソガラス	2	V		J1			空中
64	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
65	カワラヒワ	2	V		J1			空中
66	ハシブトガラス	2	V		D2			
67	ハクセキレイ	1	VC		J1			空中
68	カワラヒワ	5	VC		J1			空中
69	ハクセキレイ	3	VC		J1			空中
70	ハクセキレイ	1	VC		D3			
71	ツバメ	2	V		J1			空中
72	スズメ	1	VC		E1			
73	カワラヒワ	4	VC		E1			
74	ハクセキレイ	1	V		E1			
75	カワラヒワ	2	V		E1			
76	カワラヒワ	3	VC		J1			空中
77	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中 宮城県R2.2013では、重要種から除外
78								
79								
80								
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				70		10	+	+		+									+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	8:25	8:55	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	1	V		A2			
2	アオサギ	1	V		A2			
3	アオサギ	1	V		A2			
4	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
5	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
6	カラヒワ	1	VC		J1			空中
7	ハシブトガラス	1	VC		J1			空中
8	ウミネコ	2	V		C1			
9	メダイチドリ	1	V		C1			
10	メダイチドリ	5	V		D2			
11	シロチドリ	6	V		D2	国VU		
12	トウネン	1	V		D2			
13	メダイチドリ	1	V		C1			
14	アオサギ	2	V		C1			
15	ウミネコ	79	V		I2			
16	カワウ	11	V		I2			
17	ツバメ	4	V		J1			空中
18	トビ	1	V		J1			空中
19	ハクセキレイ	1	VC		J1			空中
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
				70				10	10		+	+								+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	9:20	9:50	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	1	C		F3			
2	カワラヒワ	1	C		F3			
3	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
4	ハシブトガラス	2	VC		F3			
5	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
6	ハシブトガラス	2	V		C1			
7	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
8	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
9	アオサギ	3	V		C1			
10	ダイサギ	1	V		A2			
11	ウグイス	1	S	囀り	F3			
12	カワラヒワ	2	VC		F3			
13	アオサギ	3	V		A2			
14	ダイサギ	1	V		A2			
15	ウミネコ	1	V		C1			
16	ハシブトガラス	1	VC		F3			
17	ツバメ	2	V		J1			空中
18	コチドリ	1	VC		J1			空中
19	ハクセキレイ	1	VC		I2			
20	ツバメ	2	V		J1			空中
21	アオサギ	3	V		A2			
22	ダイサギ	1	V		A2			
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				40				+		+	+								+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	10:05	10:35	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	メダイチドリ	5	V		C1			
2	ウミネコ	2	V		C1			
3	ウグイス	1	S	囀り	E1			
4	ホオジロ	1	SV	囀り	E1			
5	ハクセキレイ	1	VC		C1			
6	カワラヒワ	2	VC		F2			
7	ホオジロ	1	S	囀り	F1			
8	スズメ	3	VC		F2			
9	ダイサギ	1	V		A2			
10	ダイサギ	1	V		A2			
11	ハシボソガラス	3	V		C1			
12	メダイチドリ	1	V		C1			
13	アオサギ	1	V		J1			空中
14	ツバメ	2	V		J1			空中
15	カワラヒワ	1	VC		F1			
16	スズメ	3	V		I2			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				60															+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	10:54	11:24	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	18	V		C1			
2	カルガモ	5	V		A2			
3	カルガモ	3	V		C1			
4	ウミネコ	1	V		A2			
5	ウミネコ	1	V		A2			
6	ダイサギ	1	V		A1			
7	ダイサギ	2	V		A2			
8	ウミネコ	2	V		C1			
9	ウミネコ	1	V		C1			
10	ウミネコ	4	V		A1			
11	ダイサギ	2	V		A1			
12	アオサギ	1	V		A1			
13	ダイサギ	1	V		C1			
14	ダイサギ	5	V		A2			
15	ウミネコ	5	V		A2			
16	ウミネコ	2	V		A1			
17	ダイサギ	1	V		A2			
18	ダイサギ	1	V		A2			
19	コヨシキリ	1	S	囀り	E2			
20	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
21	セッカ	1	S	囀り	E2			
22	ツバメ	1	V		J1			空中
23	ホオアカ	1	SV	囀り	I2			
24	トビ	1	V		I2			
25	ハシブトガラス	1	V		J1			空中
26	チョウゲンボウ	1	V		I2			
27	アオサギ	1	V		A2			
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
90				10																+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	11:37	12:07	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	1	V		J1			空中
2	ウミネコ	1	V		C1			
3	アオサギ	1	V		F1			
4	カワウ	1	V		J1			空中
5	トビ	1	V		J1			空中
6	ツバメ	1	V		J1			空中
7	ダイサギ	1	V		J1			空中
8	ウミネコ	1	V		A2			
9	ウミネコ	2	V		J1			空中
10	ホオジロ	1	SV	囀り	I2			
11	スズメ	1	VC		I2			
12	スズメ	1	VC	幼鳥	E1			
13	ウミネコ	2	V		J1			空中
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	3	夏季	2014年7月25日	6:40	12:15	晴れ	弱～強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	1	V		A2			
2	アオサギ	1	V		A2			
3	ウミネコ	1	V		A2			
4	ハシブトガラス	1	V		J1			
5	ウミネコ	1	V		A2			
6	ツバメ	1	V		A1			
7	ウミネコ	1	V		A2			
8	ホオジロ	1	S	囀り	F3			
9	コチドリ	1	V		C1			
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	6:30	8:20	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	1	V		A2			
2	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
3	ヒバリ	1	VC		E2			
4	ヒバリ	2	VC		E2			
5	ツバメ	1	V		J1			
6	イソシギ	1	V		I2			
7	ヒバリ	1	VC		D3			
8	ササゴイ	1	V		I2			
9	ハクセキレイ	1	VC		I2			
10	アオサギ	1	V		I2			
11	イソシギ	1	V		I2			
12	ウミネコ	2	V		J1			
13	モズ	1	VC		I2			
14	ムクドリ	11	V		I2			
15	ハシボソガラス	1	V		I2			
16	スズメ	20	VC		E2			
17	セッカ	1	S	囀り	E2			
18	ムクドリ	4	V		E1			
19	スズメ	6	V		E1			
20	ツバメ	2	V		J1			
21	ホオアカ	1	VS	囀り	E2			
22	アオサギ	3	V		I2			
23	セッカ	1	S	囀り	E2			
24	アオサギ	1	V		I2			
25	ウミネコ	2	V		A2			
26	ハシボソガラス	1	V		I2			
27	ハシブトガラス	2	V		C1			
28	ハシブトガラス	1	V		C1			
29	セグロカモメ	1	V		C1			
30	メダイチドリ	2	V		C1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 鳥の海	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	6:30	8:20	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	トウネン	2	V		C1			
32	ソリハシシギ	3	V		C1			
33	イソシギ	1	C		J1			
34	ハクセキレイ	1	V		C1			
35	トビ	1	V		I2			
36	ソリハシシギ	2	V		C1			
37	チュウシャクシギ	1	V		C1			
38	スズメ	2	VC		E1			
39	ウグイス	1	C		E2			
40	ハシブトガラス	1	V		J1			
41	メジロ	1	C		F2			
42	ハシブトガラス	1	V		I2			
43	ミサゴ	1	V		I2	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
44	シジュウカラ	1	C		F3			
45	コゲラ	1	C		F3			
46	ホオジロ	2	VC		F3			
47	モズ	1	C		F3			
48	アオサギ	1	V		C1			
49	スズメ	4	V		I2			
50	ホオジロ	1	V		I2			
51	ハシボソガラス	1	V		I2			
52	ハシボソガラス	1	V		I2			
53	ハクセキレイ	1	VC		J1			
54	ツバメ	3	V		J1			
55	カワラヒワ	1	VC		E2			
56	セッカ	1	VS	囀り	E2			
57	ハクセキレイ	3	VC		D3			
58	ミサゴ	1	V		J1			
59	メダイチドリ	26	VC		J1			
60	メダイチドリ	9	VC		J1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 鳥の海	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 4	時期 夏季	調査年月日 2014年8月25日	開始時刻 6:30	終了時刻 8:20	天候 曇り	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
61	ツバメ	2	V		J1			
62	トビ	1	V		I2			
63								
64								
65								
66								
67								
68								
69								
70								
71								
72								
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				70		10	+	+											+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	8:28	8:58	曇り	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	トビ	1	V		D2			
2	ウミネコ	1	V		C1			
3	ダイサギ	1	V		A2			
4	ミサゴ	2	V		J1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
5	コサギ	1	V		A2			
6	コサギ	1	V		A2			
7	ダイサギ	1	V		A2			
8	ダイサギ	1	V		A2			
9	ダイサギ	1	V		C1			
10	コサギ	1	V		C1			
11	アオサギ	1	V		C1			
12	ダイサギ	4	V		A2			
13	ダイシャクシギ	1	V		C1			
14	キアシシギ	1	V		C1			
15	ダイシャクシギ	1	V		C1			
16	メダイチドリ	53	V		C1			
17	トウネン	2	V		C1			
18	カワウ	18	V		I2			
19	アオサギ	1	V		I2			
20	セッカ	1	S	囀り	E2			
21	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
22	アオアシシギ	1	V		C1			
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
				70				10	10		+	+								+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	9:15	9:45	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	モズ	1	C		F3			
2	ダイサギ	1	V		A2			
3	ダイサギ	1	V		A2			
4	ホオジロ	1	C		F3			
5	ツバメ	2	V		J1			
6	アオサギ	1	V		C1			
7	ウミネコ	1	V		C1			
8	ダイサギ	1	V		A2			
9	トビ	1	V		J1			
10	ダイサギ	1	V		A2			
11	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
12	イソシギ	2	VC		J1			
13	ミサゴ	1	V		J1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
14	メダイチドリ	57	V		C1			
15	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
16	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
17	アオサギ	1	V		C1			
18	ダイサギ	1	V		A2			
19	コサギ	1	V		A2			
20	ハシボソガラス	3	VC		I2			
21	ハシブトガラス	1	V		F3			
22	ノスリ	1	V		J1			
23	キジ	1	C		E2			
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				40				+		+	+								+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	10:00	10:30	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ノスリ	1	V		J1			
2	ハシボソガラス	1	C		F2			
3	ハシブトガラス	1	C		F2			
4	ウミネコ	1	VC		C1			
5	ウミネコ	1	V		C1			
6	セッカ	1	S	囀り	E2			
7	ダイサギ	1	V		A2			
8	ハシボソガラス	1	V		C1			
9	ハシボソガラス	1	V		C1			
10	ダイサギ	1	V		A2			
11	チュウシャクシギ	1	V		C1			
12	コサギ	1	V		C1			
13	アカゲラ	1	VC		F3			
14	スズメ	4	V		F2			
15	ホオジロ	1	C		E2			
16	ソリハシシギ	5	V		C1			
17	ダイサギ	1	V		A2			
18	メジロ	1	C		F2			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				60															+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	11:00	11:30	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ウミネコ	9	V		A1			
2	コサギ	1	V		A1			
3	コサギ	1	V		C1			
4	ダイサギ	1	V		A2			
5	アオサギ	1	V		A2			
6	アオサギ	1	V		A2			
7	ダイサギ	1	V		A2			
8	ダイサギ	1	V		A2			
9	ミサゴ	1	V		A2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
10	ダイサギ	1	V		A2			
11	ミサゴ	1	V		A2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
12	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
13	ダイサギ	2	V		C1			
14	ダイサギ	2	V		A2			
15	カワウ	25	V		C1			
16	ソリハシシギ	2	V		C1			
17	カルガモ	2	V		C1			
18	マガモ	1	V		C1			
19	ホオジロ	4	V		F2			
20	ハクセキレイ	1	V		C1			
21	スズメ	3	V		I2			
22	オオヨシキリ	1	C		E2			
23	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
24	アオサギ	1	V		C1			
25	ウミネコ	1	V		C1			
26	ミサゴ	1	V		I2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
27	コサギ	2	V		C1			
28	セグロカモメ	1	V		A2			
29	ハシブトガラス	3	V		C1			
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
90				10															+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	11:43	12:13	曇り	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	1	V		I2			
2	ハシブトガラス	3	V		I2			
3	アオサギ	1	V		A2			
4	コサギ	1	V		A2			
5	ミサゴ	1	V		A2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
6	ミサゴ	1	V		A2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
7	ダイサギ	1	V		A2			
8	チュウサギ	1	V		E2	国NT		
9	ハクセキレイ	1	VC		J1			
10	アオサギ	1	V		I2			
11	ハシブトガラス	2	VC		I2			
12	ムクドリ	12	VC		E2			
13	アオサギ	1	V		I2			
14	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
15	イソシギ	1	C		A2			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	6:30	12:15	曇り	弱～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワラヒワ	50	VC		E1			
2	スズメ	1	V		I2			
3	ハシブトガラス	1	V		I2			
4	インシギ	1	VC		J1			
5	クロガモ	1	V		A2			
6	ツバメ	8	V		J1			
7	チョウゲンボウ	1	V		I2			
8	セッカ	1	S		E2			
9	トビ	1	V		J1			
10	コサギ	2	V		C1			
11	ツバメ	2	V		J1			
12	セッカ	1	S		E2			
13	ミサゴ	1	V		I2	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
14	ホオアカ	1	S	囀り	E2			
15	ウミネコ	1	V		A2			
16	ダイサギ	1	V		A2			
17	スズメ	3	V		E2			
18	ハシボソガラス	1	VC		I2			
19	ノスリ	1	V		J1			
20	ハクセキレイ	1	VC		I2			
21	ハシブトガラス	2	VC		I2			
22	セッカ	1	S	囀り	E2			
23	カワウ	1	V		A2			
24	スズメ	1	V		I2			
25	ムクドリ	4	VC		I2			
26	ハクセキレイ	1	VC		J1			
27	ハシブトガラス	1	VC		I2			
28	ダイサギ	4	V		C1			
29	アオサギ	3	V		C1			
30	マガモ	1	V		A2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 鳥の海	調査年度 2014
-------------------	------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察
------	-----------	----------	--------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	4	夏季	2014年8月25日	6:30	12:15	曇り	弱～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	ホオアカ	1	S		E2			
32	トビ	1	V		I2			
33	トビ	1	V		I2			
34	ハシブトガラス	1	V		I2			
35	メダイチドリ	10	VC		J1			
36	ダイサギ	1	V		C1			
37	チュウシャクシギ	1	V		C1			
38	キジバト	1	V		I2			
39	カワラヒワ	1	VC		I2			
40	キジ	1	C		F2			
41	セッカ	1	S	囀り	E2			
42	カワラヒワ	2	VC		F3			
43	カワラヒワ	6	VC		J1			
44	ウミネコ	1	V		J1			
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	6:30	8:30	雨後曇り	弱一時中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	イソシギ	2	V		D2			
2	ハクセキレイ	2	V		I2			堤防
3	ムナグロ	2	V		J1			空中
4	メダイチドリ	4	V		J1			空中
5	セッカ	1	V		E2			
6	ホオジロ	1	V		E1			
7	カワラヒワ	11	V		E1			
8	ホオジロ	1	V		E1			
9	トビ	2	V		F3			
10	ハヤブサ	1	V		F3	国内産VU,県NT		
11	ハシブトガラス	2	V		J1			堤防
12	ダイサギ	1	V		A1			
13	ハクセキレイ	1	V		D1			
14	カワウ	18	V		A2			
15	ウミネコ	1	V		J1			空中
16	アオサギ	1	V		C1			
17	ダイサギ	6	V		C1			
18	コサギ	2	V		C1			
19	ホオジロ	1	C		F1			
20	スズメ	8	VC		E1			
21	ハシブトガラス	5	VC		E1			
22	オオセグロカモメ	1	V		J1			空中
23	スズメ	6	V		E1			
24	ハクセキレイ	1	V		I2			
25	ダイサギ	1	V		C1			
26	ウミネコ	1	V		C1			
27	トビ	1	V		J1			空中
28	カワセミ	1	C		A1			
29	ウミネコ	2	V		A2			
30	アオサギ	1	V		A1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項 仮設橋撤去により、ルートの一部を変更。	調査担当者 佐藤 賢二
-----------------------------	----------------

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	6:30	8:30	雨後曇り	弱一時中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
32	セグロセキレイ	2	C		A2			
33	ハシブトガラス	12	V		E1			
34	スズメ	19	V		E1			
35	トビ	4	V		I2			電柱
36	アオサギ	1	V		A1			
37	イソシギ	1	V		A1			
38	カワウ	1	V		A1			
39	ヒバリ	2	V		E1			
40	スズメ	53	V		E1			
41	ホオジロ	2	V		E1			
42	ハクセキレイ	2	V		E1			
43	ムクドリ	100	V		E1			
44	カルガモ	2	V	移動能力のない雛	A1			
45	ササゴイ	1	V		A1			
46	ハシブトガラス	2	V		I2			
47	ダイサギ	3	V		C1			
48	コサギ	1	V		C1			
49	ハシブトガラス	2	V		C1			
50	ゴイサギ	1	V		J1			空中
51	セッカ	1	V		E1			
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項 仮設橋撤去により、ルートの一部を変更。	調査担当者 佐藤 賢二
-----------------------------	----------------

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				70		10	+	+		+									+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	12:15	12:45	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイシャクシギ	1	V		C1			
2	オオソリハシシギ	4	V		C1	国VU		
3	チュウシャクシギ	1	V		C1			
4	ソリハシシギ	2	V		C1			
5	メダイチドリ	3	V		C1			
6	キアシシギ	2	V		C1			
7	イソシギ	2	V		C1			
8	コサギ	3	V		C1			
9	ダイサギ	1	V		C1			
10	ミサゴ	1	V		C1	国VU		宮城県RL2013では、重要種から除外
11	オオセグロカモメ	3	V		C1			
12	キアシシギ	1	V		D2			
13	シロチドリ	7	V		D2	国VU		
14	メダイチドリ	22	V		D2			
15	カワウ	7	V		I2			防波堤
16	ウミネコ	7	V		I2			防波堤
17	ハシトガラス	1	V		D2			
18	ハクセキレイ	1	V		D2			
19	セッカ	1	V		E1			
20	ヒバリ	1	V		E1			
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
				70				10	10		+	+								+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	11:20	11:50	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	イソシギ	1	V		C1			
2	イソシギ	1	V		C1			
3	アオサギ	1	V		C1			
4	アオサギ	4	V		C1			
5	コサギ	7	V		C1			
6	ダイサギ	2	V		C1			
7	ミサゴ	1	V		C1	国VU		宮城県RL2013では、重要種から除外
8	ミサゴ	1	V		C1	国VU		宮城県RL2013では、重要種から除外
9	ミサゴ	1	V		J1	国VU		竜住、宮城県RL2013では、重要種から除外
10	ハシブトガラス	2	V		C1			
11	ハシブトガラス	1	V		D2			
12	ホオジロ	4	V		E1			
13	モズ	2	C		F3			
14	メジロ	1	C		F3			
15	アカゲラ	1	C		F3			
16	ハシボソガラス	2	V		C1			
17	チョウゲンボウ	1	V		J1			空中
18	カイツブリ	2	V		A1			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				40				+		+	+								+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	10:35	11:05	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	コサギ	1	V		C1			
2	ダイサギ	1	V		C1			
3	ウミネコ	1	V		C1			
4	ハクセキレイ	1	V		C1			
5	ハシブトガラス	1	V		C1			
6	オオトリハシジギ	4	V		C1	国VU		
7	アオサギ	1	V		C1			
8	ダイサギ	1	V		C1			
9	ムクドリ	100	V		E2			
10	シジュウカラ	2	V		F2			
11	メジロ	3	V		F2			
12	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
13	ハクセキレイ	1	V		C1			
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				60															+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	9:50	10:20	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	2	V		C1			
2	オオセグロカモメ	1	V		C1			
3	ウミネコ	1	V		C1			
4	ダイサギ	1	V		C1			
5	コサギ	3	V		C1			
6	コサギ	2	V		C1			
7	ダイサギ	5	V		C1			
8	ウミネコ	21	V		C1			
9	カワウ	19	V		C1			
10	アオサギ	4	V		C1			
11	マガモ	1	V		C1			
12	ミサゴ	1	V		C1	国VU		宮城県RL2013では、重要種から除外
13	アオサギ	1	V		A1			
14	トビ	1	V		J1			空中
15	ハクセキレイ	1	V		E1			
16	モズ	1	V		E1			
17	キジバト	1	V		E1			
18	ノスリ	2	V		E1			
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マウンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
90				10																+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	8:50	9:20	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	イソシギ	1	C		A1			
2	カワウ	5	V		J1			空中
3	ダイサギ	3	V		C1			
4	コサギ	1	V		C1			
5	コサギ	1	V		C1			
6	ハシブトガラス	1	V		E1			
7	アオサギ	1	V		J1			空中
8	インビヨドリ	1	V		I2			
9	カルガモ	2	V	子連れ	A2			
10	ウミネコ	1	V		J1			空中
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	5	秋季	2014年9月9日	6:30	13:00	雨のち晴れ	弱～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	アオアシシギ	1	C		C1			
2	チュウシャクシギ	1	V		C1			
3	ミサゴ	1	V		C1	国VU		宮城県RL.2013では、重要種から除外
4	ソリハシシギ	1	C		E2			ヨシ原
5	ヒバリ	4	V		E1			
6	カルガモ	4	V		A2			
7	ミサゴ	1	V		A2	国VU		抗、宮城県RL.2013では、重要種から除外
8	ホオアカ	1	V		E1			
9	スズメ	50	V		E1			
10	カワラヒワ	5	V		E1			
11	ヒバリ	2	V		E1			
12	ホウロクシギ	1	V		C1	国VU, 県NT		
13	ヒバリシギ	2	V		E2			ヨシ原
14	ヒバリ	1	V		E1			
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	7:50	11:43	晴れ	弱～強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワラヒワ	2	C		D2			
2	タヒバリ	1	C		D2			
3	トビ	4	V		C1			
4	ヒバリ	1	V		D2			
5	ヒバリ	1	C		D2			
6	ハシブトガラス	2	V		D2			
7	ホオジロ	2	C		E1			
8	スズメ	2	V		D3			
9	カワウ	2	V		A1			
10	シジュウカラ	2	C		F3			
11	ノスリ	1	V		F3			
12	ハシブトガラス	5	V		F3			
13	モズ	1	C		E2			
14	トビ	1	V		I2			水門
15	イソシギ	1	V		A2			
16	アオサギ	1	V		A2			
17	ハクセキレイ	1	V		A2			
18	ヒバリ	1	V		E2			
19	スズメ	3	C		E2			
20	ハシブトガラス	4	V		A2			
21	セッカ	1	C		E2			
22	カワラヒワ	10	V		E2			
23	アマツバメ	2	V		A2			
24	ウミネコ	1	V		A2			
25	トビ	1	V		E2			
26	ウグイス	1	C		F1			
27	メジロ	1	C		F2			
28	スズメ	20	V		E1			
29	ダイサギ	1	V		C1			
30	ショウドウツバメ	400	V		E2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マウンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2014年10月10日	開始時刻 7:50	終了時刻 11:43	天候 晴れ	風の状況 弱～強
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	---------------	----------	-------------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	カワウ	4	V		A2			
32	ハシボソガラス	1	V		J1			
33	ウミネコ	1	V		A2			
34	ショウドウツバメ	500	V		A2			
35	アマツバメ	20	V		A2			
36	ヒバリ	1	V		E2			
37	ハシブトガラス	1	V		I2			
38	アオサギ	1	V		A1			
39	ハクセキレイ	1	V		A2			
40	モズ	1	V		E2			
41	スズメ	5	V		E2			
42	コチョウゲンボウ	1	V		E2			
43	イソヒヨドリ	1	V		I2			
44	ハクセキレイ	1	V		D3			
45	カルガモ	40	V		I2			護岸
46	ダイサギ	5	V		A2			
47	カルガモ	150	V		I2			護岸
48	コガモ	2	V		I2			護岸
49	アオアシシギ	1	V		I2			護岸
50	ヒバリ	1	C		E2			
51	ノビタキ	2	V		E2			
52	カワラヒワ	2	V		E2			
53	ホオジロ	1	V		E2			
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				70		10	+	+		+									+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	7:00	7:30	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カルガモ	15	V		A2			
2	ショウドウツバメ	400	V		A2			
3	タヒバリ	4	C		D2			
4	オオセグロカモメ	2	V		A2			
5	マガモ	4	V		A2			
6	ハクセキレイ	2	C		D2			
7	アマツバメ	3	V		A2			
8	ミサゴ	1	V		A2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
9	ハシブトガラス	2	V		I2			堤防
10	スズメ	10	C		E2			
11	マガモ	6	V		A2			
12	コサギ	2	V		A2			
13	アオサギ	1	V		A2			
14	ヒバリ	6	V		D2			
15	ウミネコ	1	V		I2			堤防
16	オオセグロカモメ	11	V		I2			堤防
17	ウミネコ	5	V		I2			堤防
18	ハシブトガラス	6	V		A2			
19	カワウ	20	V		I2			堤防
20	シロチドリ	20	V		A2	国VU		
21	マガモ	15	V		A2			
22	コガモ	20	V		A2			
23	ヒドリガモ	5	V		A2			
24	ダイシャクシギ	2	V		C1			
25	ダイシャクシギ	1	V		C1			
26	ハマシギ	2	V		C1	国NT		
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
				70			10		10											+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	8:25	8:55	晴れ	弱～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシブトガラス	3	V		C1			
2	ハクセキレイ	1	V		C1			
3	ウミネコ	1	V		C1			
4	カワラヒワ	10	V		F3			
5	トビ	1	V		F3			
6	タヒバリ	1	C		C1			
7	トビ	7	V		F3			
8	ハヤブサ	1	V		A2	国内,国VU,県NT		
9	ダイサギ	3	V		C1			
10	マガモ	11	V		C1			
11	コサギ	3	V		C1			
12	アオアシシギ	2	V		C1			
13	オオタカ	1	C		F3	国内,国NT,県NT		
14	アオサギ	2	V		C1			
15	ヒヨドリ	2	C		F3			
16	ホオジロ	1	C		E2			
17	スズメ	15	C		E2			
18	ハシブトガラス	7	V		C1			
19	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
20	コサギ	1	V		C1			
21	ミサゴ	1	V		C1	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
22	ノスリ	1	V		F3			
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				40				+		+	+								+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	9:25	9:55	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒヨドリ	5	C		F2			
2	スズメ	10	C		E2			
3	ホオジロ	1	S	囀り	E2			
4	ダイサギ	4	V		C1			
5	コサギ	1	V		C1			
6	オオセグロカモメ	2	V		C1			
7	ウグイス	1	C		F1			
8	ハクセキレイ	1	C		E2			
9	ショウドウツバメ	20	V		A2			
10	カワウ	15	V		I2			堤防
11	アオサギ	1	V		I2			堤防
12	スズメ	20	V		I1			
13	ダイサギ	1	V		C1			
14	カンムリカイツブリ	3	V		A2			
15	ウミネコ	1	V		A2			
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				60															+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	10:45	11:15	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ダイサギ	2	V		A2			
2	アオサギ	1	V		A2			
3	トビ	2	V		E2			
4	カワラヒワ	5	V		E2			
5	ウミネコ	14	V		C1			
6	アオサギ	1	V		C1			
7	カルガモ	10	V		C1			
8	マガモ	3	V		C1			
9	オオソリハシシギ	1	V		C1	国VU		
10	カワウ	4	V		C1			
11	スズメ	5	V		E2			
12	カンムリカイツブリ	4	V		A2			
13	トビ	1	V		A2			
14	ショウドウツバメ	100	V		A2			
15	アマツバメ	20	V		A2			
16	コシアカツバメ	10	V		A2			宮城県RL2013では、重要種から除外
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
90				10																+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	11:50	12:20	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ヒバリ	1	C		E2			
2	ハクセキレイ	1	C		E2			
3	スズメ	5	V		E2			
4	ハシボソガラス	1	V		E2			
5	ウミネコ	1	V		A2			
6	カンムリカイツブリ	4	V		A2			
7	カワウ	1	V		A2			
8	アオサギ	1	V		I2			護岸
9	ダイサギ	1	V		I2			護岸
10	ウミネコ	1	V		A2			
11	タヒバリ	1	C		E2			
12	ハシブトガラス	1	V		E2			
13	コサギ	1	V		I2			護岸
14	カルガモ	10	V		I2			護岸
15	ウミネコ	1	V		A2			
16	トビ	1	V		E2			
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	6	秋季	2014年10月10日	7:00	12:30	晴れ	弱～強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	コサギ	4	V		C1			
2	ウミネコ	1	V		C1			
3	トビ	1	V		C1			
4	ミサゴ	1	V		A2	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
5	スズメ	10	C		F3			
6	スズメ	10	C		F3			
7	コゲラ	1	C		F3			
8	アオジ	2	C		E2			
9	ダイサギ	1	V		C1			
10	ヒバリ	1	C		E2			
11	ヒヨドリ	6	V		F1			
12	ヒバリ	2	C		F1			
13	ショウドウツバメ	40	V		F1			
14	ダイサギ	2	V		C1			
15	カンムリカイツブリ	3	V		A2			
16	ヒバリ	1	S	囀り	E2			
17	オオセグロカモメ	2	V		C1			
18	セッカ	1	C		E2			
19	ダイサギ	2	V		A2			
20	ヒドリガモ	100	V		A2			
21	マガモ	10	V		A2			
22	コガモ	20	V		A2			
23	ダイサギ	1	V		A2			
24	ハシボソガラス	2	V		E2			
25	スズメ	4	V		E2			
26	アマツバメ	4	V		E2			
27	ノスリ	1	V		E2			
28	ダイシャクシギ	2	V		C1			
29	ダイシャクシギ	1	V		C1			
30	オオソリハシシギ	15	V		C1	国VU		

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 6	時期 秋季	調査年月日 2014年10月10日	開始時刻 7:00	終了時刻 12:30	天候 晴れ	風の状況 弱～強
--------	-----------	----------	----------------------	--------------	---------------	----------	-------------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	ハマシギ	5	V		C1	国NT		
32	トウネン	2	V		C1			
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 小澤 秀勝

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	6:20	8:50	晴れ	弱～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	チョウゲンボウ	2	V		E2			
2	ハクセキレイ	2	V		D2			
3	カワラヒワ	17	V		E2			
4	ハシブトガラス	2	V		E2			
5	ハマシギ	1	C		E2	国NT		
6	タヒバリ	4	V		J1			空中
7	オオタカ	1	V		E1	国内,国NT,県NT		
8	オオジュリン	4	V		E2			
9	シロチドリ	17	V		J1	国VU		空中
10	カワラヒワ	6	V		E1			
11	スズメ	3	V		E1			
12	ホオジロ	3	V		E1			
13	マガモ	8	V		A2			
14	ヒドリガモ	2	V		A1			
15	ハヤブサ	1	V		F3	国内,国VU,県NT		
16	ダイゼン	1	V		J1			空中
17	アオサギ	1	V		C1			
18	ダイサギ	1	V		C1			
19	マガモ	120	V		C1			
20	コガモ	8	V		C1			
21	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
22	ジョウビタキ	1	V		F1			
23	ツグミ	2	V		F1			
24	ヒヨドリ	5	V		F1			
25	モズ	1	V		F1			
26	シメ	1	V		F1			
27	インビヨドリ	1	V		I2			
28	スズメ	5	V		E2			
29	ベニマシコ	1	V		E2			
30	ヒバリ	8	V		J1			空中

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年11月7日	開始時刻 6:20	終了時刻 8:50	天候 晴れ	風の状況 弱～中
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	----------	-------------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	シロハラ	2	V		J1			空中
32	ツグミ	3	V		J1			空中
33	ツグミ	2	V		F2			
34	ハシブトガラス	1	V		I2			
35	トビ	1	V		I2			
36	マガモ	68	V		C1			
37	オナガガモ	1	V		C1			
38	スズメ	13	V		F1			
39	ハクセキレイ	2	V		I2			
40	ハクセキレイ	3	V		D3			
41	セグロセキレイ	1	V		D3			
42	ヒバリ	1	V		D3			
43	マガモ	4	V		A1			
44	コガモ	6	V		A1			
45	コサギ	8	V		I2			
46	アオサギ	8	V		I2			
47	トビ	1	V		I2			
48	ハシブトガラス	2	V		I2			
49	スズメ	27	V		E2			
50	カワラヒワ	17	V		E2			
51	ホオジロ	3	V		E2			
52	ジョウビタキ	1	C		E2			
53	インシギ	1	V		I2			
54	マガモ	31	V		A2			
55	カンムリカイツブリ	3	V		A2			
56	コガモ	21	V		A1			
57	ベニマシコ	1	V		E2			
58	カモメ	1	V		A2			
59	ウミネコ	3	V		A2			
60	ミサゴ	1	V		A2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 -	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	6:20	8:50	晴れ	弱～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
61	オオタカ	1	V		J1	国内, 国NT, 県NT		空中
62	カイツブリ	2	V		A2			
63	カンムリカイツブリ	3	V		A2			
64	オオバン	3	V		A2			宮城県RL2013では、重要種から除外
65	コサギ	3	V		A2			
66	アオジ	1	C		I2			
67	スズメ	5	V		I2			
68	ノスリ	1	V		E1			
69	ノスリ	2	V		E1			
70	ハシボソガラス	3	V		E1			
71	カワウ	6	V		C1			
72	アオサギ	22	V		C1			
73	カルガモ	159	V		C1			
74	マガモ	32	V		C1			
75	コガモ	118	V		C1			
76	ヒドリガモ	3	V		C1			
77	オナガガモ	18	V		C1			
78	コサギ	9	V		C1			
79	アオジ	1	C		E2			
80	カシラダカ	1	C		E2			
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				70		10	+	+		+									+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	12:00	12:30	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	572	V		C1			
2	ヒドリガモ	16	V		C1			
3	オナガガモ	357	V		C1			
4	コガモ	103	V		C1			
5	オカヨシガモ	8	V		C1			
6	トビ	1	V		E1			
7	ハマシギ	65	V		C1	国NT		
8	ミサゴ	1	V		A2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
9	ホオジロ	1	C		E1			
10	セグロカモメ	1	V		C1			
11	オオセグロカモメ	1	V		C1			
12	オオジュリン	1	C		E2			
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
				70			10		10			+	+							+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	11:15	11:45	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハクセキレイ	2	V		C1			
2	インビヨドリ	1	V		I2			
3	トビ	1	V		J1			空中
4	ヒドリガモ	3	V		A1			
5	スズメ	2	V		E2			
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				40				+		+	+								+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	10:30	11:00	晴れ	強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワラヒワ	1	C		E2			
2	マヒワ	7	V		E2			
3	カワウ	3	V		J1			空中
4	ホオジロ	1	C		E2			
5	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈 落 水 ・ 浮 葉 植 物	干 潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		そ の 他
流 水 域	湛 水 域	ワ ン ド ・ た まり			土 泥 地	砂 地	礫 地	低 茎 草 地	高 茎 草 地	低 木 林	広 葉 樹 林	針 葉 樹 林	竹 林	笹 原	果 樹 園	畑	水 田	芝 地	物 人 工 構 造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				60																+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時 の状況	調査回	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	9:45	10:15	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手 段※3	繁殖行動	確認環 境※4	重要種	特定外 来生物	備考
1	ノスリ	3	V		E2			
2	トビ	1	V		E2			
3	ホオジロ	2	VC		E2			
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
90				10																+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 7	時期 秋季	調査年月日 2014年11月7日	開始時刻 9:00	終了時刻 9:30	天候 晴れ	風の状況 中
--------	-----------	----------	---------------------	--------------	--------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	スズメ	1	V		I2			
2	カシラダカ	1	C		E1			
3	ハクセキレイ	2	V		I2			
4	ミサゴ	2	V		A2	国NT		宮城県RL2013では、重要種から除外
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	7	秋季	2014年11月7日	6:20	13:00	晴れ	弱～強

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハジロカイツブリ	1	V		A2			
2	カンムリカイツブリ	5	V		A2			
3	オカヨシガモ	40	V		A2			
4	ヒドリガモ	20	V		A2			
5	カルガモ	4	V		A2			
6	マガモ	3	V		A2			
7	ホオジロガモ	1	V		A2			
8	ホシハジロ	14	V		A2			
9	アオアシシギ	1	C		C1			
10	マガモ	278	V		A2			
11	カルガモ	130	V		A2			
12	オナガガモ	42	V		A2			
13	コガモ	97	V		A2			
14	ハジロカイツブリ	8	V		A2			
15	カンムリカイツブリ	13	V		A2			
16	スズガモ	16	V		A2			
17	ヒドリガモ	11	V		A2			
18	コサギ	16	V		C1			
19	チュウビ	1	V		E1	国EN,県NT		
20	カワラバト	1	V		J1			空中
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	7:00	9:20	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	チュウヒ	1	V		C1	国EN, 県NT		
2	オオジュリン	6	VC		E2			
3	カワラヒワ	5	VC		E2			
4	スズメ	9	VC		E2			
5	ハクセキレイ	1	V		E2			
6	カワラヒワ	23	VC		E1			
7	ホオジロ	2	VC		E1			
8	スズメ	40	VC		E2			
9	ノスリ	1	V		F3			
10	ハヤブサ	1	V		F3	国内, 国VU, 県NT		
11	カシラダカ	3	V		E2			
12	ベニマシコ	1	V		E1			
13	カワアイサ	4	V		A2			
14	スズメ	8	V		E1			
15	マガモ	56	V		A2			
16	ハシボトガラス	1	V		E1			
17	ホオジロ	1	C		E1			
18	スズメ	5	VC		E1			
19	マガモ	63	V		A2			
20	コガモ	3	V		A2			
21	ヒドリガモ	9	V		A2			
22	ホオジロ	5	VC		E2			
23	ノスリ	1	V		E2			
24	ハシボトガラス	1	V		E2			
25	ハクセキレイ	1	V		I2			
26	スズメ	12	V		E2			
27	ミサゴ	1	V		J1	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
28	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
29	ハジロカイツブリ	1	V		A2			
30	ハクセキレイ	1	V		I2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	7:00	9:20	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	イソヒヨドリ	1	V		I2			
32	ハクセキレイ	2	V		I2			
33	イソヒヨドリ	1	V		I2			
34	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
35	ハジロカイツブリ	2	V		A2			
36	カワウ	3	V		A2			
37	オオバン	4	V		A2			宮城県RL2013では、重要種から除外
38	カワセミ	2	V		I2			
39	スズメ	18	V		E1			
40	ハクセキレイ	1	V		I2			
41	ホオジロ	4	VC		E1			
42	アオサギ	24	V		I2			
43	ダイサギ	16	V		I2			
44	カルガモ	62	V		I2			
45	マガモ	4	V		I2			
46	カワアイサ	3	V		A2			
47	コサギ	1	V		A2			
48	ダイサギ	4	V		A2			
49	オオハシシギ	3	V		A2			
50	ホオアカ	2	VC		E1			
51	カワラヒワ	3	VC		E1			
52	セッカ	2	VC		E1			
53	ヒバリ	3	VC		E1			
54	ホオジロ	11	VC		E1			
55								
56								
57								
58								
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				70		10	+	+		+									+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	12:35	13:05	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワウ	3	V		C1			
2	オナガガモ	41	V		C1			
3	マガモ	13	V		C1			
4	ホオジロガモ	1	V		A2			
5	ダイシャクシギ	1	V		C1			
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
				70			10		10											+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 冬季	調査年月日 2014年12月8日	開始時刻 11:50	終了時刻 12:20	天候 晴れ	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	スズメ	10	VC		E2			
2	ホオジロ	2	VC		E2			
3	シジュウカラ	2	VC		E2			
4	ノスリ	1	V		J1			
5	シロチドリ	9	V		C1	国VU		
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				40				+		+	+								+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 冬季	調査年月日 2014年12月8日	開始時刻 11:05	終了時刻 11:35	天候 晴れ	風の状況 弱
--------	-----------	----------	---------------------	---------------	---------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	スズメ	8	VC		E1			
2	モズ	1	V		E1			
3	ハシブトガラス	1	VC		E1			
4	ベニマシコ	1	C		F2			
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				60																+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	10:20	10:50	晴れ	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワアイサ	1	V		A2			
2	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
90				10															+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	9:35	10:05	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
2	カワアイサ	2	V		A2			
3	イソシギ	1	VC		A1			水路
4	ハシブトガラス	1	VC		I2			
5	カワウ	1	V		A2			
6	ハジロカイツブリ	1	V		A2			
7	トビ	1	V		J1			
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	8	冬季	2014年12月8日	6:40	13:15	晴れ	微～弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	42	V		A2			
2	カルガモ	30	V		A2			
3	オカヨシガモ	7	V		A2			
4	ホオジロガモ	13	V		A2			
5	カンムリカイツブリ	5	V		A2			
6	ハジロカイツブリ	4	V		A2			
7	スズガモ	1	V		A2			
8	マガモ	73	V		C1			
9	オオセグロカモメ	1	V		C1			
10	コガモ	430	V		I2			
11	オカヨシガモ	21	V		I2			
12	ヒドリガモ	11	V		I2			
13	マガモ	20	V		I2			
14	カワウ	3	V		I2			
15	カイツブリ	1	V		I2			
16	カワウ	175	V		I2			
17	アオサギ	5	V		I2			
18	ダイシャクシギ	1	V		I2			
19	ウミネコ	74	V		I2			
20	オオセグロカモメ	2	V		I2			
21	セグロカモメ	6	V		I2			
22	カモメ	12	V		I2			
23	マガモ	162	V		I2			
24	カルガモ	17	V		I2			
25	オナガガモ	22	V		I2			
26	コガモ	10	V		I2			
27	ヒドリガモ	8	V		I2			
28	マガモ	71	V		C1			
29	スズガモ	63	V		A2			
30	キンクロハジロ	2	V		A2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 8	時期 冬季	調査年月日 2014年12月8日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
--------	-----------	----------	---------------------	------	------	----	------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	マガモ	820	V		A2			
32	オナガガモ	655	V		A2			
33	ハシビロガモ	5	V		A2			
34	オカヨシガモ	8	V		A2			
35	コガモ	77	V		A2			
36	ホオジロガモ	6	V		A2			
37	カンムリカイツブリ	19	V		A2			
38	ハジロカイツブリ	7	V		A2			
39	ハジロカイツブリ	110	V		A2			
40	マガモ	560	V		A2			
41	カワアイサ	19	V		A2			
42	コガモ	6	V		A2			
43	ヒドリガモ	20	V		A2			
44	オカヨシガモ	4	V		A2			
45	ハシビロガモ	5	V		A2			
46	オナガガモ	1880	V		A2			
47	カンムリカイツブリ	20	V		A2			
48	オオセグロカモメ	22	V		A2			
49	セグロカモメ	8	V		A2			
50	カモメ	3	V		A2			
51	ユリカモメ	1	V		A2			
52	カイツブリ	2	V		A2			
53	オオセグロカモメ	22	V		I2			
54	セグロカモメ	4	V		I2			
55	フシカモメ	1	V		I2			
56	カワウ	28	V		I2			
57	ハマシギ	25	V		I2	国NT		
58	ミヤマガラス	90	V		J1			
59								
60								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 9	時期 冬季	調査年月日 2015年1月6日	開始時刻 6:55	終了時刻 9:20	天候 曇り	風の状況 微～弱
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	--------------	----------	-------------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オオジュリン	1	C		E2			
2	ホオジロ	7	V		E1			
3	カワラヒワ	2	C		E1			
4	ハマシギ	153	V		C1	国NT		
5	シロチドリ	8	V		C1	国VU		
6	カワウ	6	V		A1			
7	ミサゴ	1	V		I2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
8	トビ	1	V		I2			
9	ノスリ	1	V		F3			
10	ホオジロ	2	V		E1			
11	オカヨシガモ	10	V		A1			
12	コガモ	5	V		A1			
13	キンクロハジロ	2	V		A1			
14	オオバン	10	V		A1			宮城県RL.2013では、重要種から除外
15	アオサギ	1	V		A1			
16	タヒバリ	1	V		C1			
17	シメ	1	V		E2			
18	ホオジロガモ	1	V		A2			
19	ホオジロガモ	1	V		A2			
20	カワアイサ	1	V		A2			
21	オオジュリン	1	C		E2			
22	カワラヒワ	20	V		E1			
23	ホオジロ	2	V		E1			
24	ベニマシコ	1	V		E1			
25	ホオジロガモ	3	V		A2			
26	ツグミ	4	V		E1			
27	モズ	1	V		E1			
28	カシラダカ	2	V		E1			
29	スズメ	5	V		E1			
30	ヒヨドリ	2	V		E1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 9	時期 冬季	調査年月日 2015年1月6日	開始時刻 6:55	終了時刻 9:20	天候 曇り	風の状況 微～弱
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	--------------	----------	-------------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	ハマシギ	5	V		C1	国NT		
32	ユリカモメ	42	V		C1			
33	カモメ	2	V		C1			
34	インシギ	1	C		A1			
35	ハクセキレイ	1	C		A1			
36	ハシボソガラス	1	V		I2			
37	カイツブリ	2	V		A2			
38	ノスリ	1	V		I2			
39	オオバン	3	V		A2			宮城県RL.2013では、重要種から除外
40	ツグミ	1	V		E1			
41	カワラヒワ	4	V		E1			
42	スズメ	25	V		E1			
43	ホオジロ	2	V		E1			
44	ミサゴ	1	V		I2	国NT		宮城県RL.2013では、重要種から除外
45	マガモ	20	V		A2			
46	カワアイサ	1	V		A2			
47	カシラダカ	45	V		E1			
48	ヒバリ	5	V		E1			
49	ハイイロチュウヒ	1	V		E1			
50	スズメ	6	V		I2			
51	カイツブリ	1	V		A2			
52	カワウ	1	V		A1			
53	インシギ	1	V		D1			
54	ハクセキレイ	1	V		D1			
55	スズガモ	1	V		A2			
56	カワセミ	1	V		I2			
57	スズメ	8	V		E1			
58	モズ	1	V		E1			
59	ホオジロ	5	V		E1			
60	カシラダカ	6	V		E1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				70		10	+	+		+									+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 9	時期 冬季	調査年月日 2015年1月6日	開始時刻 13:00	終了時刻 13:30	天候 曇り	風の状況 弱
--------	-----------	----------	--------------------	---------------	---------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハマシギ	171	V		D2	国NT		
2	シロチドリ	15	V		D2	国VU		
3	ホオジロ	9	V		E1			
4	オオジュリン	11	V		E1			
5	ハシブトガラス	1	V		E1			
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリン・タマ			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
				70				10	10		+	+								+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	12:15	12:45	曇り	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	オカヨシガモ	16	V		A1			
2	カワラヒワ	11	V		E2			
3	カシラダカ	4	V		E2			
4	アオジ	1	C		E2			
5	ホオジロ	1	C		E2			
6	ハクセキレイ	1	V		I2			
7	カイツブリ	1	V		A1			
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				40				+		+	+								+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	11:15	11:45	曇り	微

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	5	V		A2			
2	ヒヨドリ	1	V		F2			
3	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県RL2013では、重要種から除外
4	アオサギ	1	V		J1			空中
5	フクロウ	1	V		F2			宮城県RL2013では、重要種から除外
6	ノスリ	2	V		F2			
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				60															+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	10:20	10:50	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロ	3	V		E1			
2	アオサギ	1	V		I2			
3	ダイサギ	1	V		I2			
4	オオタカ	1	V		J1	国内、国NT、県NT	空中	
5	ハクセキレイ	1	V		I2			
6	スズガモ	1	V		A2			
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
90				10																+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	9:30	10:00	曇り	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ホオジロガモ	1	V		A2			
2	ホオジロ	1	C		E1			
3	カシラダカ	1	C		E1			
4	ハクセキレイ	2	V		D3			
5	スズメ	2	V		E1			
6	オオジュリン	1	C		E1			
7	タヒバリ	1	V		D1			
8	ウミネコ	1	V		A2			
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 9	時期 冬季	調査年月日 2015年1月6日	開始時刻 6:45	終了時刻 14:00	天候 曇り	風の状況 微～弱
--------	-----------	----------	--------------------	--------------	---------------	----------	-------------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハジロカイツブリ	3	V		A2			
2	スズガモ	3	V		A2			
3	アオサギ	1	V		I2			
4	ハクセキレイ	1	V		I2			
5	マガモ	73	V		I2			
6	ヒドリガモ	3	V		I2			
7	コガモ	78	V		I2			
8	ハシボソガラス	1	V		I2			
9	カルガモ	49	V		A2			
10	マガモ	71	V		A2			
11	ホオジロガモ	3	V		A2			
12	ハジロカイツブリ	273	V		A2			
13	カモメ	3	V		A2			
14	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
15	コガモ	145	V		I2			
16	マガモ	169	V		I2			
17	ヒドリガモ	6	V		I2			
18	キンクロハジロ	1	V		I2			
19	カワウ	2	V		I2			
20	アオサギ	2	V		I2			
21	オカヨシガモ	9	V		I2			
22	オナガガモ	19	V		I2			
23	マガモ	97	V		I2			
24	オカヨシガモ	4	V		I2			
25	オナガガモ	15	V		I2			
26	コガモ	2	V		I2			
27	マガモ	80	V		A2			
28	ホオジロガモ	5	V		A2			
29	ウミアイサ	4	V		A2			
30	カワアイサ	2	V		A2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V : 目視 (Visual) S : さえずり (Song) C : 地鳴き (Call) 他 : その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	9	冬季	2015年1月6日	6:45	14:00	曇り	微～弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	オナガガモ	5	V		A2			
32	カンムリカイツブリ	17	V		A2			
33	ヒドリガモ	4	V		A2			
34	スズガモ	37	V		A2			
35	ミミカイツブリ	1	V		A2			
36	キンクロハジロ	1	V		A2			
37	オオセグロカモメ	5	V		A2			
38	カワウ	132	V		I2			
39	ウミネコ	86	V		I2			
40	マガモ	60	V		I2			
41	ヒドリガモ	8	V		I2			
42	オカヨシガモ	2	V		I2			
43	ユリカモメ	5	V		I2			
44	カモメ	13	V		I2			
45	マガモ	1532	V		A2			
46	オナガガモ	542	V		A2			
47	コガモ	1	V		A2			
48	ウミネコ	59	V		I2			
49	カモメ	203	V		I2			
50	ユリカモメ	52	V		I2			
51	オオセグロカモメ	21	V		I2			
52	カワウ	33	V		I2			
53	カワアイサ	14	V		A2			
54	カイツブリ	1	V		A2			
55	ホオジロガモ	3	V		A2			
56	アカゲラ	1	C		F2			
57	ジョウビタキ	1	V		E1			
58	タシギ	1	V		C1			
59	ダイシャクシギ	1	V		I2			
60	ヒドリガモ	18	V		I2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	佐藤 賢二

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数 10	時期 冬季	調査年月日 2015年1月19日	開始時刻 6:50	終了時刻 8:55	天候 晴れ	風の状況 弱
--------	------------	----------	---------------------	--------------	--------------	----------	-----------

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県R1.2013では、重要種から除外
2	ホオジロ	5	V		E1			
3	カシラダカ	1	V		E1			
4	スズメ	6	V		E1			
5	カワラヒワ	1	V		E1			
6	ツグミ	1	V		I2			
7	ムクドリ	1	V		J1			
8	キンクロハジロ	1	V		A2			
9	カワウ	1	V		A2			
10	スズメ	2	V		I2			
11	カンムリカイツブリ	1	V		A2			
12	ツグミ	1	V		I2			
13	マガモ	13	V		A2			
14	ツグミ	1	V		I2			
15	コガモ	23	V		A2			
16	ハクセキレイ	1	VC		J1			空中
17	ホオジロガモ	1	V		A2			
18	マガモ	17	V		A2			
19	スズメ	3	VC		E2			
20	ハクセキレイ	1	VC		I2			
21	ホオジロ	2	C		E2			
22	ベニマシコ	1	C		E2			
23	スズメ	3	VC		E1			
24	コガモ	3	V		A2			
25	ムクドリ	1	VC		J1			
26	カワラヒワ	12	VC		E2			
27	ハクセキレイ	1	V		I2			
28	マガモ	6	V		A2			
29	コガモ	3	V		A2			
30	ノスリ	1	V		I2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V：目視 (Visual) S：さえずり (Song) C：地鳴き (Call) 他：その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者 瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	6:50	8:55	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
31	マガモ	7	V		A2			
32	ハマシギ	9	V		C1	国NT		
33	ハシブトガラス	1	VC		I2			
34	ツグミ	1	C		E1			
35	トビ	1	V		J1			空中
36	ホオジロガモ	5	V		A2			
37	マガモ	6	V		A2			
38	カワラヒワ	4	VC		J1			空中
39	ホオジロガモ	5	V		A2			
40	スズメ	1	VC		F2			
41	カワアイサ	1	V		A2			
42	カワアイサ	2	V		J1			空中
43	アカゲラ	1	C		F2			
44	トビ	1	V		I2			
45	ミサゴ	1	V		I2	国NT		空中、宮城県RL2013では、重要種から除外
46	カワラヒワ	6	VC		F2			
47	マガモ	5	V		A2			
48	コガモ	5	V		A2			
49	コゲラ	1	C		F3			
50	シメ	1	VC		F3			
51	ヒヨドリ	1	VC		J1			空中
52	ハイタカ	1	V		F3	国NT, 県NT		
53	カワラヒワ	4	VC		J1			空中
54	マガモ	37	V		A2			
55	ハマシギ	126	V		C1	国NT		
56	シロチドリ	4	V		C1	国VU		
57	シメ	1	V		F3			
58	ハクセキレイ	1	VC		D2			
59	トビ	1	V		J1			空中
60	ハシブトガラス	1	VC		J1			空中

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 L-1	調査方法 ラインセンサス法
------	-----------	------------	------------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	6:50	8:55	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
61	ハシブトガラス	1	VC		I2			
62	ハクセキレイ	1	VC		D2			
63								
64								
65								
66								
67								
68								
69								
70								
71								
72								
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								
81								
82								
83								
84								
85								
86								
87								
88								
89								
90								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 1	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
20				70		10	+	+												+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	9:05	9:35	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	マガモ	46	V		A2			
2	シロチドリ	1	V		C1	国VU		
3	シロチドリ	1	V		C1	国VU		
4	シロチドリ	1	V		C1	国VU		
5	マガモ	69	V		I2			
6	ヒドリガモ	33	V		I2			
7	ハクセキレイ	1	VC		D2			
8	セグロカモメ	2	V		I2			
9	マガモ	9	V		A2			
10	ホシハジロ	2	V		A2			
11	キンクロハジロ	1	V		A2			
12	マガモ	16	V		A2			
13	カンムリカイツブリ	1	V		A1			
14	カワラヒワ	1	VC		J1			空中
15	オナガガモ	2	V		A2			
16	カワウ	1	V		I2			
17	ダイシャクシギ	1	V		I2			
18	ホオジロガモ	1	V		A2			
19	マガモ	22	V		A2			
20	マガモ	5	V		A2			
21	ホオジロガモ	2	V		A2			
22	カワウ	1	V		J1			空中
23	ハシブトガラス	2	VC		J1			空中
24								
25								
26								
27								
28								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 2	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
				70				10	10		+	+								+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	9:55	10:25	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ハシボソガラス	1	V		I2			
2	シジュウカラ	1	C		E2			
3	ヒヨドリ	1	C		F3			
4	ホオジロ	2	C		E2			
5	ハシボソガラス	1	C		F3			空中
6	ハクセキレイ	1	VC		I2			
7	ベニマシコ	1	C		E2			
8	ダイサギ	1	V		A2			
9	マガモ	106	V		C1			
10	オカヨシガモ	2	V		C1			
11	コゲラ	1	C		F2			
12	シジュウカラ	1	C		F2			
13	モズ	1	V		F2			
14	カシラダカ	2	VC		F3			
15	トビ	2	V		J1			
16	ノスリ	1	V		J1			
17	ハシブトガラス	2	VC		F3			
18	ジョウビタキ	1	V		F1			
19	ハシボソガラス	1	C		F3			
20	キジ	1	C		F3			
21	スズメ	1	VC		J1			空中
22	カワラヒワ	62	VC		F2			
23	オオバン	10	V		A2			宮城県RL2013では、重要種から除外
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 3	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
60				40				+		+	+								+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	10:40	11:10	晴れ	弱

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワラヒワ	3	V		F1			
2	ホオジロ	1	VC		F1			
3	ハシブトガラス	2	VC		I2			
4	ヒドリガモ	4	V		I2			
5	マガモ	3	V		I2			
6	ウミネコ	45	V		I2			
7	セグロカモメ	1	V		I2			
8	カワウ	80	V		I2			
9	ハジロカイツブリ	131	V		A2			空中
10	ホオジロガモ	3	V		A2			
11	カンムリカイツブリ	9	V		A2			
12	スズガモ	26	V		A2			空中
13	アオサギ	8	V		I2			空中
14	マガモ	16	V		I2			空中
15	オナガガモ	5	V		I2			
16	カワアイサ	2	V		I2			
17	マガモ	53	V		C1			
18	オナガガモ	6	V		I2			
19	コガモ	3	V		I2			
20	マガモ	11	V		A2			
21	オカヨシガモ	2	V		A2			
22	コガモ	4	V		A2			空中
23	マガモ	12	V		I2			空中
24	ヒドリガモ	4	V		I2			
25	ハシビロガモ	1	V		A2			
26	ホオジロガモ	2	V		A2			
27	マガモ	46	V		I2			
28	カワウ	5	V		I2			
29	コガモ	23	V		I2			
30	マガモ	13	V		A2			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 4	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	ワンド・たまり			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
40				60															+	

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	11:40	12:10	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	カワラヒワ	1	VC		J1			空中
2	ハシボソガラス	1	VC		I2			
3	カンムリカイツブリ	6	V		A2			
4	ホオジロガモ	2	V		A2			
5	マガモ	110	V		A2			
6	カワアイサ	1	V		A2			
7	マガモ	85	V		A2			
8	カワアイサ	8	V		A2			
9	コガモ	6	V		A2			
10	カルガモ	82	V		A2			
11	マガモ	27	V		A2			
12	コガモ	12	V		A2			
13	キンクロハジロ	1	V		A2			
14	カワアイサ	3	V		A2			
15	コガモ	25	V		I2			
16	ヒドリガモ	16	V		I2			
17	カルガモ	26	V		I2			
18	マガモ	5	V		I2			
19	オナガガモ	2	V		I2			
20	カイツブリ	2	V		A2			
21	ハクセキレイ	1	VC		I2			
22	カワウ	3	V		I2			
23	アオサギ	12	V		I2			
24	キンクロハジロ	1	V		A2			
25	カワアイサ	1	V		A2			
26	ハシブトガラス	1	VC		J1			空中
27	ハシブトガラス	2	VC		J1			空中
28	ツグミ	1	C		E2			
29	モズ	1	V		F1			
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 St. 5	調査方法 定点観察法
------	-----------	--------------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1
90				10																+

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	12:30	13:00	晴れ	中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	コガモ	3	V		A2			
2	マガモ	9	V		A2			
3	カンムリカイツブリ	4	V		A2			
4	ホオジロガモ	1	V		A2			
5	オナガガモ	3	V		A2			
6	オカヨシガモ	2	V		A2			
7	ホオジロガモ	1	V		A2			
8	マガモ	3	V		A2			
9	カワセミ	1	V		J1			空中
10	カワアイサ	3	V		A2			
11	ヒドリガモ	8	V		A2			
12	カワウ	1	V		A2			空中
13	シメ	1	V		J1			空中
14	トビ	1	V		J1			空中
15	カシラダカ	1	C		E2			
16	ハシブトガラス	2	V		I2			
17	ハクセキレイ	1	V		F1			
18	アオサギ	1	V		D1			
19	ベニマシコ	1	VC		E2			
20	カワラヒワ	4	VC		E2			
21	スズメ	1	V		I2			
22	ツグミ	2	V		J1			
23	ハシブトガラス	3	V		J1			空中
24	チョウゲンボウ	1	V		J1			
25	マガモ	31	V		A2			
26	コガモ	46	V		A2			
27								
28								
29								
30								

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

鳥類 現地調査票

事務所名 東北地方環境事務所	地区名 阿武隈川河口域	調査年度 2014
-------------------	----------------	--------------

調査地区	地点番号 —	地点名 —	調査方法 任意観察法
------	-----------	----------	---------------

調査対象環境区分※1																				
開放水域			沈水・浮葉植物 群落	干潟	裸地			草地		樹林			竹		耕作地			人為		その他
流水域	湛水域	マリアンド・た			土泥地	砂地	礫地	低茎草地	高茎草地	低木林	広葉樹林	針葉樹林	竹林	笹原	果樹園	畑	水田	芝地	物人工構造	
A1	A2	A3	B1	C1	D1	D2	D3	E1	E2	F1	F2	F3	G1	G2	H1	H2	H3	I1	I2	J1

※1 現地調査時の区分の割合を10%単位で記録する。10%に満たない小規模な区分には+の印をつける。

調査時の状況	調査回数	時期	調査年月日	開始時刻	終了時刻	天候	風の状況
	10	冬季	2015年1月19日	6:50	13:15	晴れ	弱～中

No.	和名※2	個体数	同定手段※3	繁殖行動	確認環境※4	重要種	特定外来生物	備考
1	ノスリ	1	V		I2			
2	カルガモ	62	V		A2			
3	マガモ	7	V		A2			
4	ハシブトガラス	2	V		J1			空中
5	アオサギ	1	V		J1			空中
6	ハシボソガラス	1	V		F2			
7	ノスリ	1	V		F2			
8	カワウ	3	V		A2			
9	マガモ	6	V		A2			
10	ハシボソガラス	1	C		D3			
11	ハシブトガラス	1	VC		J1			空中
12	ハシブトガラス	1	VC		J1			空中
13	ノスリ	1	V		F2			
14	ハシブトガラス	1	V		I2			
15	ハシブトガラス	2	V		J1			空中
16	ホオジロ	4	VC		E2			
17	ハクセキレイ	1	VC		J1			空中
18	ツグミ	1	C		E2			
19	ホオジロ	1	V		E2			
20	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県R1.2013では、重要種から除外
21	ハシブトガラス	1	V		I2			
22	ベニマシコ	1	C		E1			
23	ハクセキレイ	1	VC		I2			
24	ノスリ	1	V		J1			
25	ホオジロ	3	VC		E1			
26	スズメ	3	VC		J1			空中
27	オオセグロカモメ	1	V		A2			
28	コガモ	3	V		A2			
29	ミサゴ	1	V		J1	国NT		空中、宮城県R1.2013では、重要種から除外
30	イソシギ	1	V		A1			

※2 同種でも調査箇所、確認位置、同定手段、繁殖行動、観察時間がことなる場合、別行に記入する。

※3 同定に寄与した主な手段を記入する。

V: 目視 (Visual) S: さえずり (Song) C: 地鳴き (Call) 他: その他 (Other)

※4 確認された主な環境を、「調査対象環境区分※1」に示された記号で記入する。

特記事項	調査担当者
	瓜生 篤

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成26)年度 夏季調査

調査地点		調査者(所属)		調査日		時刻		調査方法		調査時間		天候		備考		
浦生干潟 St.1		平嶋賢治(アジア航測株式会社) 菅原淳史(同上)		2014年8月12日		10:20-10:35		0.0177m ²		0.2m		5回		小雨		大湖の最大干潮時でも、ゴカイ類は水中の泥質中に多い。
探集面積(m ² (回)、深さm、探集回数)																
整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m ² 換算	定性観察 干潟 植生帯 備考	分類群	重量 m ² 換算						
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルステレガイ目	シオササミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	317		二枚貝類	67.50						
2	軟体動物門	二枚貝綱	ウミツガイモドキ目	オキナガイ科	ウミツガイ	<i>Laternula marilina</i>	11		巻貝類							
3	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>	23		ゴカイ類	0.41						
4	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コツツカニ科	コツツカニ	<i>Scopimera globosa</i>	170		ココエビ類							
5	-	-	-	-	-	-			エビ・カニ類	21.10						
-	-	-	-	-	-	-	521		その他							
							個体数計/m ²		重量計g/m ²	89.00						
							種類数計	4								

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 夏季調査

調査地点	蒲生干潟 St.2		
サイト代表者(所属)	平嶋賢治(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年8月12日		
時刻	10:40-11:00		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		重量	
							個体数 m2換算	干潟 埋生帯	備考	分類群
1	刺胞動物門	花虫綱	イキキンチャク目	-	イキキンチャク目	<i>Actiniaria</i>	11		二枚貝類	313.76
2	軟体動物門	腹足綱	盤足目	カワサンショウガイ科	ヒトカワサンショウ	<i>Assiminea hiradoensis</i>	45		巻貝類	0.85
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルステレガイ目	シオササミ科	イソシミ	<i>Nattalia japonica</i>	905		ゴカイ類	1.54
4	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモドキ目	オキナガイ科	ウミタガイ	<i>Laternula marilina</i>	238		ヨコエビ類	
5	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>	45		エビ・カニ類	55.16
6	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Heteromastus属	<i>Heteromastus sp.</i>	124		その他	0.02
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コメツキカニ科	コメツキカニ	<i>Scopimera globosa</i>	147		重量計g/m2	371.33
-							1517		個体数計/m2	-
							7		種類数計	-

出羽種(H24年度産版) 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成26)年度 夏季調査

調査地点		調査日時		調査者(所属)		調査方法		調査結果		備考	
浦生干潟 St.3		2014年8月12日		菅原淳史(同上)		0.017m ² 8回		25.6		2.32	
サイト代表者(所属)		11:05-11:20		平嶋賢治(アジア航測株式会社)		0.2m		砂質、+泥			
調査者(所属)											
調査日											
時刻											
採集面積(m ² (回)、深さm、採集回数)											
出羽種(H24年度産版) 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)											
整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m ² 換算	定性観察 干潟 埋生帯 備考	分類群	重量 m ² 換算	備考
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササガミ科	イソジミ	<i>Natallia japonica</i>	2,320		二枚貝類	354.35	
2	軟体動物門	二枚貝綱	ウミナガイモドキ目	オキナガイ科	ウチガイ	<i>Laternula marilina</i>	11		巻貝類		
3	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Notomastus属	<i>Notomastus sp.</i>	45		ゴカイ類	0.50	
4	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コウキカニ科	コウキカニ	<i>Scopimera globosa</i>	102		ヨコエビ類		
5	-	-	-	-	-	-			エビ・カニ類	7.61	
-	-	-	-	-	-	-	2,479		その他		
							個体数計/m ²				
							種類数計	4			
							重量計g/m ²			362.45	

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 夏季調査

調査地点		調査日時		調査方法		調査内容		調査結果		備考														
サイト代表者(所属)	浦生干潟 St.4	調査日	2014年8月12日	網	二枚貝網	門	軟体動物門	整理番号	1	網目	0.017m2	採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.017m2	5回	底質	砂質、+泥・植物質(ヨシの根茎)	水温℃	24.6	塩分濃度%	1.02	備考	砂層15cm以深にヨシの根茎が含まれる泥質の層が存在。以前のヨシ根の跡だと考えられる。その層にゴカイ類が多い。		
調査者(所属)	平嶋賢治(アジア航測株式会社) 菅原淳史(同上)	時刻	11:25-11:45	網	二枚貝網	門	軟体動物門	整理番号	2	網目	0.2m	採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.2m	5回	底質	砂質、+泥・植物質(ヨシの根茎)	水温℃	24.6	塩分濃度%	1.02	備考	砂層15cm以深にヨシの根茎が含まれる泥質の層が存在。以前のヨシ根の跡だと考えられる。その層にゴカイ類が多い。		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)	時刻	11:25-11:45	網	二枚貝網	門	軟体動物門	整理番号	3	網目	0.2m	採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.2m	5回	底質	砂質、+泥・植物質(ヨシの根茎)	水温℃	24.6	塩分濃度%	1.02	備考	砂層15cm以深にヨシの根茎が含まれる泥質の層が存在。以前のヨシ根の跡だと考えられる。その層にゴカイ類が多い。		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)	時刻	11:25-11:45	網	二枚貝網	門	軟体動物門	整理番号	4	網目	0.2m	採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.2m	5回	底質	砂質、+泥・植物質(ヨシの根茎)	水温℃	24.6	塩分濃度%	1.02	備考	砂層15cm以深にヨシの根茎が含まれる泥質の層が存在。以前のヨシ根の跡だと考えられる。その層にゴカイ類が多い。		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)	時刻	11:25-11:45	網	二枚貝網	門	軟体動物門	整理番号	5	網目	0.2m	採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.2m	5回	底質	砂質、+泥・植物質(ヨシの根茎)	水温℃	24.6	塩分濃度%	1.02	備考	砂層15cm以深にヨシの根茎が含まれる泥質の層が存在。以前のヨシ根の跡だと考えられる。その層にゴカイ類が多い。		
出羽種(H24年度産 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)																								
整理番号	1	門	軟体動物門	綱	二枚貝綱	目	マルスタレガイ目	科	シオササガミ科	和名	イソジミ	学名	<i>Nat taillia japonica</i>	個体数	430	定性観察	干潟	種生帯	備考	分類群	二枚貝類	重量	m2換算	538.46
整理番号	2	門	軟体動物門	綱	二枚貝綱	目	マルスタレガイ目	科	マルスタレガイ科	和名	アサリ	学名	<i>Ruditapes philippinarum</i>	個体数	147	定性観察	干潟	種生帯	備考	分類群	巻貝類	重量	m2換算	
整理番号	3	門	環形動物門	綱	ゴカイ綱	目	サンハゴカイ目	科	ゴカイ科	和名	ゴカイ属	学名	<i>Hediste sp.</i>	個体数	204	定性観察	干潟	種生帯	備考	分類群	ゴカイ類	重量	m2換算	6.60
整理番号	4	門	節足動物門	綱	軟甲綱	目	ヨコビ目	科	エンホヨコビ科	和名	ニッホントロコビ	学名	<i>Grandidiorella japonica</i>	個体数	136	定性観察	干潟	種生帯	備考	分類群	ヨコビ類	重量	m2換算	0.10
整理番号	5	門	節足動物門	綱	軟甲綱	目	イビ目	科	イビシヤコ科	和名	イビシヤコ属	学名	<i>Crangon sp.</i>	個体数	11	定性観察	干潟	種生帯	備考	分類群	エビ・カニ類	重量	m2換算	0.42
整理番号	-	門		綱		目		科		和名		学名		個体数	928	定性観察	干潟	種生帯	備考	分類群	その他	重量	m2換算	
整理番号	-	門		綱		目		科		和名		学名		個体数	5	定性観察	干潟	種生帯	備考	分類群	重量計g/m2	重量	m2換算	545.58

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 夏季調査

調査地点		調査者(所属)		調査日		時刻		採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)		天候		備考	
浦生干潟 St.5		平嶋賢治(アジア航測株式会社) 菅原淳史(同上)		2014年8月12日		09:30-09:50		0.0177m2 0.2m 5回		曇り 38.25204 141.01129 0-5cm 09:30 砂質		砂質。上流の石岸水際沿いは 工事により盛り土されているよ うである。アウセスには南部下水処理場 の敷地を通過させてもらう。	
出羽種(H24年度産 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)													
整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟	定性観察 雑生帯	備考	分類群	重量	
1	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コイツキカニ科	コイツキカニ	<i>Scopimera globosa</i>	158				二枚貝類		m2換算
2	-	-	-	-	-	-					巻貝類		
3	-	-	-	-	-	-					ゴカイ類		
4	-	-	-	-	-	-					ヨコエビ類		
5	-	-	-	-	-	-					エビ・カニ類		23.90
-	-	-	-	-	-	-	158				その他		
							1				重量計g/m2		23.90
											種類数計		

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 夏季調査

調査地点	井戸浦 St.1
サイト代表者(所属)	平嶋賢治(アジア航測株式会社)
調査者(所属)	菅原淳史(同上)
調査日	2014年8月14日
時刻	13:00-13:20
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2 0.2m 5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		重量
							個体数 m2換算	干潟 埋生帯 備考	
1	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタケガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオリガイ	<i>Laternula marilina</i>	11	二枚貝類	4.88
2	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>	136	巻貝類	
3	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Heteromastus属	<i>Heteromastus sp.</i>	45	ゴカイ類	10.50
4	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Notomastus属	<i>Notomastus sp.</i>	464	ヨコエビ類	
5	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コマツキガニ科	チゴカニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>	11	エビ・カニ類	4.44
6	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コマツキガニ科	コマツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	11	その他	
-							679	重量計g/m2	19.82
							6	種類数計	-

出羽種(H24年度産産) 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成26)年度 夏季調査

調査地点	井土浦 St.2		
サイト代表者(所属)	平嶋賢治(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年8月14日		
時刻	12:35-12:50		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		備考
							個体数 m2換算	干潟 埋生帯	
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササギ科	イソジミ	<i>Nattaillia japonica</i>	79		二枚貝類 m2換算 126.58
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シジミ科	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>	45		巻貝類
3	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオガイ	<i>Latercula marilina</i>	11		ゴカイ類 5.55
4	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>	79		ヨコエビ類
5	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Notomastus属	<i>Notomastus sp.</i>	113		エビ・カニ類
-							328		その他
							5		重量計g/m2 132.12

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 夏季調査

調査地点	井土浦 St.3
サイト代表者(所属)	平嶋賢治(アジア航測株式会社)
調査者(所属)	菅原淳史(同上)
調査日	2014年8月14日
時刻	12:15-12:25
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2 0.2m 5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		備考
							個体数 m2換算	干潟 埋生帯	
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササギミ科	イソジミ	<i>Natallia japonica</i>	57		二枚貝類 m2換算 167.86
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	ジミ科	ヤマトジミ	<i>Corbicula japonica</i>	34		巻貝類
3	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモドキ目	オキナガイ科	ソトガイ	<i>Laterula marilina</i>	34		ゴカイ類 3.69
4	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>	147		ヨコエビ類
5	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Heteromastus属	<i>Heteromastus sp.</i>	34		エビ・カニ類 0.83
6	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Notomastus属	<i>Notomastus sp.</i>	102		その他
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	エビヤコ科	エビヤコ属	<i>Crangon sp.</i>	11		重量計g/m2 172.38
8	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ムサウリアガニ科	アリアケモドキ	<i>Deiratonotus cristatus</i>	11		-
-							430	個体数計/m2	-
							8	種類数計	-

出羽種(H24年度産産 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)

塩分濃度% 1.00

底質 砂質
水深測定時間 12:20
水深(om) 0-5om
真経(WGS84) 140.9645
北緯(WGS84) 38.18925
唯孔

備考
ゴカイ類が多い。

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 夏季調査

調査地点	井土浦 St.4		
サイト代表者(所属)	平嶋賢治(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年8月14日		
時刻	11:40-12:00		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		備考
							個体数 m2換算	干潟 埋生帯	
1	紐形動物門	無針綱	ヒモムシ目	-	ヒモムシ目	<i>Heteronemertea</i>	11		二枚貝、カニ類が多い。ゴカイ類は少ない。
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオサガナミ科	イソジミ	<i>Nattalia japonica</i>	102		
3	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモドキ目	オキナガイ科	ソトガイイ	<i>Laterula marilina</i>	11		
4	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>	79		
5	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Notomastus属	<i>Notomastus sp.</i>	136		
6	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コウツキカニ科	コウツキカニ	<i>Scopimera globosa</i>	68		
-							407		
							5		
出芽種(H24年度産 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)							個体数計/m2	443.03	
							重量計g/m2	1.26	
							種類数計	9.35	
							重量計g/m2	0.28	
							種類数計	443.91	

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 夏季調査

調査地点	井土浦 St.6		
サイト代表者(所属)	平嶋賢治(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年8月14日		
時刻	13:40-13:60		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		備考
							個体数 m2換算	干潟 埋生帯	
1	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモドキ目	オキナガイ科	ウミタガイ	<i>Laternula marilina</i>	23		二枚貝類 28.62
2	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カコガイ属	<i>Hediste</i> sp.	226		巻貝類
3	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Heteromastus属	<i>Heteromastus</i> sp.	45		ゴカイ類 6.39
4	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Notomastus属	<i>Notomastus</i> sp.	57		ヨコエビ類 0.14
5	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポントロコエビ	<i>Grandidiereilla japonica</i>	57		エビ・カニ類 10.41
6	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナリスナリアン科	スナリスナリアン属	<i>Cyathura</i> sp.	23		その他
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	オサカニ科	ヤマオサガニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	23		重量計g/m2 45.56
-							453		重量計g/m2 -
							7		種類数計 -

出羽種(H24年度産 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)

備考
ゴカイ類が多い。

天候
北緯(WGS84)
東経(WGS84)
水深(5cm)
水深測定時間
底質
水温℃

雌乳
38.18995
140.96158
0-5cm
11:00
砂質、+泥
28.2

塩分濃度%

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 夏季調査

調査地点	阿武隈川河口域(鳥の海) St.1		
サイト代表者(所属)	平嶋賢治(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年8月11日		
時刻	09:10-09:30		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		重量	
							個体数 m2換算	干潟 埋生帯	備考	分類群
1	軟体動物門	腹足綱	頭楯目	ヘコミツツガイ科	コマツツガイ	<i>Retusa insignis</i>	11		二枚貝類	1770.01
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルステレガイ目	シオサガナミ科	イナジミ	<i>Nattailla japonica</i>	543		巻貝類	0.17
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルステレガイ目	マルステレガイ科	アサリ	<i>Raditapes philippinarum</i>	11		ゴカイ類	0.81
4	軟体動物門	二枚貝綱	ウミツツガイモドキ目	オキナガイ科	ウミツツガイ	<i>Laternula marilina</i>	34		ヨコエビ類	0.05
5	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>	34		エビ・カニ類	40.90
6	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Notomastus属	<i>Notomastus sp.</i>	11		その他	
7	節足動物門	軟甲綱	ワラシムン目	スナウミナナアソ科	スナウミナナアソ属	<i>Cyathura sp.</i>	11		重量計g/m2	1811.94
8	節足動物門	軟甲綱	エビ目	スナモグリ科	ニホンスナモグリ	<i>Callinassa japonica</i>	11		-	-
9	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コマツツガイ科	コマツツガイ	<i>Scopimera globosa</i>	68		-	-
-							736		個体数計/m2	-
							9		種類数計	-

出羽種(H24年度版) 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)

雌孔

38.03266

140.91804

0-5cm

09:10

砂質

25.0

塩分濃度%

1.69

備考

カニの砂団子が多い。

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 夏季調査

調査地点	阿武隈川河口域(鳥の海) St.2		
サイト代表者(所属)	平嶋賢治(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年8月11日		
時刻	09:50-10:05		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		重量	
							個体数 m2換算	干潟 埋生帯	備考	分類群
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	ニッコウガイ科	サビシラシガイ	<i>Macoma contrabulata</i>	11		二枚貝類	407.56
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササナミ科	イソジミ	<i>Nattallia japonica</i>	102		巻貝類	
3	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモドキ目	オキナガイ科	ソトガイイ	<i>Laterula marilina</i>	34		ゴカイ類	3.71
4	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>	23		ヨコエビ類	0.05
5	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	ミスヒキゴカイ科	ミスヒキゴカイ	<i>Cirriformia tentaculata</i>	57		エビ・カニ類	33.66
6	節足動物門	軟甲綱	ワラジ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ属	<i>Cyathura sp.</i>	11		その他	
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	エビヤコ科	エビヤコ属	<i>Crangon sp.</i>	11		重量計g/m2	444.98
8	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ホンヤドカリ科	ユビナガホンヤドカリ	<i>Pagurus dubius</i>	11		-	-
9	節足動物門	軟甲綱	エビ目	オサカニ科	ヤマオサカニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	11		-	-
-							272		個体数計/m2	-
							9		種類数計	-

備考
水路からの流入が付近にある。ヘドロがたまりやすい場所。生き物は少ない印象がある。カニ穴は存在する。

雌孔
38.0284
140.91446
0-5cm
09:50
砂質、泥質
25.9
塩分濃度% 1.57

出羽種(H24年度版)河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 夏季調査

調査地点	阿武隈川河口域(鳥の海) St.3		
サイト代表者(所属)	平嶋賢治(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年8月11日		
時刻	10:10-10:30		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		備考
							個体数 m2換算	干潟 埋生帯	
1	軟体動物門	腹足綱	頭楯目	ヘコミツツガイ科	コマツツガイ	<i>Retusa insignis</i>	23		二枚貝類 993.62
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササナミ科	イソジミ	<i>Nattailla japonica</i>	351		巻貝類 0.31
3	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモドキ目	オキナガイ科	ソトガイイ	<i>Laterula marilina</i>	11		ゴカイ類 2.61
4	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>	45		ヨコエビ類 0.24
5	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナクミナファン科	スナクミナファン属	<i>Cyathura sp.</i>	11		エビ・カニ類 5.33
6	節足動物門	軟甲綱	エビ目	スナモクリ科	ニホンスナモクリ	<i>Callianassa japonica</i>	11		その他
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	モクスガニ科	イガニ属	<i>Hemigrapsus sp.</i>	11		重量計g/m2 1002.11
-							464		重量計g/m2 -
							7		種類数計 -

出羽種(H24年度産版) 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 夏季調査

調査地点	阿武隈川河口域(鳥の海) St.4		
サイト代表者(所属)	平嶋賢治(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年8月11日		
時刻	10:40-11:00		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		備考	
							個体数 m2換算	干潟 埋生帯		
1	軟体動物門	腹足綱	頭楯目	ヘコミツツガイ科	コムツツガイ	<i>Retusa insignis</i>	11		二枚貝類 m2換算 231.98	
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルステレガイ目	ニッコウガイ科	サビシラトガイ	<i>Macoma contabulata</i>	11		巻貝類 0.10	
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルステレガイ目	シオササミ科	イソシミ	<i>Nattalia japonica</i>	34		ゴカイ類 2.65	
4	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモドキ目	オキナガイ科	ウミオガイ	<i>Laternula marilina</i>	23		ヨコエビ類 0.41	
5	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>	45		エビ・カニ類 22.86	
6	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	ミスヒキゴカイ科	ミスヒキゴカイ	<i>Cirriformia tentaculata</i>	23		その他	
7	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Notomastus属	<i>Notomastus sp.</i>	68		重量計g/m2 258.00	
8	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポントヨコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>	23		-	
9	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナウミナナフシ科	スナウミナナフシ属	<i>Cyathura sp.</i>	23		-	
10	節足動物門	軟甲綱	エビ目	オサカニ科	ヤマトオサカニ	<i>Macrophthalmus japonicus</i>	11		-	
-	-						個体数計/m2	272	-	-
							種類数計	10	-	-

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 夏季調査

調査地点	阿武隈川河口域(鳥の海) St.4			
サイト代表者(所属)	平嶋賢治(アジア航測株式会社)			
調査者(所属)	菅原淳史(同上)			
調査日	2014年8月11日			
時刻	11:20-11:40			
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回	

天候	晴れ	備考	
北緯(WGS84)	38.03713		
東経(WGS84)	140.90228		
水深(5m)	0-5cm		
水深測定時間	9:10		
底質	砂質、泥質		
水温℃	24.8	塩分濃度%	0.89

出羽種(H24年度産 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		重量	
							個体数 m2換算	干潟 埋生帯	備考	分類群
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	ニッコガイ科	サビシラトガイ	<i>Macoma contrabulata</i>	23		二枚貝類	373.90
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオサガナミ科	イソジミ	<i>Nattaia japonica</i>	57		巻貝類	
3	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモドキ目	オキナガイ科	ソトガイ	<i>Laterula marilina</i>	23		ゴカイ類	0.77
4	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>	34		ヨコエビ類	0.07
5	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	エンボヨコエビ科	ニッポントロコエビ	<i>Grandidierella japonica</i>	34		エビ・カニ類	
-							170		その他	
									重量計g/m2	374.74

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 秋季調査

調査地点		井土浦 St.1		天候		晴れ		備考	
サイト代表者(所属)		及川秀之(アジア航測株式会社)		北緯(WGS84)		38.19632			
調査者(所属)		菅原淳史(同上)		東経(WGS84)		140.96749			
調査日		2014年10月10日		水深(om)		0-5cm			
時刻		10:22-10:40		水深測定時間		10:25			
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)		0.0177m2		底質		砂質、+泥			
		0.2m		水温℃		22.3		塩分濃度%	
		5回						1.68	
出羽種(H24年度産版)河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)									
整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟 埋生帯 備考	重量 m2換算
1	環形動物門	ゴカイ綱	サンハゴカイ目	ゴカイ科	カコゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	57		二枚貝類
2	環形動物門	ゴカイ綱	サンハゴカイ目	ゴカイ科	イトメ	<i>Tyloserrhynchus osawai</i>	57		巻貝類
3	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Notomastus属	<i>Notomastus</i> sp.	113		ゴカイ類
4	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ムツハリアリアカガニ科	アリアカガニ	<i>Deiratonotus cristatus</i>	23		ヨコエビ類
5	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コマツキガニ科	チゴガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i>	11		エビ・カニ類
6	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コマツキガニ科	コマツキガニ	<i>Scopimera globosa</i>	11		その他
-							272	個体数計/m2	重量計g/m2
							6	種類数計	53.00

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 秋季調査

調査地点		井土浦 St.2		天候		晴れ		備考		
サイト代表者(所属)		及川秀之(アジア航測株式会社)		北緯(WGS84)		38.19314				
調査者(所属)		菅原淳史(同上)		東経(WGS84)		140.96583				
調査日		2014年10月10日		水深(om)		0-5cm				
時刻		10:00-10:15		水深測定時間		10:00				
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)		0.0177m2		底質		砂質、+泥				
		0.2m		水温℃		19.7		塩分濃度%		
		5回						1.28		
出羽種(H24年度産版)河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)										
整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干涸 雑生帯 備考	分類群	重量 m2換算
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササガミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	11		二枚貝類	12.82
2	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	79		巻貝類	
3	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Notomastus属	<i>Notomastus</i> sp.	181		ゴカイ類	12.11
4	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コマツキカニ科	コマツキカニ	<i>Scopimera globosa</i>	91		ヨコエビ類	
									エビ・カニ類	28.23
									その他	
									重量計g/m2	53.16
							362		-	-
							4		-	-
									個体数計/m2	
									種類数計	

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 秋季調査

調査地点	井土浦 St.3		
サイト代表者(所属)	天候 北緯(WGS84) 38.18948 東経(WGS84) 140.96452		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年10月10日		
時刻	09:30-09:50		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	出羽種(H24年度産 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)				定性観察		重量		
	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	分類群	m2換算
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササガミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	45	二枚貝類	35.31
2	軟体動物門	二枚貝綱	ウミサガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオガイ	<i>Laternula marilina</i>	11	巻貝類	
3	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	ガコゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	113	ゴカイ類	7.39
4	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Netomastus属	<i>Netomastus</i> sp.	102	ヨコエビ類	
5	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コマツカニ科	コマツカニ	<i>Scopimera globosa</i>	192	エビ・カニ類	29.57
								その他	
								重量計g/m2	72.27
							464		-
							5		-
								個体数計/m2	
								種類数計	

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 秋季調査

調査地点	井土浦 St.4		
サイト代表者(所属)	及川秀之(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年10月10日		
時刻	08:35-08:55		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		備考
							個体数 m2換算	干潟 種生帯	
1	軟体動物門	腹足綱	盤足目	ウミナガ科	ホリウミナガ	<i>Batillaria cumingii</i>	11		二枚貝類 m2換算 441.16
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルステラガイ目	シオササナミ科	イソシジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	113		巻貝類 9.27
3	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Notomastus属	<i>Notomastus</i> sp.	91		ゴカイ類 2.17
4	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ムツハリアガガニ科	アリアケエビキ	<i>Deiratonotus cristatus</i>	11		ヨコエビ類
5	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コマツキガニ科	コマツキガニ	<i>Scopinera globosa</i>	124		エビ・カニ類 45.59
-							351		その他 重量計g/m2 498.19
							5		重量計g/m2 — 種類数計 —

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 秋季調査

調査地点		井土浦 St.5		天候		曇り		備考			
サイト代表者(所属)		及川秀之(アジア航測株式会社)		北緯(WGS84)		38.17940					
調査者(所属)		菅原淳史(同上)		東経(WGS84)		140.95966					
調査日		2014年10月10日		水深(om)		0-5cm					
時刻		07:50-08:15		水深測定時間		7:55					
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)		0.0177m2		0.2m		5回					
				底質		砂質					
				水温℃		17.3		塩分濃度%			
								1.95			
出羽種(H24年度産 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)											
整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干潟	定性観察 雑生帯	備考	重量 m2換算
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササガミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	57				21.33
2	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	23				
3	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	スピオ科	Pseudopolydora属	<i>Pseudopolydora</i> sp.	192				1.23
4	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コマツカニ科	コマツカニ	<i>Scopimera globosa</i>	45				
											7.87
										その他	
										重量計g/m2	30.43
							317			個体数計/m2	-
							4			種類数計	-

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 秋季調査

調査地点		井土浦 St.6		天候		晴れ		備考		
サイト代表者(所属)		及川秀之(アジア航測株式会社)		北緯(WGS84)		38.18993				
調査者(所属)		菅原淳史(同上)		東経(WGS84)		140.96167				
調査日		2014年10月10日		水深(om)		0-5cm				
時刻		11:06-11:25		水深測定時間		11:00				
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)		0.0177m2		0.2m		5回		底質		
								砂質、+泥		
								水温℃		
								27.6		
								塩分濃度%		
								2.34		
出羽種(H24年度産版)河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)										
整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数 m2換算	定性観察 干涸 雑生帯	備考	重量 m2換算
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササガミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	34			2.91
2	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	34			
3	環形動物門	ゴカイ綱	イトゴカイ目	イトゴカイ科	Notomastus属	<i>Notomastus</i> sp.	79			5.92
4	節足動物門	軟甲綱	エビ目	アナシヤコ科	ヨコアナシヤコ	<i>Upogebia yokoyai</i>	11			
-							158		個体数計/m2	38.55
							4		種類数計	47.38

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 秋季調査

調査地点	阿武隈川河口域(鳥の海) St.1		
サイト代表者(所属)	及川秀之(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年10月8日		
時刻	07:50-08:15		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察			備考
							個体数 m2換算	干潟	雑生帯	
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	ニッコウガイ科	サビシラトガイ	<i>Macoma contabulata</i>	11			二枚貝類 m2換算 647.45
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササナミ科	イナンジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	113			巻貝類
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	マルスタレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	11			ゴカイ類 2.48
4	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモドキ目	オキナガイ科	リトガイ	<i>Laternula marilina</i>	11			ヨコエビ類
5	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	170			エビ・カニ類 4.13
6	環形動物門	ゴカイ綱	オホエリゴカイ目	オホエリゴカイ科	ツツオオアエリ	<i>Armandia lanceolata</i>	11			その他
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	コマツカニ科	コマツカニ	<i>Scopimera globosa</i>	11			重量計g/m2 654.06
-							340	個体数計/m2		-
							7	種類数計		-

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 秋季調査

調査地点	阿武隈川河口域(鳥の海) St.2		
サイト代表者(所属)	及川秀之(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年10月8日		
時刻	08:30-08:50		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		備考
							個体数 m2換算	干潟 種生帯	
1	軟体動物門	腹足綱	頭楯目	ハコミツツガイ科	コマツツガイ	<i>Retusa insignis</i>	11		二枚貝類 m2換算 186.19
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルステレガイ目	シオササナミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	79		巻貝類 0.11
3	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモドキ目	オキナガイ科	シオガイ	<i>Laternula marilina</i>	11		ゴカイ類 1.71
4	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カゴカイ属	<i>Hediste sp.</i>	68		ヨコエビ類 0.08
5	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッホントヨコエビ	<i>Grandierella japonica</i>	11		エビ・カニ類 1.30
6	節足動物門	軟甲綱	アミ目	アミ科	カレイササミ	<i>Neomysis awatschensis</i>	23		その他
7	節足動物門	軟甲綱	エビ目	モクスガニ科	ケアサヤカニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	11		重量計g/m2 189.39
-							215		重量計g/m2 -
							7		重量計g/m2 -
									種類数計 -

出羽種(H24年度産産 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 秋季調査

調査地点	阿武隈川河口域(鳥の海) St.3		
サイト代表者(所属)	及川秀之(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年10月8日		
時刻	09:00-09:20		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	定性観察		重量	備考
							個体数 m2換算	干潟 種生帯		
1	軟体動物門	腹足綱	異旋目	トカ'カ'イ科	シヤスイトカキ'カ'イ	<i>Turbonilla shigeoyasui</i>	11		二枚貝類	177.98
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルステレガイ目	シオサ'ナ'ミ科	イ'ン'ジ'ミ	<i>Nuttallia japonica</i>	147		巻貝類	0.23
3	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモ'キ'目	オキナ'カ'イ科	ソ'ト'カ'イ	<i>Laternula marilina</i>	11		ゴカイ類	1.60
4	環形動物門	ゴカイ綱	サン'ハ'コ'カ'イ目	ゴカイ科	カ'ゴ'カ'イ属	<i>Hediste sp.</i>	23		ヨコエビ類	0.28
5	環形動物門	ゴカイ綱	スピ'オ'目	スピ'オ'科	Pseudopolydora属	<i>Pseudopolydora sp.</i>	11		エビ・カニ類	8.64
6	節足動物門	軟甲綱	ワ'ラ'ジ'ム'目	スナウミナ'ナ'フ'科	スナウミナ'ナ'フ'属	<i>Cyathura sp.</i>	23		その他	
7	節足動物門	軟甲綱	ア'ミ'目	ア'ミ'科	クロイサ'ア'ミ	<i>Neomysis awatschensis</i>	11		重量計g/m2	188.72
8	節足動物門	軟甲綱	エ'ビ'目	ホン'ト'カ'リ科	エ'ビ'カ'ホン'ト'カ'リ	<i>Pagurus dubius</i>	11		-	-
-						個体数計/m2	249		-	-
						種類数計	8		-	-

出発種(H24年度産 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)

平成26年度 国指定仙台台浜海鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 秋季調査

調査地点	阿武隈川河口域(鳥の海) St.4			
サイト代表者(所属)	及川秀之(アジア航測株式会社)			
調査者(所属)	菅原淳史(同上)			
調査日	2014年10月8日			
時刻	09:43-10:00			
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回	

整理番号	出羽種(H24年度産 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)				学名	個体数 m2換算	定性観察		分類群	重量 m2換算	備考
	門	綱	目	科			和名	干潟			
1		無針綱	ヒモムシ目	-	ヒモムシ目	11			二枚貝類	572.35	
2	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	ニッコウガイ科	サビシラトガイ	11			巻貝類		
3	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササギミ科	イウジミ	136			ゴカイ類	3.80	
4	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	ジミ科	ヤマトジミ	11			ヨコエビ類	0.91	
5	軟体動物門	二枚貝綱	ウミタガイモキ目	オキナガイ科	ソトガイ	11			エビ・カニ類	0.06	
6	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	カワゴカイ属	11			その他		
7	環形動物門	ゴカイ綱	イトコガイ目	イトコガイ科	Capitella属	11			重量計g/m2	577.11	
8	環形動物門	ゴカイ綱	イトコガイ目	イトコガイ科	Notomastus属	147			-	-	
9	節足動物門	軟甲綱	ヨコエビ目	ユンボヨコエビ科	ニッポントロコエビ	11			-	-	
10	節足動物門	軟甲綱	ワラジムシ目	スナクミナナフシ科	スナクミナナフシ属	34			-	-	
-						396			個体数計/m2		
						10			種類数計		

平成26年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区 自然環境調査業務
2014(平成 26)年度 秋季調査

調査地点	阿武隈川河口域(鳥の海) St.4		
サイト代表者(所属)	及川秀之(アジア航測株式会社)		
調査者(所属)	菅原淳史(同上)		
調査日	2014年10月8日		
時刻	10:25-10:40		
採集面積(m2(回)、深さm、採集回数)	0.0177m2	0.2m	5回

整理番号	門	綱	目	科	和名	学名	個体数		定性観察		備考
							m2換算	干潟	種生帯	備考	
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスタレガイ目	シオササガミ科	イソジミ	<i>Nuttallia japonica</i>	113				m2換算 995.04
2	軟体動物門	二枚貝綱	ウミサガイモドキ目	オキナガイ科	ソトオガイ	<i>Laternula marilina</i>	45				巻貝類
3	環形動物門	ゴカイ綱	サンハコガイ目	ゴカイ科	ガコゴカイ属	<i>Hediste</i> sp.	102				ゴカイ類
4	環形動物門	ゴカイ綱	スピオ目	スピオ科	ヤマスピオ	<i>Prionospio japonicus</i>	11				ヨコエビ類
5	節足動物門	軟甲綱	エビ目	ムツハリアガガニ科	アリアケモドキ	<i>Deiratonotus cristatus</i>	11				エビ・カニ類
6	節足動物門	軟甲綱	エビ目	モクスガニ科	ケフサイガニ	<i>Hemigrapsus penicillatus</i>	11				その他
-											重量計g/m2 1005.36
-							294	個体数計/m2			-
								種類数計			-

出羽種(H24年度産) 河川水辺国勢調査生物リストに準ずる)

資料編 写真票

1. 鳥類調査

- (1) 蒲生特別保護地区
- (2) 井土浦特別保護地区
- (3) 阿武隈川河口域

2. 底生動物調査

- (1) 蒲生特別保護地区
- (2) 井土浦特別保護地区
- (3) 阿武隈川河口域
- (4) 確認種

1. 鳥類調査

(1) 蒲生特別保護地区

	<p>No. 1-1</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>KY 活動実施状況</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>
	<p>No. 1-2</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>調査実施状況（ライン）</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>
	<p>No. 1-3</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>調査実施状況（定点）</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>

	<p>No. 1-4</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 トビ</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>
	<p>No. 1-5</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ミサゴ</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>
	<p>No. 1-6</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 シロチドリ</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>



No. 1-7

鳥類調査（第1回）

蒲生特別保護地区

確認種

シロチドリ（雛）

撮影日：平成26年6月14日



No. 1-8

鳥類調査（第1回）

蒲生特別保護地区

確認種

ササゴイ

撮影日：平成26年6月14日



No. 1-9

鳥類調査（第1回）

蒲生特別保護地区

確認種

オオヨシキリ

撮影日：平成26年6月14日



No. 1-10

鳥類調査（第1回）

蒲生特別保護地区

確認種

ホオジロ

撮影日：平成26年6月14日



No. 2-1

鳥類調査（第2回）

蒲生特別保護地区

KY 活動実施状況

撮影日：平成 26 年 7 月 13 日



No. 2-2

鳥類調査（第2回）

蒲生特別保護地区

調査状況（ライン）

撮影日：平成 26 年 7 月 13 日



No. 2-3

鳥類調査（第2回）

蒲生特別保護地区

調査状況（定点）

撮影日：平成 26 年 7 月 13 日



No. 3-4

鳥類調査（第3回）

蒲生特別保護地区

確認種

ウミネコ

撮影日：平成26年7月25日



No. 3-5

鳥類調査（第3回）

蒲生特別保護地区

確認種

ハクセキレイ

撮影日：平成26年7月25日



No. 3-6

鳥類調査（第3回）

蒲生特別保護地区

確認種

コサギ

撮影日：平成26年7月25日

	<p>No. 3-7</p> <p>鳥類調査（第3回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 アオジ</p> <p>撮影日：平成26年7月25日</p>
	<p>No. 3-8</p> <p>鳥類調査（第3回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 コチドリ</p> <p>撮影日：平成26年7月25日</p>
	<p>No. 3-9</p> <p>鳥類調査（第3回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 シロチドリ</p> <p>撮影日：平成26年7月25日</p>

	<p>No. 3-10</p> <p>鳥類調査（第3回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 キンクロハジロ</p> <p>撮影日：平成26年7月25日</p>
	<p>No. 3-7</p> <p>鳥類調査（第3回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 アオアシシギ</p> <p>撮影日：平成26年7月25日</p>



No. 4-1

鳥類調査（第4回）

蒲生特別保護地区

KY 活動実施状況

撮影日：平成26年8月25日



No. 4-2

鳥類調査（第4回）

蒲生特別保護地区

調査状況（ライン）

撮影日：平成26年8月25日



No. 4-3

鳥類調査（第4回）

蒲生特別保護地区

調査状況（定点）

撮影日：平成26年8月25日



No. 4-4

鳥類調査（第4回）

蒲生特別保護地区

確認種

ハクセキレイ

撮影日：平成26年8月25日



No. 4-5

鳥類調査（第4回）

蒲生特別保護地区

確認種

ウミネコ

オオセグロカモメ

撮影日：平成26年8月25日



No. 4-6

鳥類調査（第4回）

蒲生特別保護地区

確認種

カワセミ

撮影日：平成26年8月25日



No. 4-7

鳥類調査（第4回）

蒲生特別保護地区

確認種

カワウ

撮影日：平成26年8月25日



No. 4-8

鳥類調査（第4回）

蒲生特別保護地区

確認種

チョウゲンボウ

撮影日：平成26年8月25日



No. 4-9

鳥類調査（第4回）

蒲生特別保護地区

確認種

ソリハシギ

撮影日：平成26年8月25日

	<p>No. 4-10</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 オグロシギ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>
	<p>No. 4-11</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 キアシシギ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>
	<p>No. 4-12</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 コチドリ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>



No. 4-13

鳥類調査（第4回）

蒲生特別保護地区

確認種

アカアシシギ

撮影日：平成26年8月25日



No. 5-1

鳥類調査（第5回）

蒲生特別保護地区

KY活動実施状況

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-2

鳥類調査（第5回）

蒲生特別保護地区

調査状況（ライン）

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-3

鳥類調査（第5回）

蒲生特別保護地区

調査状況（定点）

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-4

鳥類調査（第5回）

蒲生特別保護地区

確認種

キアシシギ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-5

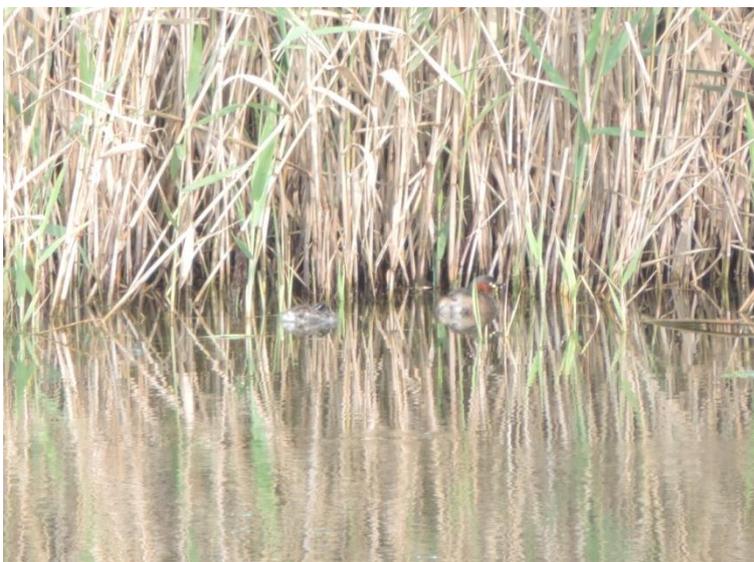
鳥類調査（第5回）

蒲生特別保護地区

確認種

ハクセキレイ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-6

鳥類調査（第5回）

蒲生特別保護地区

確認種

カイツブリ

撮影日：平成26年9月9日

	<p>No. 5-7</p> <p>鳥類調査（第5回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ミサゴ</p> <p>撮影日：平成26年9月9日</p>
	<p>No. 5-8</p> <p>鳥類調査（第5回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 メダイチドリ</p> <p>撮影日：平成26年9月9日</p>
	<p>No. 5-9</p> <p>鳥類調査（第5回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 トウネン</p> <p>撮影日：平成26年9月9日</p>



No. 6-1

鳥類調査（第6回）

蒲生特別保護地区

KY 活動実施状況

撮影日：平成26年10月10日



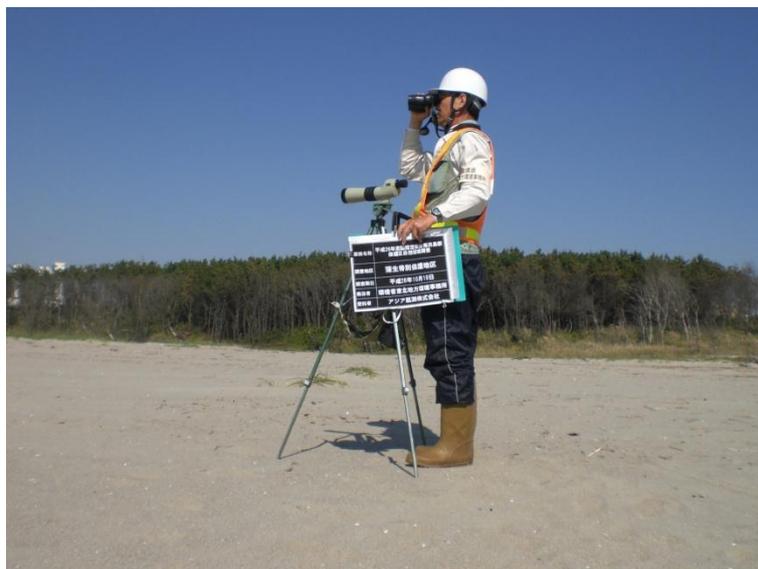
No. 6-2

鳥類調査（第6回）

蒲生特別保護地区

調査状況（ライン）

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-3

鳥類調査（第6回）

蒲生特別保護地区

調査状況（定点）

撮影日：平成26年10月10日

	<p>No. 6-4</p> <p>鳥類調査（第6回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ウミネコ</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 6-5</p> <p>鳥類調査（第6回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ミサゴ</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 6-6</p> <p>鳥類調査（第6回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ホシハジロ オオバン</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>



No. 6-7

鳥類調査（第6回）

蒲生特別保護地区

確認種

カワウ

ダイサギ

アオサギ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-8

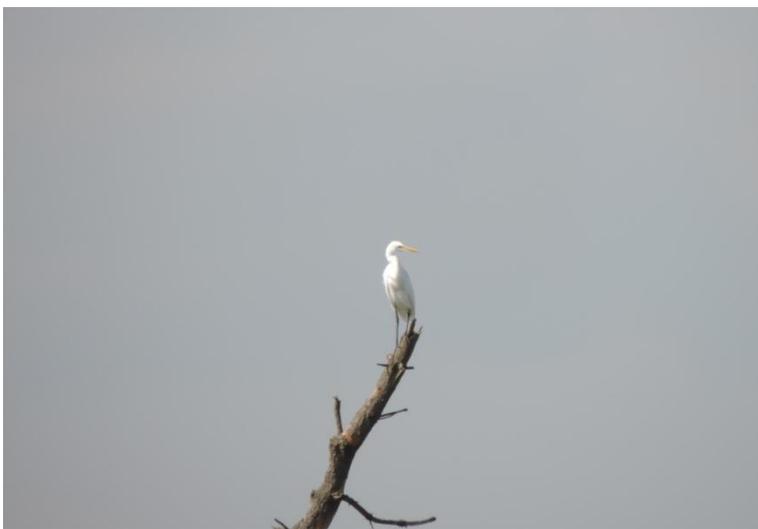
鳥類調査（第6回）

蒲生特別保護地区

確認種

アオアシシギ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-9

鳥類調査（第6回）

蒲生特別保護地区

確認種

ダイサギ

撮影日：平成26年10月10日



No. 7-1

鳥類調査（第7回）

蒲生特別保護地区

調査状況

撮影日：平成26年11月7日



No. 7-2

鳥類調査（第7回）

蒲生特別保護地区

調査状況（ライン）

撮影日：平成26年11月7日



No. 7-3

鳥類調査（第7回）

蒲生特別保護地区

調査状況（定点）

撮影日：平成26年11月7日

	<p>No. 7-4</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 マガモ オカヨシガモ キンクロハジロ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-5</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 オオバン ホシハジロ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-6</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 コガモ オオバン ヨシガモ オカヨシガモ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>

	<p>No. 7-4</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 カワウ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-4</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ハマシギ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-4</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ミサゴ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>



No. 8-1

鳥類調査（第8回）

蒲生特別保護地区

KY 活動実施状況

撮影日：平成 26 年 12 月 8 日



No. 8-2

鳥類調査（第8回）

蒲生特別保護地区

調査状況（ライン）

撮影日：平成 26 年 12 月 8 日



No. 8-3

鳥類調査（第8回）

蒲生特別保護地区

調査状況（定点）

撮影日：平成 26 年 12 月 8 日

	<p>No. 8-4</p> <p>鳥類調査（第8回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 コクガン ユリカモメ</p> <p>撮影日：平成26年12月8日</p>
	<p>No. 8-5</p> <p>鳥類調査（第8回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ハシビロガモ</p> <p>撮影日：平成26年12月8日</p>
	<p>No. 8-6</p> <p>鳥類調査（第8回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ミコアイサ</p> <p>撮影日：平成26年12月8日</p>



No. 8-7

鳥類調査（第8回）

蒲生特別保護地区

確認種

オナガガモ

撮影日：平成26年12月8日



No. 8-8

鳥類調査（第8回）

蒲生特別保護地区

確認種

コガモ

撮影日：平成26年12月8日



No. 8-9

鳥類調査（第8回）

蒲生特別保護地区

確認種

キンクロハジロ

撮影日：平成26年12月8日

	<p>No. 8-10</p> <p>鳥類調査（第8回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 シロチドリ</p> <p>撮影日：平成26年12月8日</p>
	<p>No. 8-11</p> <p>鳥類調査（第8回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ハマシギ</p> <p>撮影日：平成26年12月8日</p>
	<p>No. 8-12</p> <p>鳥類調査（第8回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ヒドリガモ</p> <p>撮影日：平成26年12月8日</p>

	<p>No. 8-13</p> <p>鳥類調査（第8回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 スズガモ</p> <p>撮影日：平成26年12月8日</p>
---	--



No. 9-1

鳥類調査（第9回）

蒲生特別保護地区

KY 活動実施状況

撮影日：平成 27 年 1 月 6 日



No. 9-2

鳥類調査（第9回）

蒲生特別保護地区

調査状況（ライン）

撮影日：平成 27 年 1 月 6 日



No. 9-3

鳥類調査（第9回）

蒲生特別保護地区

調査状況（定点）

撮影日：平成 27 年 1 月 6 日



No. 9-4

鳥類調査（第9回）

蒲生特別保護地区

確認種

コクガン

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-5

鳥類調査（第9回）

蒲生特別保護地区

確認種

コクガン

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-6

鳥類調査（第9回）

蒲生特別保護地区

確認種

コクガン

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-7

鳥類調査（第9回）

蒲生特別保護地区

確認種

ユリカモメ

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-8

鳥類調査（第9回）

蒲生特別保護地区

確認種

ヒドリガモ

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-9

鳥類調査（第9回）

蒲生特別保護地区

確認種

ヒバリ

撮影日：平成27年1月6日

	<p>No. 9-10</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ホシハジロ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-11</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ミコアイサ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-12</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ジョウビタキ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>

	<p>No. 9-13</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 オオジュリン</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-14</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ミュビシギ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-15</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ハマシギ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>



No. 9-16

鳥類調査 (第 9 回)

蒲生特別保護地区

確認種

シロチドリ

撮影日：平成 27 年 1 月 6 日



No. 9-17

鳥類調査 (第 9 回)

蒲生特別保護地区

確認種

キジ

撮影日：平成 27 年 1 月 6 日



No. 10-1

鳥類調査（第10回）

蒲生特別保護地区

KY 活動実施状況

撮影日：平成27年1月19日



No. 10-2

鳥類調査（第10回）

蒲生特別保護地区

調査状況（ライン）

撮影日：平成27年1月19日



No. 10-3

鳥類調査（第10回）

蒲生特別保護地区

調査状況（定点）

撮影日：平成27年1月19日



No. 10-4

鳥類調査（第 10 回）

蒲生特別保護地区

確認種

コクガン

撮影日：平成 27 年 1 月 19 日



No. 10-5

鳥類調査（第 10 回）

蒲生特別保護地区

確認種

ユリカモメ

撮影日：平成 27 年 1 月 19 日



No. 10-6

鳥類調査（第 10 回）

蒲生特別保護地区

確認種

クイナ

撮影日：平成 27 年 1 月 19 日

	<p>No. 10-7</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ミユビシギ シロチドリ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-8</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ハマシギ シロチドリ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-9</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ハシビロガモ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>

	<p>No. 10-10</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 ミコアイサ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-11</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 オナガガモ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-12</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>確認種 カイツブリ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>

(2) 井土浦特別保護地区

	<p>No. 1-1</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>KY 活動実施状況</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>
	<p>No. 1-2</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>調査実施状況（ライン）</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>
	<p>No. 1-3</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>調査実施状況（定点）</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>

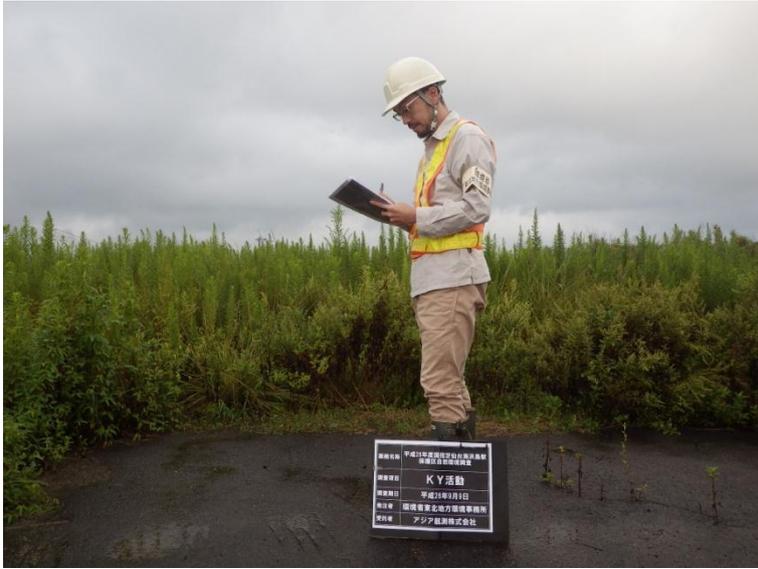
	<p>No. 1-4</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 カルガモ</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>
	<p>No. 1-5</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 コチドリ</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>
	<p>No. 1-6</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ホオジロ</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>

	<p>No. 1-7</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ハチクマ</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>
	<p>No. 1-8</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 オオヨシキリ</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>
	<p>No. 1-9</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 コアジサシ</p> <p>撮影日：平成26年6月14日</p>

	<p>No. 4-1</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>KY 活動実施状況</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>
	<p>No. 4-2</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>調査状況（ライン）</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>
	<p>No. 4-3</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>調査状況（定点）</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>

	<p>No. 4-3</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 イソシギ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>
	<p>No. 4-3</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 コサギ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>
	<p>No. 4-3</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ソリハシギ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>

	<p>No. 4-3</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ミサゴ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>
	<p>No. 4-3</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 トウネン</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>



No. 5-1

鳥類調査（第5回）

井土浦特別保護地区

KY 活動実施状況

撮影日：平成 26 年 9 月 9 日



No. 5-2

鳥類調査（第5回）

井土浦特別保護地区

調査状況（ライン）

撮影日：平成 26 年 9 月 9 日



No. 5-3

鳥類調査（第5回）

井土浦特別保護地区

調査状況（定点）

撮影日：平成 26 年 9 月 9 日

	<p>No. 5-4</p> <p>鳥類調査（第 5 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 キジ</p> <p>撮影日：平成 26 年 9 月 9 日</p>
	<p>No. 5-5</p> <p>鳥類調査（第 5 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 カルガモ</p> <p>撮影日：平成 26 年 9 月 9 日</p>
	<p>No. 5-6</p> <p>鳥類調査（第 5 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 オオタカ</p> <p>撮影日：平成 26 年 9 月 9 日</p>

	<p>No. 5-7</p> <p>鳥類調査（第5回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 モズ</p> <p>撮影日：平成26年9月9日</p>
	<p>No. 5-8</p> <p>鳥類調査（第5回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 イソシギ</p> <p>撮影日：平成26年9月9日</p>
	<p>No. 5-9</p> <p>鳥類調査（第5回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 アオアシシギ</p> <p>撮影日：平成26年9月9日</p>



No. 5-10

鳥類調査（第5回）

井土浦特別保護地区

確認種

ウミウ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-11

鳥類調査（第5回）

井土浦特別保護地区

確認種

ハシボソガラス

撮影日：平成26年9月9日



No. 6-1

鳥類調査（第6回）

井土浦特別保護地区

KY 活動実施状況

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-2

鳥類調査（第6回）

井土浦特別保護地区

調査状況（ライン）

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-3

鳥類調査（第6回）

井土浦特別保護地区

調査状況（定点）

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-4

鳥類調査（第6回）

井土浦特別保護地区

確認種

オオタカ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-5

鳥類調査（第6回）

井土浦特別保護地区

確認種

ノビタキ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-6

鳥類調査（第6回）

井土浦特別保護地区

確認種

ハシビロガモ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-7

鳥類調査（第6回）

井土浦特別保護地区

確認種

マガモ

カルガモ

コガモ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-8

鳥類調査（第6回）

井土浦特別保護地区

確認種

アオアシシギ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-9

鳥類調査（第6回）

井土浦特別保護地区

確認種

オシドリ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-10

鳥類調査（第6回）

井土浦特別保護地区

確認種

カルガモ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-11

鳥類調査（第6回）

井土浦特別保護地区

確認種

ウミネコ

撮影日：平成26年10月10日

	<p>No. 7-1</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>KY 活動実施状況</p> <p>撮影日：平成 26 年 11 月 7 日</p>
	<p>No. 7-2</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>調査状況（ライン）</p> <p>撮影日：平成 26 年 11 月 7 日</p>
	<p>No. 7-3</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>調査状況（定点）</p> <p>撮影日：平成 26 年 11 月 7 日</p>

	<p>No. 7-4</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 マガモ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-5</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ホシハジロ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-6</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 オオバン</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>

	<p>No. 7-7</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ノスリ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-8</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 アオアシシギ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-9</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 オナガガモ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>

	<p>No. 7-10</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 カワアイサ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-11</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 スズガモ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>



No. 8-1

鳥類調査（第8回）

井土浦特別保護地区

KY 活動実施状況

撮影日：平成 26 年 12 月 8 日



No. 8-2

鳥類調査（第8回）

井土浦特別保護地区

調査状況（ライン）

撮影日：平成 26 年 12 月 8 日



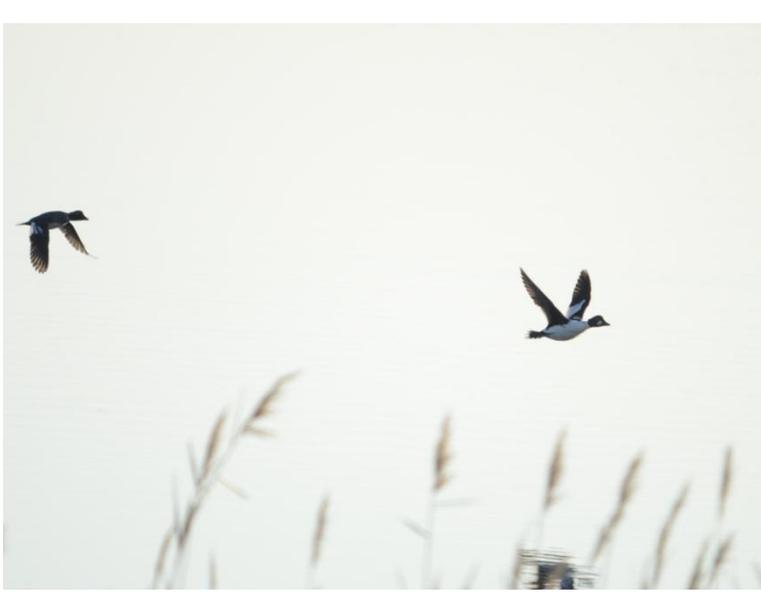
No. 8-3

鳥類調査（第8回）

井土浦特別保護地区

調査状況（定点）

撮影日：平成 26 年 12 月 8 日

	<p>No. 8-4</p> <p>鳥類調査（第 8 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ベニマシコ</p> <p>撮影日：平成 26 年 12 月 8 日</p>
	<p>No. 8-5</p> <p>鳥類調査（第 8 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ツグミ</p> <p>撮影日：平成 26 年 12 月 8 日</p>
	<p>No. 8-6</p> <p>鳥類調査（第 8 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ホオジロガモ</p> <p>撮影日：平成 26 年 12 月 8 日</p>

	<p>No. 8-7</p> <p>鳥類調査（第 8 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 スズガモ</p> <p>撮影日：平成 26 年 12 月 8 日</p>
	<p>No. 8-8</p> <p>鳥類調査（第 8 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 コハクチョウ</p> <p>撮影日：平成 26 年 12 月 8 日</p>
	<p>No. 8-9</p> <p>鳥類調査（第 8 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ハジロカイツブリ</p> <p>撮影日：平成 26 年 12 月 8 日</p>

	<p>No. 8-10</p> <p>鳥類調査（第 8 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ハマシギ</p> <p>撮影日：平成 26 年 12 月 8 日</p>
	<p>No. 8-11</p> <p>鳥類調査（第 8 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 シロチドリ</p> <p>撮影日：平成 26 年 12 月 8 日</p>
	<p>No. 8-12</p> <p>鳥類調査（第 8 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 カンムリカイツブリ</p> <p>撮影日：平成 26 年 12 月 8 日</p>

	<p>No. 8-13</p> <p>鳥類調査（第 8 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 イソシギ</p> <p>撮影日：平成 26 年 12 月 8 日</p>
	<p>No. 8-14</p> <p>鳥類調査（第 8 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ミュビシギ</p> <p>撮影日：平成 26 年 12 月 8 日</p>
	<p>No. 8-15</p> <p>鳥類調査（第 8 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ヒドリガモ</p> <p>撮影日：平成 26 年 12 月 8 日</p>



No. 9-1

鳥類調査 (第9回)

井土浦特別保護地区

調査状況

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-2

鳥類調査 (第9回)

井土浦特別保護地区

調査状況 (ライン)

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-3

鳥類調査 (第9回)

井土浦特別保護地区

調査状況 (定点)

撮影日：平成27年1月6日

	<p>No. 9-4</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ホオジロガモ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-5</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 カルガモ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-6</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 イソシギ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>

	<p>No. 9-7</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ツグミ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-8</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 オカヨシガモ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-9</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 アカゲラ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>

	<p>No. 9-10</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 チョウゲンボウ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-11</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 マガモ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-12</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ハマシギ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>

	<p>No. 9-13</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 シロチドリ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-14</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 クロガモ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-15</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ハジロカイツブリ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>



No. 10-1

鳥類調査（第 10 回）

井土浦特別保護地区

KY 活動実施状況

撮影日：平成 27 年 1 月 19 日



No. 10-2

鳥類調査（第 10 回）

井土浦特別保護地区

調査状況（ライン）

撮影日：平成 27 年 1 月 19 日



No. 10-3

鳥類調査（第 10 回）

井土浦特別保護地区

調査状況（定点）

撮影日：平成 27 年 1 月 19 日

	<p>No. 10-4</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ダイシャクシギ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-5</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 カワアイサ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-6</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 カンムリカイツブリ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>

	<p>No. 10-4</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 オカヨシガモ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-4</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 スズガモ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-4</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 キンクロハジロ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>

	<p>No. 10-10</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 ハマシギ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-11</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 シロチドリ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-12</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>確認種 シジュウカラ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>



No. 10-13

鳥類調査（第 10 回）

井土浦特別保護地区

確認種

カシラダカ

撮影日：平成 27 年 1 月 19 日



No. 10-14

鳥類調査（第 10 回）

井土浦特別保護地区

確認種

オジロワシ

撮影日：平成 27 年 1 月 19 日



No. 10-15

鳥類調査（第 10 回）

井土浦特別保護地区

確認種

ホオジロガモ

撮影日：平成 27 年 1 月 19 日



No. 10-16

鳥類調査（第10回）

井土浦特別保護地区

確認種

ヒドリガモ

撮影日：平成27年1月19日

(3) 阿武隈川河口域

	<p>No. 1-1</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>KY 活動実施状況</p> <p>撮影日：平成26年6月15日</p>
	<p>No. 1-2</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査実施状況（ライン）</p> <p>撮影日：平成26年6月15日</p>
	<p>No. 1-3</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査実施状況（定点）</p> <p>撮影日：平成26年6月15日</p>

	<p>No. 1-4</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 コアジサシ</p> <p>撮影日：平成26年6月15日</p>
	<p>No. 1-5</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ウミネコ</p> <p>撮影日：平成26年6月15日</p>
	<p>No. 1-6</p> <p>鳥類調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 オオヨシキリ</p> <p>撮影日：平成26年6月15日</p>



No. 1-7

鳥類調査（第1回）

阿武隈川河口域

確認種

カワウ

撮影日：平成26年6月15日



No. 2-1

鳥類調査（第2回）

阿武隈川河口域

KY 活動実施状況

撮影日：平成26年7月13日



No. 2-2

鳥類調査（第2回）

阿武隈川河口域

調査状況（ライン）

撮影日：平成26年7月13日



No. 2-3

鳥類調査（第2回）

阿武隈川河口域

調査状況（定点）

撮影日：平成26年7月13日

	<p>No. 2-4</p> <p>鳥類調査（第2回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 チュウシャクシギ</p> <p>撮影日：平成26年7月13日</p>
	<p>No. 2-5</p> <p>鳥類調査（第2回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査状況（定点） メダイチドリ</p> <p>撮影日：平成26年7月13日</p>
	<p>No. 2-6</p> <p>鳥類調査（第2回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査状況（定点） ウミネコ</p> <p>撮影日：平成26年7月13日</p>

	<p>No. 2-7</p> <p>鳥類調査（第2回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査状況（定点） ミサゴ</p> <p>撮影日：平成26年7月13日</p>
	<p>No. 2-8</p> <p>鳥類調査（第2回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査状況（定点） ホオアカ</p> <p>撮影日：平成26年7月13日</p>
	<p>No. 2-9</p> <p>鳥類調査（第2回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査状況（定点） ササゴイ</p> <p>撮影日：平成26年7月13日</p>

	<p>No. 3-1</p> <p>鳥類調査（第3回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>KY 活動実施状況</p> <p>撮影日：平成26年7月25日</p>
	<p>No. 3-2</p> <p>鳥類調査（第3回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査状況（ライン）</p> <p>撮影日：平成26年7月25日</p>
	<p>No. 3-3</p> <p>鳥類調査（第3回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査状況（定点）</p> <p>撮影日：平成26年7月25日</p>

	<p>No. 3-4</p> <p>鳥類調査（第3回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ササゴイ</p> <p>撮影日：平成26年7月25日</p>
	<p>No. 3-5</p> <p>鳥類調査（第3回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 シロチドリ</p> <p>撮影日：平成26年7月25日</p>
	<p>No. 3-6</p> <p>鳥類調査（第3回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ホオジロ</p> <p>撮影日：平成26年7月25日</p>

	<p>No. 3-7</p> <p>鳥類調査（第3回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ミサゴ</p> <p>撮影日：平成26年7月25日</p>
---	---



No. 4-1

鳥類調査（第4回）

阿武隈川河口域

KY 活動実施状況

撮影日：平成26年8月25日



No. 4-2

鳥類調査（第4回）

阿武隈川河口域

調査状況（ライン）

撮影日：平成26年8月25日



No. 4-3

鳥類調査（第4回）

阿武隈川河口域

調査状況（定点）

撮影日：平成26年8月25日

	<p>No. 4-4</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 チュウシャクシギ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>
	<p>No. 4-5</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 メダイチドリ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>
	<p>No. 4-6</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 アオアシシギ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>



No. 4-7

鳥類調査（第4回）

阿武隈川河口域

確認種

イソシギ

撮影日：平成26年8月25日



No. 4-8

鳥類調査（第4回）

阿武隈川河口域

確認種

ノスリ

撮影日：平成26年8月25日



No. 4-9

鳥類調査（第4回）

阿武隈川河口域

確認種

クロガモ

撮影日：平成26年8月25日

	<p>No. 4-10</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 アカゲラ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>
	<p>No. 4-11</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 チョウゲンボウ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>
	<p>No. 4-12</p> <p>鳥類調査（第4回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ミサゴ</p> <p>撮影日：平成26年8月25日</p>



No. 4-13

鳥類調査（第4回）

阿武隈川河口域

確認種

カワウ

撮影日：平成26年8月25日



No. 5-1

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

KY 活動実施状況

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-2

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

調査状況（ライン）

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-3

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

調査状況（定点）

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-4

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

確認種

カンムリカイツブリ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-5

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

確認種

カルガモ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-6

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

確認種

ササゴイ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-7

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

確認種

イソシギ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-8

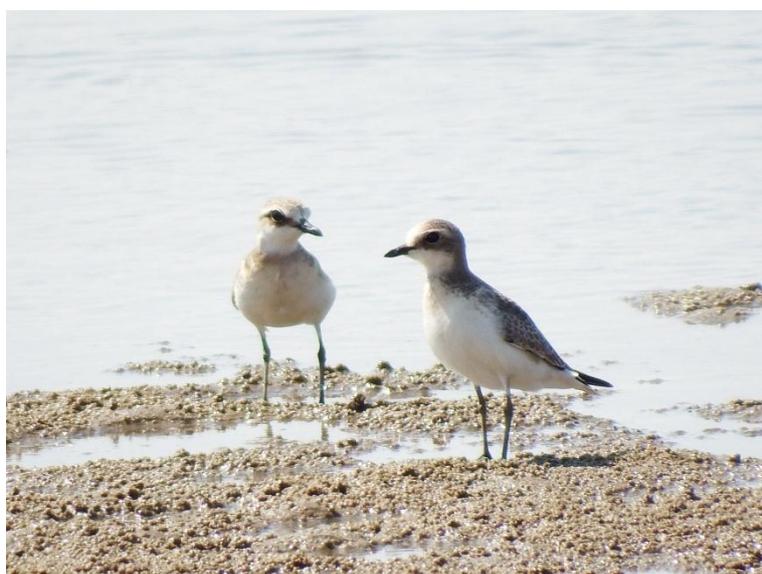
鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

確認種

カイツブリ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-9

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

確認種

メダイチドリ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-10

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

確認種

チュウシャクシギ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-11

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

確認種

シロチドリ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-12

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

確認種

オオソリハシシギ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-13

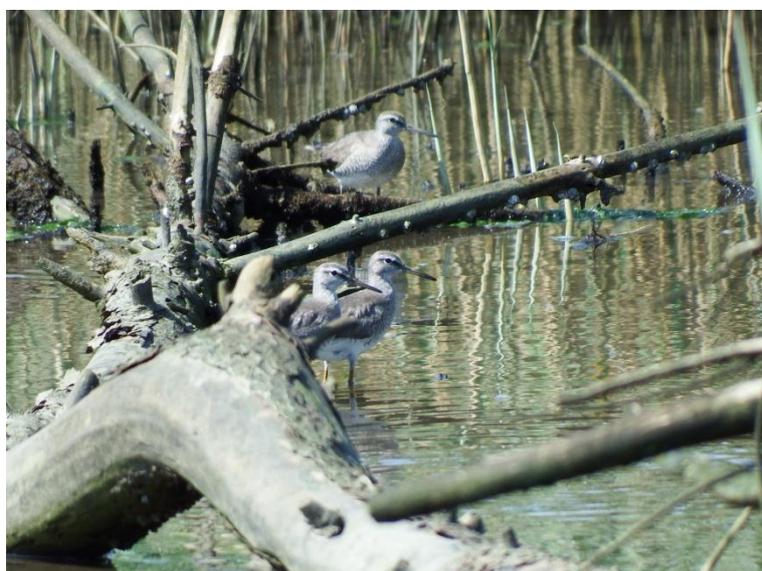
鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

確認種

ヒバリシギ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-14

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

確認種

キアシシギ

撮影日：平成26年9月9日



No. 5-15

鳥類調査（第5回）

阿武隈川河口域

確認種

ホウロクシギ

ダイシャクシギ

撮影日：平成26年9月9日



No. 6-1

鳥類調査（第6回）

阿武隈川河口域

KY活動実施状況

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-2

鳥類調査（第6回）

阿武隈川河口域

調査状況（ライン）

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-3

鳥類調査（第6回）

阿武隈川河口域

調査状況（定点）

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-4

鳥類調査（第6回）

阿武隈川河口域

確認種

ダイシャクシギ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-5

鳥類調査（第6回）

阿武隈川河口域

確認種

ハマシギ

トウネン

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-6

鳥類調査（第6回）

阿武隈川河口域

確認種

イソシギ

撮影日：平成26年10月10日

	<p>No. 6-7</p> <p>鳥類調査（第6回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 カンムリカイツブリ</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 6-8</p> <p>鳥類調査（第6回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ヒバリ</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 6-9</p> <p>鳥類調査（第6回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 チョウゲンボウ</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>



No. 6-10

鳥類調査（第6回）

阿武隈川河口域

確認種

オオソリハシシギ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-11

鳥類調査（第6回）

阿武隈川河口域

確認種

カワウ

マガモ

カルガモ

ヒドリガモ

コガモ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-12

鳥類調査（第6回）

阿武隈川河口域

確認種

アオアシシギ

撮影日：平成26年10月10日



No. 6-13

鳥類調査（第6回）

阿武隈川河口域

確認種

ショウドウツバメ

撮影日：平成26年10月10日



No. 7-1

鳥類調査（第7回）

阿武隈川河口域

KY活動実施状況

撮影日：平成26年11月7日



No. 7-2

鳥類調査（第7回）

阿武隈川河口域

調査状況（ライン）

撮影日：平成26年11月7日



No. 7-3

鳥類調査（第7回）

阿武隈川河口域

調査状況（定点）

撮影日：平成26年11月7日

	<p>No. 7-4</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 イソヒヨドリ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-5</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 コサギ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-6</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 カンムリカイツブリ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>

	<p>No. 7-7</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 イソシギ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-8</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 オオバン</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>
	<p>No. 7-9</p> <p>鳥類調査（第7回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ハマシギ</p> <p>撮影日：平成26年11月7日</p>



No. 7-10

鳥類調査（第7回）

阿武隈川河口域

確認種

ヒドリガモ

撮影日：平成26年11月7日



No. 7-11

鳥類調査（第7回）

阿武隈川河口域

確認種

ハマシギ

オナガガモ

マガモ

ヒドリガモ

撮影日：平成26年11月7日



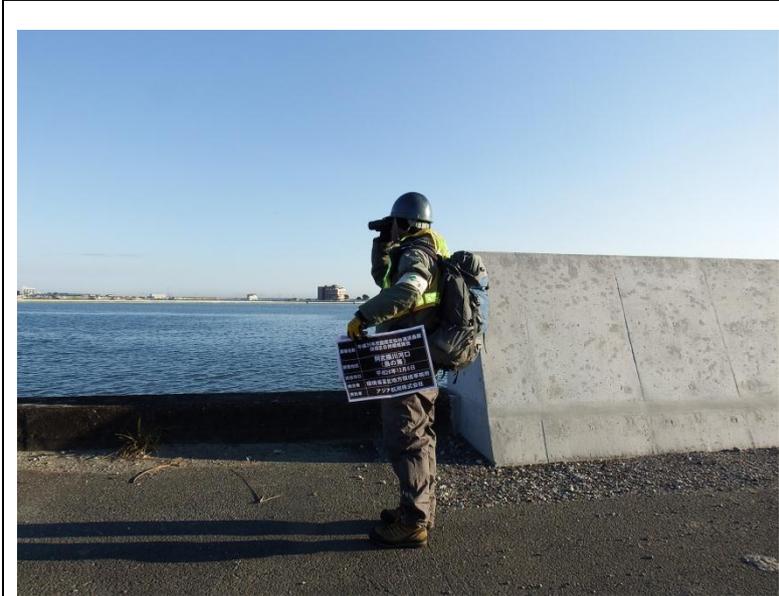
No. 8-1

鳥類調査（第8回）

阿武隈川河口域

KY 活動実施状況

撮影日：平成 26 年 12 月 8 日



No. 8-2

鳥類調査（第8回）

阿武隈川河口域

調査状況

撮影日：平成 26 年 12 月 8 日



No. 8-3

鳥類調査（第8回）

阿武隈川河口域

調査状況

撮影日：平成 26 年 12 月 8 日



No. 8-4

鳥類調査（第8回）

阿武隈川河口域

確認種

カワアイサ

撮影日：平成26年12月8日



No. 8-5

鳥類調査（第8回）

阿武隈川河口域

確認種

ベニマシコ

撮影日：平成26年12月8日



No. 8-6

鳥類調査（第8回）

阿武隈川河口域

確認種

ノスリ

撮影日：平成26年12月8日



No. 8-7

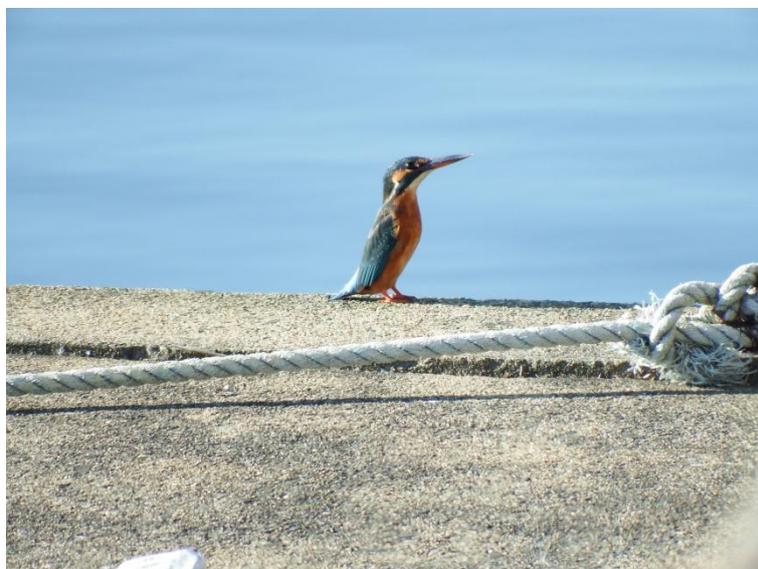
鳥類調査（第8回）

阿武隈川河口域

確認種

カンムリカイツブリ

撮影日：平成26年12月8日



No. 8-8

鳥類調査（第8回）

阿武隈川河口域

確認種

カワセミ

撮影日：平成26年12月8日



No. 8-9

鳥類調査（第8回）

阿武隈川河口域

確認種

オオハシシギ

撮影日：平成26年12月8日

	<p>No. 8-10</p> <p>鳥類調査（第8回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 イソシギ</p> <p>撮影日：平成26年12月8日</p>
	<p>No. 8-11</p> <p>鳥類調査（第8回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ミヤマガラス</p> <p>撮影日：平成26年12月8日</p>
	<p>No. 8-12</p> <p>鳥類調査（第8回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ハジロカイツブリ</p> <p>撮影日：平成26年12月8日</p>



No. 8-13

鳥類調査（第8回）

阿武隈川河口域

確認種

シロチドリ

撮影日：平成26年12月8日



No. 8-14

鳥類調査（第8回）

阿武隈川河口域

確認種

ダイシャクシギ

撮影日：平成26年12月8日



No. 9-1

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

KY 活動実施状況

撮影日：平成 27 年 1 月 6 日



No. 9-2

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

調査状況（ライン）

撮影日：平成 27 年 1 月 6 日



No. 9-3

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

調査状況（定点）

撮影日：平成 27 年 1 月 6 日

	<p>No. 9-4</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 シロチドリ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-5</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 オカヨシガモ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-6</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ホオジロガモ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>



No. 9-7

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

確認種

ユリカモメ

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-8

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

確認種

ハイイロチュウヒ

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-9

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

確認種

イソシギ

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-10

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

確認種

ツグミ

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-11

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

確認種

コクマルガラス

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-12

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

確認種

カイツブリ

撮影日：平成27年1月6日

	<p>No. 9-13</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 スズガモ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-14</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ハジロカイツブリ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>
	<p>No. 9-15</p> <p>鳥類調査（第9回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 カンムリカイツブリ</p> <p>撮影日：平成27年1月6日</p>



No. 9-16

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

確認種

ウミアイサ

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-17

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

確認種

フクロウ

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-18

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

確認種

ハマシギ

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-19

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

確認種

ツクシガモ

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-20

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

確認種

カルガモ

ダイシャクシギ

撮影日：平成27年1月6日



No. 9-21

鳥類調査（第9回）

阿武隈川河口域

確認種

ミツユビカモメ

撮影日：平成27年1月6日

	<p>No. 10-1</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>KY 活動実施状況</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-2</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査状況（ライン）</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-3</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査状況（定点）</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>

	<p>No. 10-4</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ホオジロガモ マガモ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-4</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ハイタカ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-4</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ハマシギ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>

	<p>No. 10-4</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ハジロカイツブリ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-4</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 ミサゴ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>
	<p>No. 10-4</p> <p>鳥類調査（第 10 回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>確認種 イソシギ</p> <p>撮影日：平成 27 年 1 月 19 日</p>

2. 底生動物調査

(1) 蒲生特別保護地区



No. 1-1

底生動物調査（第1回）

蒲生特別保護地区

KY 活動実施状況

撮影日：平成26年8月12日



No. 1-2

底生動物調査（第1回）

蒲生特別保護地区

調査実施状況

撮影日：平成26年8月12日



No. 1-3

底生動物調査（第1回）

蒲生特別保護地区

St. 1

調査地点の景観

撮影日：平成26年8月12日

	<p>No. 1-4</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 2</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月12日</p>
	<p>No. 1-5</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 2</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月12日</p>
	<p>No. 1-6</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 2</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月12日</p>

	<p>No. 1-7</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 3</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月12日</p>
	<p>No. 1-8</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 2</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月12日</p>
	<p>No. 1-9</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 4</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月12日</p>

	<p>No. 1-10</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 4</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月12日</p>
	<p>No. 1-11</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 5</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月12日</p>
	<p>No. 1-12</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 5</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月12日</p>



No. 2-1

底生動物調査（第2回）

蒲生特別保護地区

KY 活動実施状況

※阿武隈川河口域にて実施

撮影日：平成26年10月8日



No. 2-2

底生動物調査（第2回）

蒲生特別保護地区

KY 活動実施状況

※井土浦特別保護地区にて実施

撮影日：平成26年10月10日



No. 2-3

底生動物調査（第2回）

蒲生特別保護地区

調査実施状況

撮影日：平成26年10月10日

	<p>No. 2-4</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 1</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 2-5</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 1</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 2-6</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 2</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>



No. 2-7

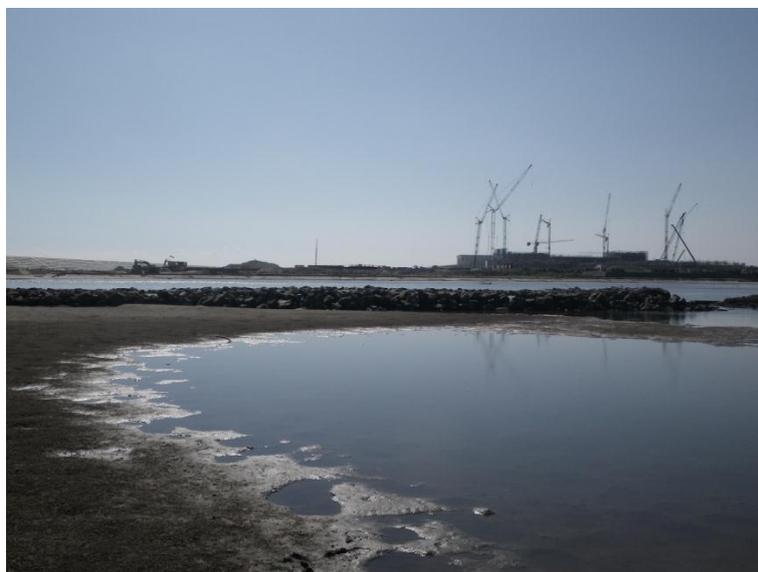
底生動物調査（第2回）

蒲生特別保護地区

St. 2

調査地点の状況

撮影日：平成26年10月10日



No. 2-8

底生動物調査（第2回）

蒲生特別保護地区

St. 3

調査地点の景観

撮影日：平成26年10月8日



No. 2-9

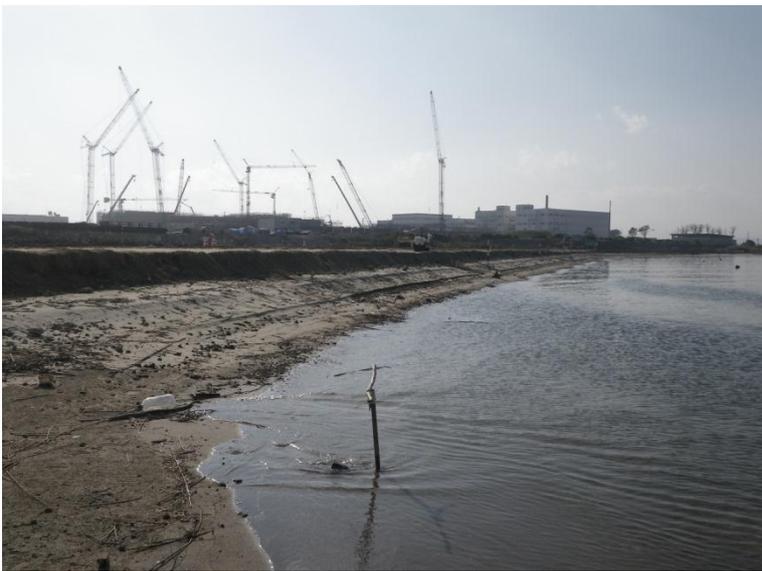
底生動物調査（第2回）

蒲生特別保護地区

St. 3

調査地点の状況

撮影日：平成26年10月8日

	<p>No. 2-10</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 4</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月8日</p>
	<p>No. 2-11</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 4</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月8日</p>
	<p>No. 2-12</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>蒲生特別保護地区</p> <p>St. 5</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>



No. 2-13

底生動物調査（第2回）

蒲生特別保護地区

St. 5

調査地点の状況

撮影日：平成26年10月10日

(2) 井土浦特別保護地区

	<p>No. 1-1</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>KY 活動実施状況</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>
	<p>No. 1-2</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>調査実施状況</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>
	<p>No. 1-3</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 1</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>

	<p>No. 1-4</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 1</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>
	<p>No. 1-5</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 2</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>
	<p>No. 1-6</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 2</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>

	<p>No. 1-7</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 3</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>
	<p>No. 1-8</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 3</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>
	<p>No. 1-9</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 4</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>

	<p>No. 1-10</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 4</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>
	<p>No. 1-11</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 5</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>
	<p>No. 1-12</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 5</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>

	<p>No. 1-13</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 6（東谷地）</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>
	<p>No. 1-14</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 6（東谷地）</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月14日</p>
	<p>No. 2-1</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>KY 活動実施状況</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>

	<p>No. 2-2</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>調査実施状況</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 2-3</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 1</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 2-4</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 1</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>

	<p>No. 2-5</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 2</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 2-6</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 2</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 2-7</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 3</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>

	<p>No. 2-8</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 3</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 2-9</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 4</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 2-10</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 4</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>

	<p>No. 2-11</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 5</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 2-12</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 5</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>
	<p>No. 2-13</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>井土浦特別保護地区</p> <p>St. 6（東谷地）</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月10日</p>



No. 2-14

底生動物調査（第2回）

井土浦特別保護地区

St. 6（東谷地）

調査地点の状況

撮影日：平成26年10月10日

(3) 阿武隈川河口域

	<p>No. 1-1</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>KY 活動実施状況</p> <p>撮影日：平成26年8月11日</p>
	<p>No. 1-2</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査実施状況</p> <p>撮影日：平成26年8月11日</p>
	<p>No. 1-3</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 1</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月11日</p>

	<p>No. 1-4</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 1</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月11日</p>
	<p>No. 1-5</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 2</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月11日</p>
	<p>No. 1-6</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 2</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月11日</p>

	<p>No. 1-4</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 3</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月11日</p>
	<p>No. 1-5</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 3</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月11日</p>
	<p>No. 1-6</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 4</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月11日</p>

	<p>No. 1-7</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 4</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月11日</p>
	<p>No. 1-8</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 5</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年8月11日</p>
	<p>No. 1-9</p> <p>底生動物調査（第1回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 5</p> <p>調査地点の状況</p> <p>撮影日：平成26年8月11日</p>

	<p>No. 2-1</p> <p>底生動物調査 (第 1 回) (第 2 回)</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>KY 活動実施状況</p> <p>撮影日：平成 26 年 10 月 8 日</p>										
 <table border="1" data-bbox="209 952 566 1288"> <tr> <td>名称</td> <td>平成26年度国指定仙台海浜鳥獣保護区自然環境調査</td> </tr> <tr> <td>地区</td> <td>阿武隈川河口 (鳥の海)</td> </tr> <tr> <td>項目</td> <td>底生動物調査 (10月)</td> </tr> <tr> <td>期日</td> <td>平成26年 10月 8日</td> </tr> <tr> <td>実施者</td> <td>環境省東北地方環境事務所 アジア航測株式会社</td> </tr> </table>	名称	平成26年度国指定仙台海浜鳥獣保護区自然環境調査	地区	阿武隈川河口 (鳥の海)	項目	底生動物調査 (10月)	期日	平成26年 10月 8日	実施者	環境省東北地方環境事務所 アジア航測株式会社	<p>No. 2-2</p> <p>底生動物調査 (第 2 回)</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>調査実施状況</p> <p>撮影日：平成 26 年 10 月 8 日</p>
名称	平成26年度国指定仙台海浜鳥獣保護区自然環境調査										
地区	阿武隈川河口 (鳥の海)										
項目	底生動物調査 (10月)										
期日	平成26年 10月 8日										
実施者	環境省東北地方環境事務所 アジア航測株式会社										
	<p>No. 2-3</p> <p>底生動物調査 (第 2 回)</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 1</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成 26 年 10 月 8 日</p>										



No. 2-4

底生動物調査（第2回）

阿武隈川河口域

St. 1

調査地点の状況

撮影日：平成26年10月8日



No. 2-5

底生動物調査（第2回）

阿武隈川河口域

St. 2

調査地点の景観

撮影日：平成26年10月8日



No. 2-6

底生動物調査（第2回）

阿武隈川河口域

St. 2

調査地点の状況

撮影日：平成26年10月8日

	<p>No. 2-7</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 3</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月8日</p>
	<p>No. 2-8</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 3</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月8日</p>
	<p>No. 2-9</p> <p>底生動物調査（第2回）</p> <p>阿武隈川河口域</p> <p>St. 4</p> <p>調査地点の景観</p> <p>撮影日：平成26年10月8日</p>



No. 2-10

底生動物調査（第2回）

阿武隈川河口域

St. 4

調査地点の状況

撮影日：平成26年10月8日



No. 2-11

底生動物調査（第2回）

阿武隈川河口域

St. 5

調査地点の景観

撮影日：平成26年10月8日



No. 2-12

底生動物調査（第2回）

阿武隈川河口域

St. 5

調査地点の状況

撮影日：平成26年10月8日

(4) 確認種

	<p>No. 1</p> <p>底生動物調査</p> <p>確認種 イソシジミ</p> <p>撮影日：平成 26 年 2 月 3 日</p>
	<p>No. 2</p> <p>底生動物調査</p> <p>確認種 シゲヤスイトカゲキリ</p> <p>撮影日：平成 26 年 2 月 3 日</p>
	<p>No. 3</p> <p>底生動物調査</p> <p>確認種 カワゴカイ属</p> <p>撮影日：平成 26 年 2 月 3 日</p>

	<p>No. 4</p> <p>底生動物調査</p> <p>確認種 ソトオリガイ</p> <p>撮影日：平成 26 年 2 月 3 日</p>
	<p>No. 5</p> <p>底生動物調査</p> <p>確認種 サビシラトリガイ</p> <p>撮影日：平成 26 年 2 月 3 日</p>
	<p>No. 6</p> <p>底生動物調査</p> <p>確認種 コメツキガニ</p> <p>撮影日：平成 26 年 2 月 3 日</p>

	<p>No. 7</p> <p>底生動物調査</p> <p>確認種 ヤマトシジミ</p> <p>撮影日：平成 26 年 2 月 3 日</p>
	<p>No. 8</p> <p>底生動物調査</p> <p>確認種 アリアケモドキ</p> <p>撮影日：平成 26 年 2 月 3 日</p>
	<p>No. 9</p> <p>底生動物調査</p> <p>確認種 イトメ</p> <p>撮影日：平成 26 年 2 月 3 日</p>

	<p>No. 10</p> <p>底生動物調査</p> <p>確認種 Heteromastus 属</p> <p>撮影日：平成 26 年 2 月 3 日</p>
	<p>No. 11</p> <p>底生動物調査</p> <p>確認種 Notomastus 属</p> <p>撮影日：平成 26 年 2 月 3 日</p>
	<p>No. 12</p> <p>底生動物調査</p> <p>確認種 コメツブガイ</p> <p>撮影日：平成 26 年 2 月 3 日</p>

平成 26 年度 国指定仙台海浜鳥獣保護区自然環境調査業務

発注者 環境省東北地方環境事務所

宮城県仙台市青葉区本町 3-2-23

仙台第二合同庁舎 6 階

TEL : 022-722-2870

請負者 アジア航測株式会社

仙台市青葉区一番町 1 丁目 4 番 28 号 (小松物産ビル)

TEL : 022-216-3570

リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断に基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料「A ランク」のみを用いて作成していません。